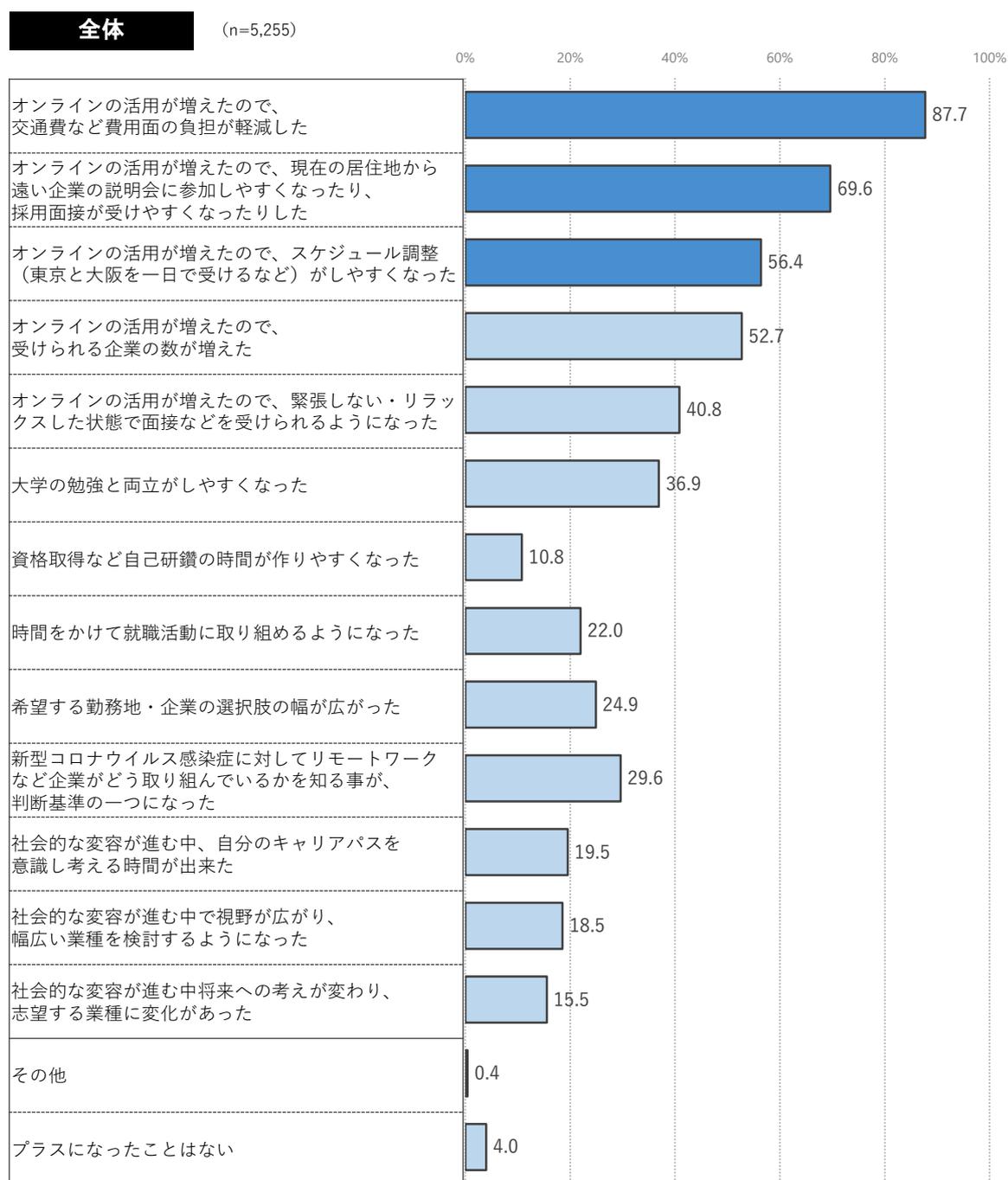


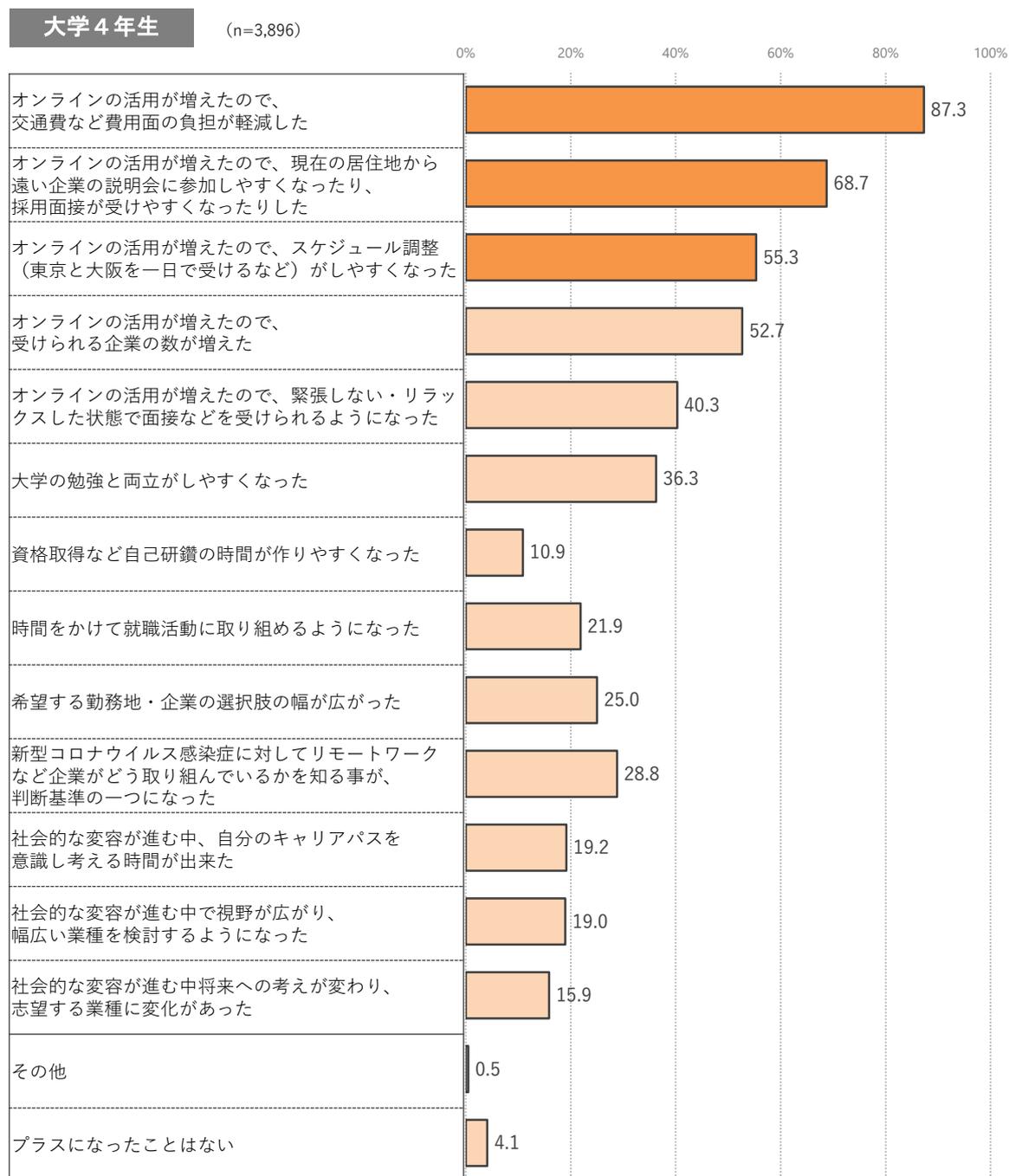
②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり社会的な変容が進む中で、想定していたよりもプラスになった・メリットになったこととして、「オンラインの活用が増えたので、交通費などの費用面の負担が軽減した」が約9割と最も高く、次いで「オンラインの活用が増えたので、現在の居住地から遠い企業の説明会に参加しやすくなったり、採用面接が受けやすくなったりした」が約7割、「オンラインの活用が増えたので、スケジュール調整がしやすくなった」が約6割と高かった。

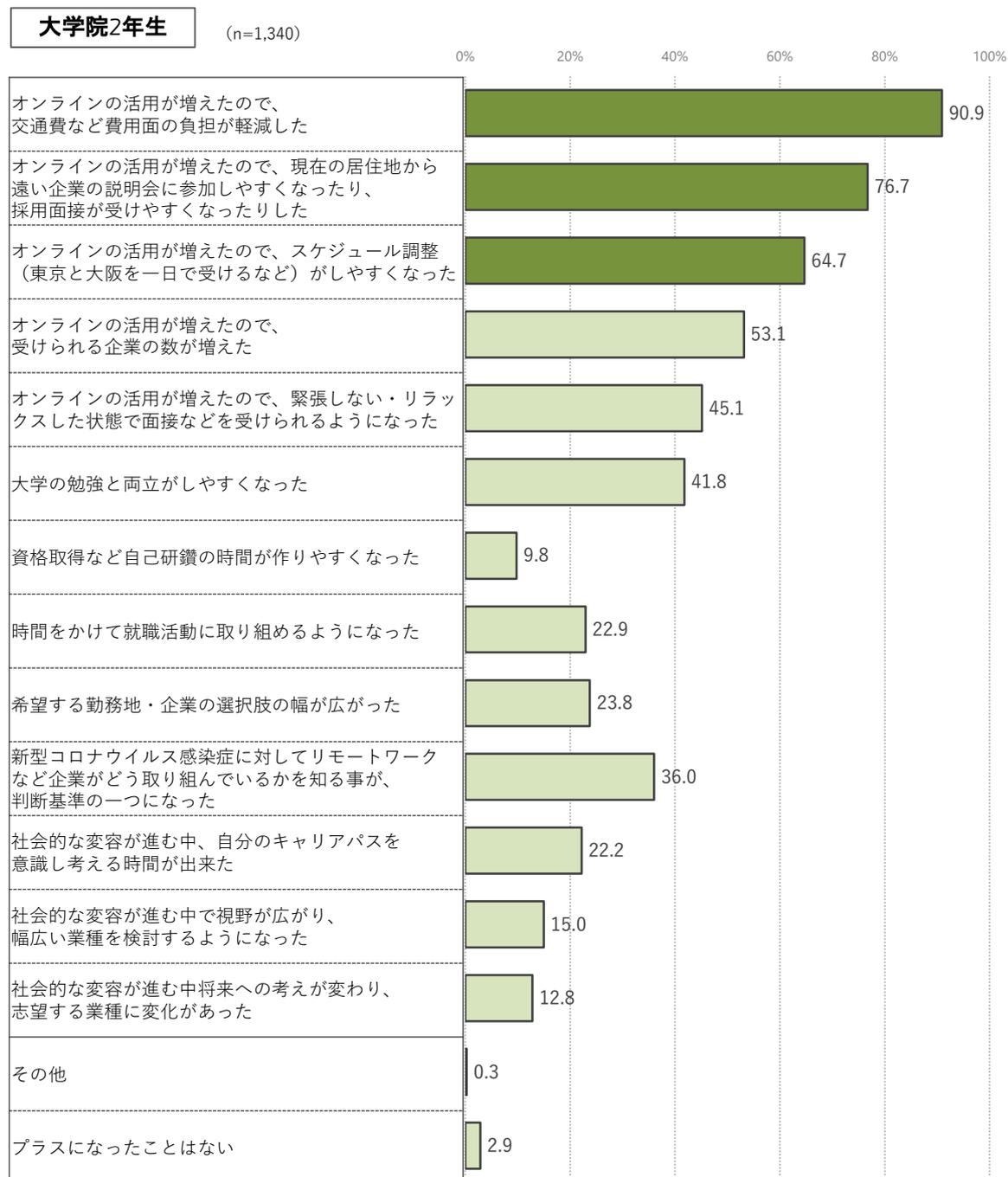
一方、「プラスになったことはない」は4%程度となった。



②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット



②新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット



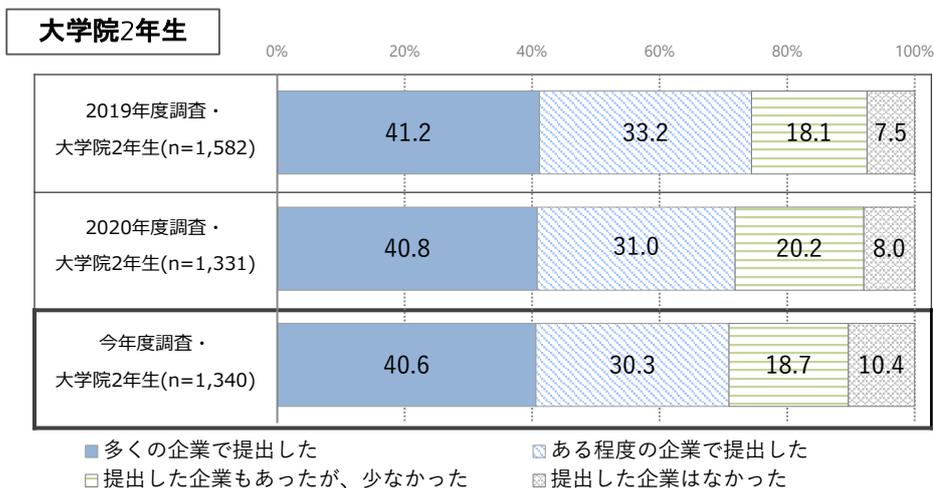
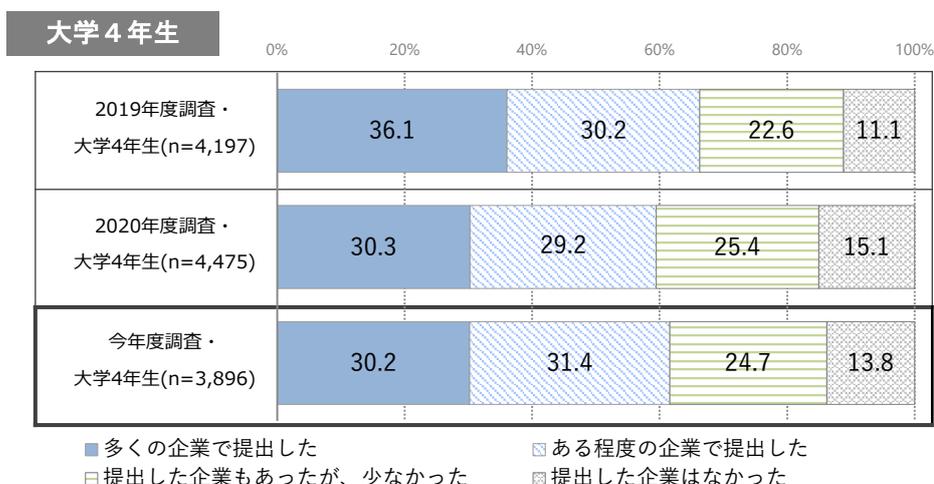
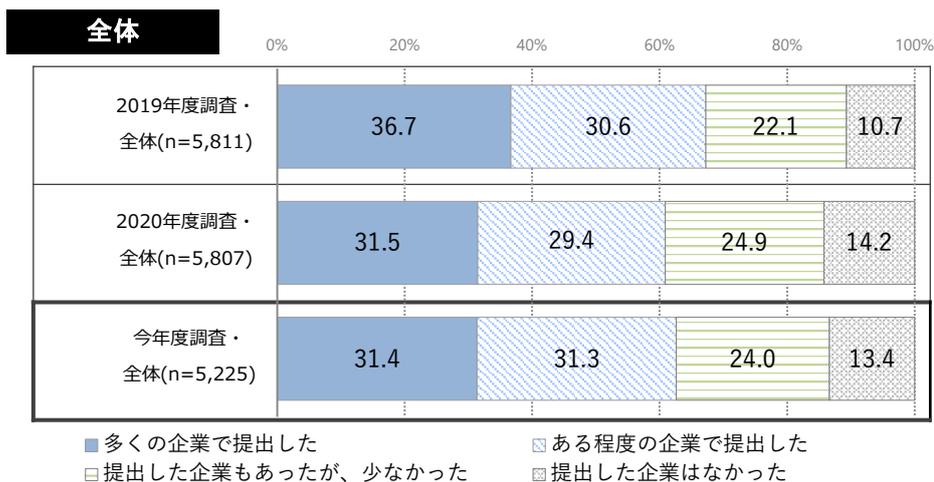
第六章 就職活動における諸問題について

第六章 就職活動における諸問題について

(1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況

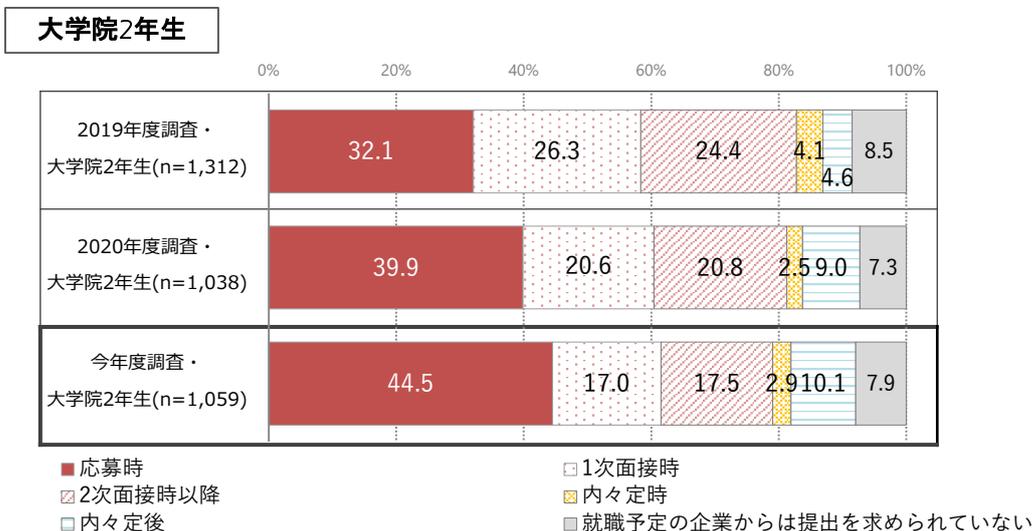
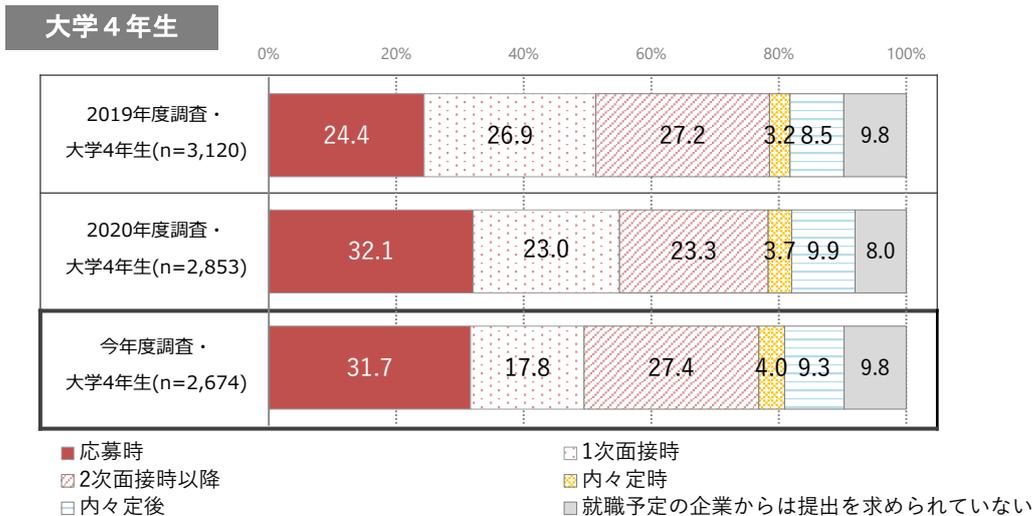
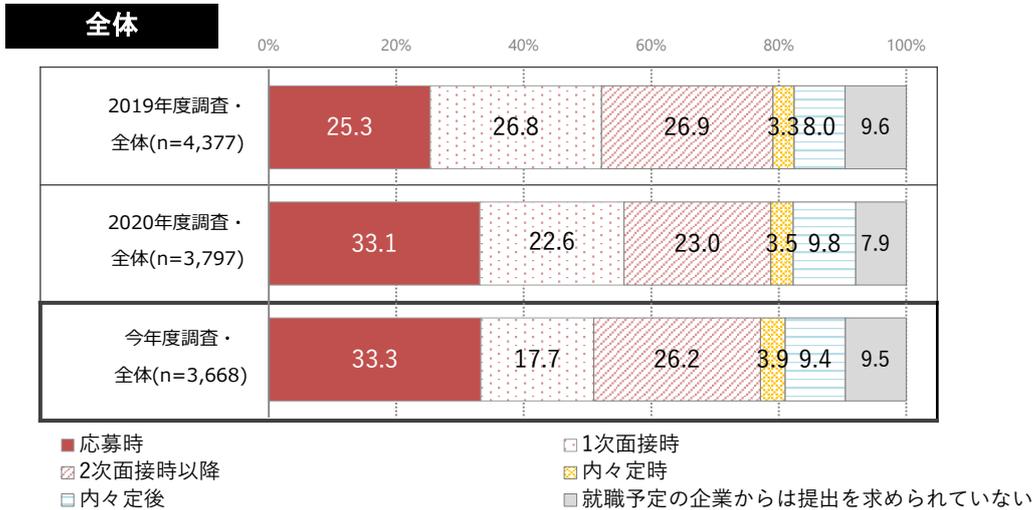
①提出の状況

就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。
2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②就職予定の企業への提出のタイミング

就職予定の企業から履修履歴(成績証明書など)の提出がいつ頃求められたかについて、「応募時」の回答割合が約3割で最も高く、次いで「2次面接時以降」の回答割合が約3割となっている。
2020年度調査と比べると、「1次面接時」の回答割合が低くなっている。

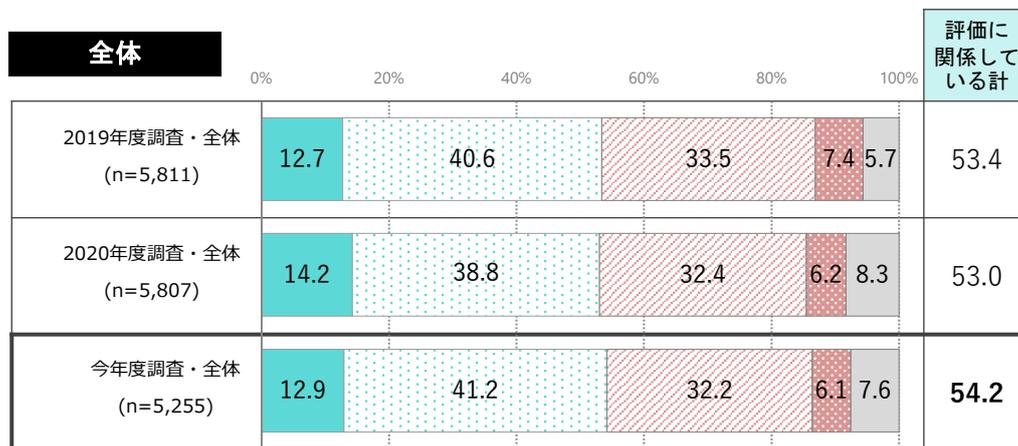


(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

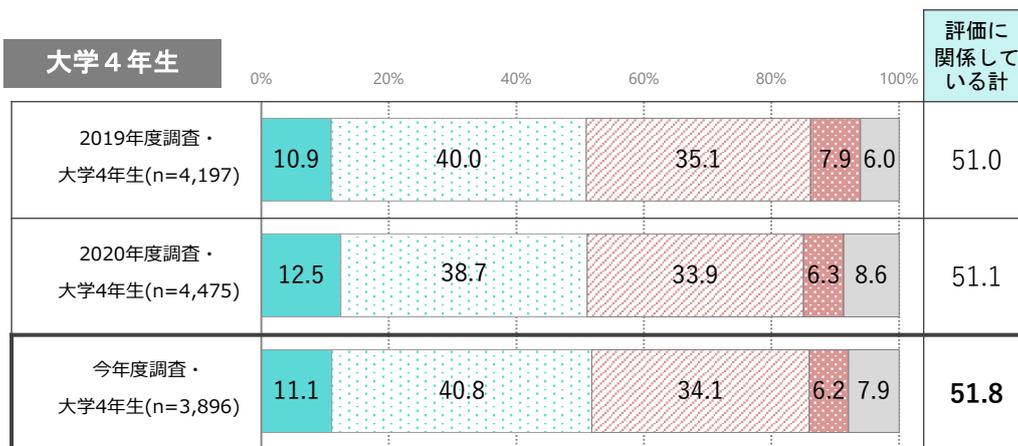
①採用面接の際の学業の取り組みや成績等への質問有無と評価との関係

採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問などを受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

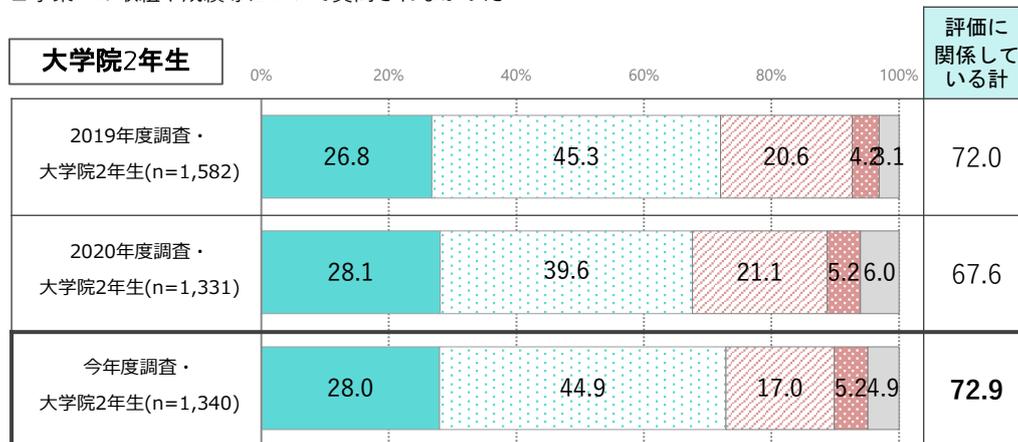
2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



■ 評価に深く関係していると感じた
 □ 評価にある程度関係していると感じた
 ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
 ■ 評価に全く関係していないと感じた
 ■ 学業への取組や成績等について質問されなかった



■ 評価に深く関係していると感じた
 □ 評価にある程度関係していると感じた
 ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
 ■ 評価に全く関係していないと感じた
 ■ 学業への取組や成績等について質問されなかった



■ 評価に深く関係していると感じた
 □ 評価にある程度関係していると感じた
 ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
 ■ 評価に全く関係していないと感じた
 ■ 学業への取組や成績等について質問されなかった

(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

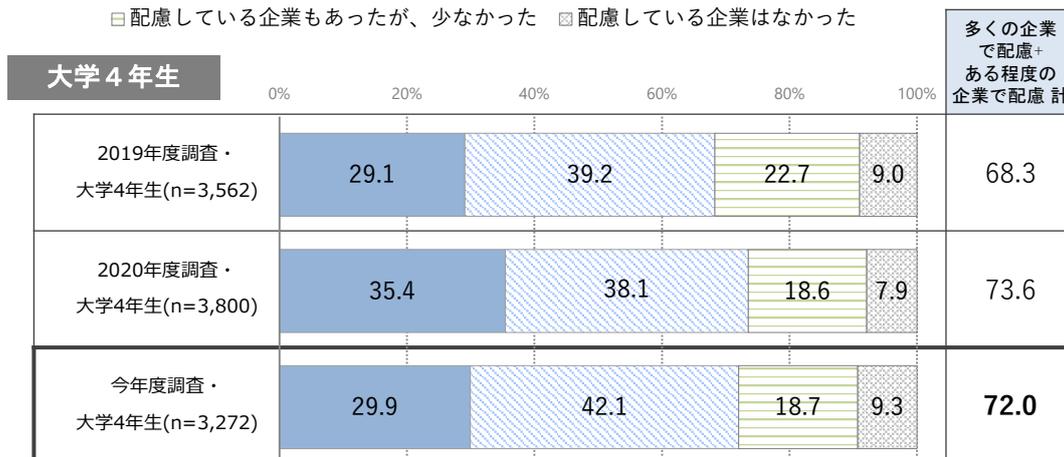
①説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

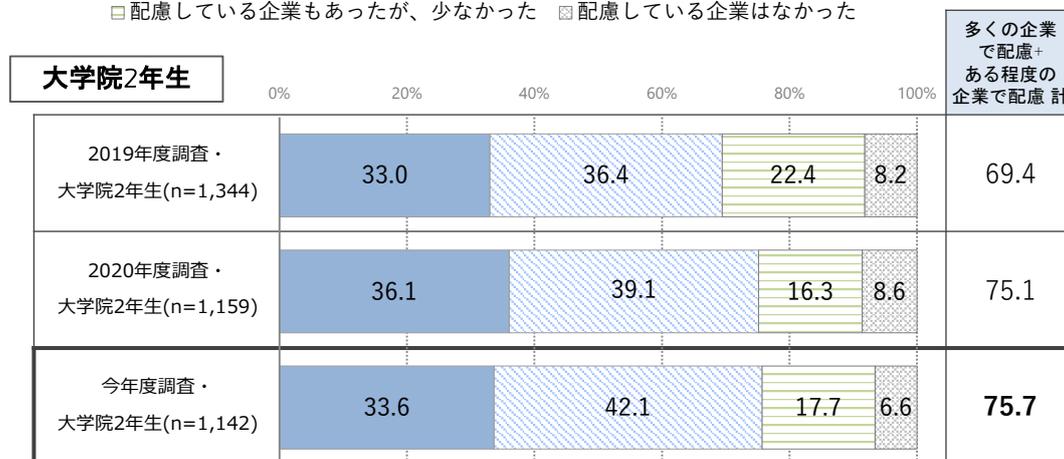
2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった

※1：就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

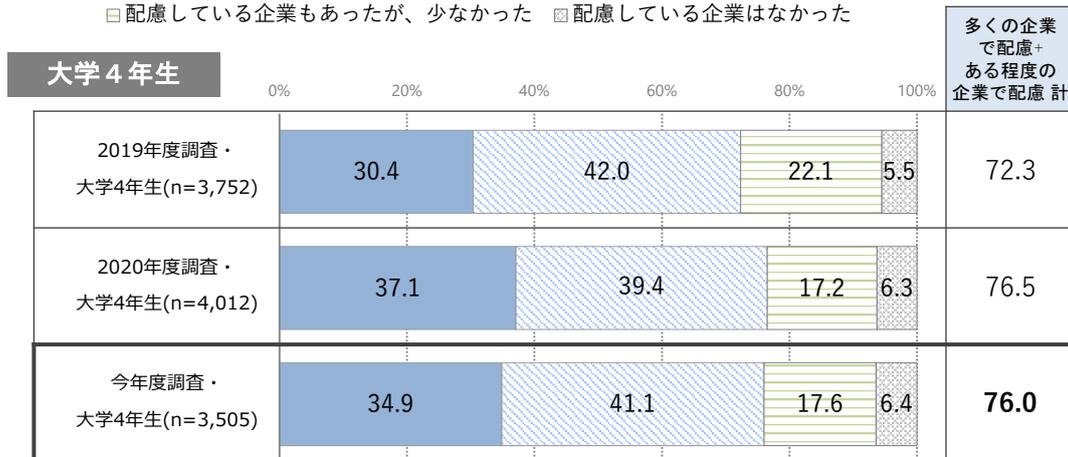
②個別に面接日時等の設定にあたっての配慮

就職活動を行った企業において個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

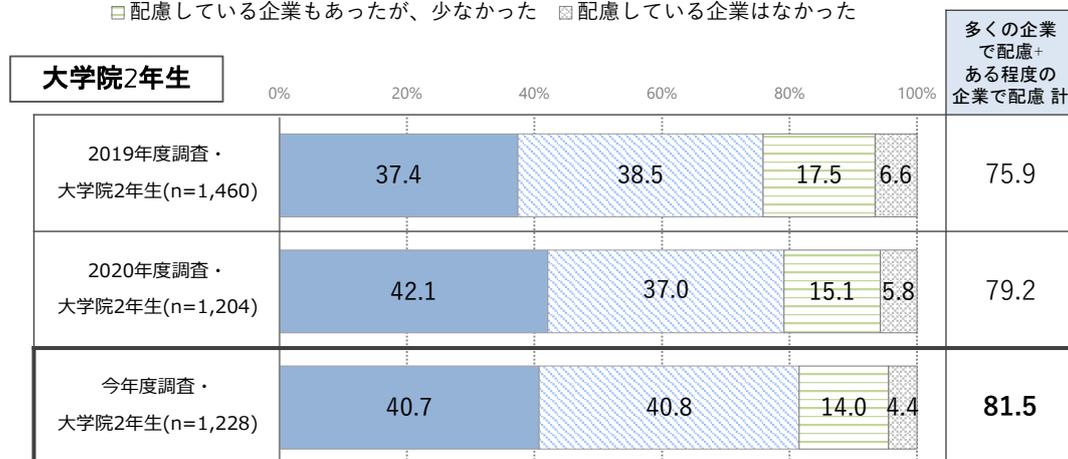
2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ▩ 配慮している企業はなかった

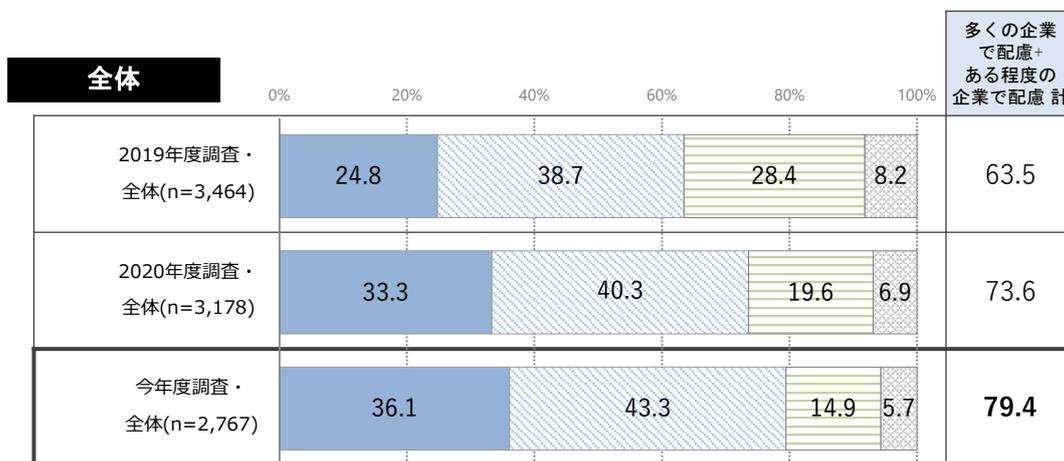
※1：就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(4) 遠隔地への就職活動への配慮

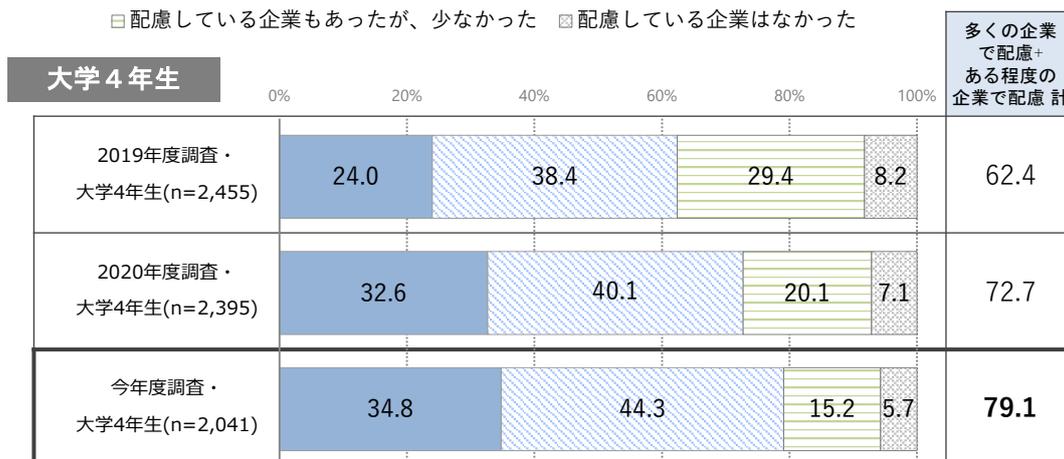
①遠隔地における就職活動への企業側からの配慮の状況

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

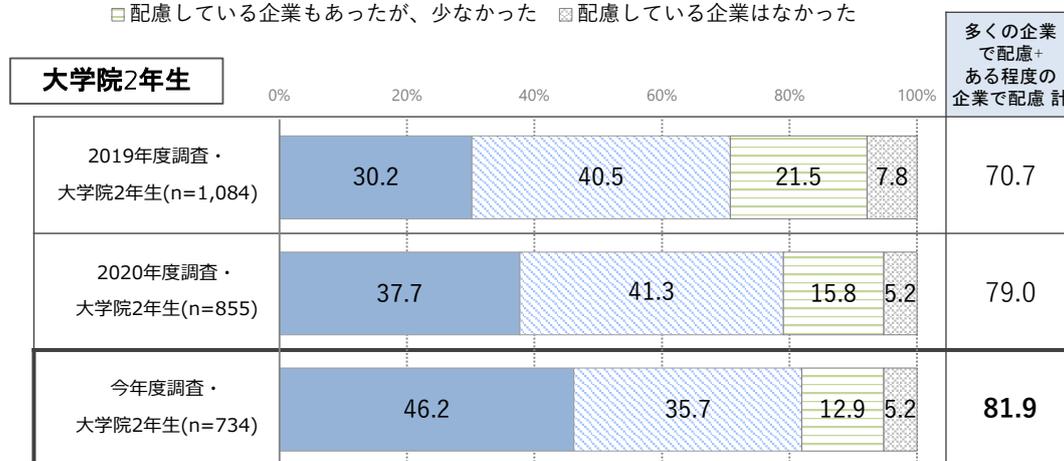
2020年度調査と比較すると、今年度調査は「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が高くなっている。



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった



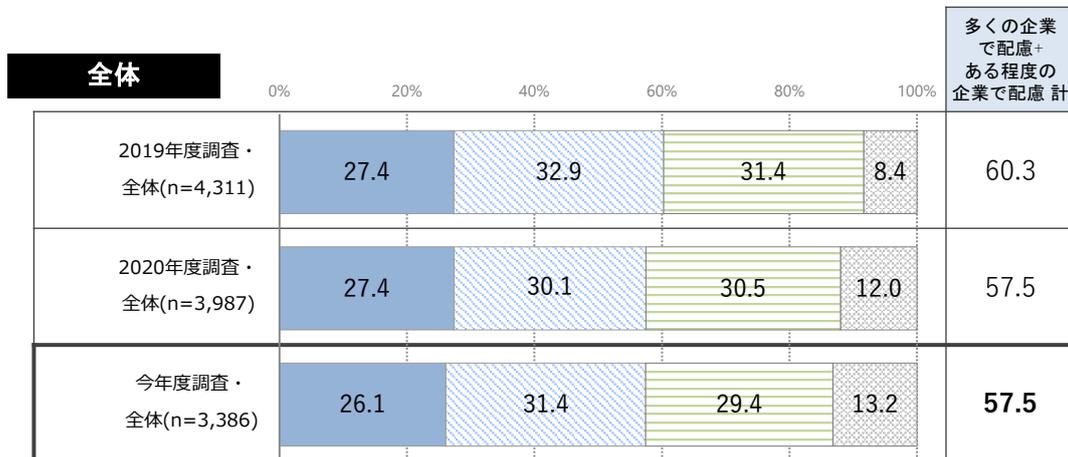
■ 多くの企業で配慮していた ▨ ある程度の企業で配慮していた
 ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった

※1：「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

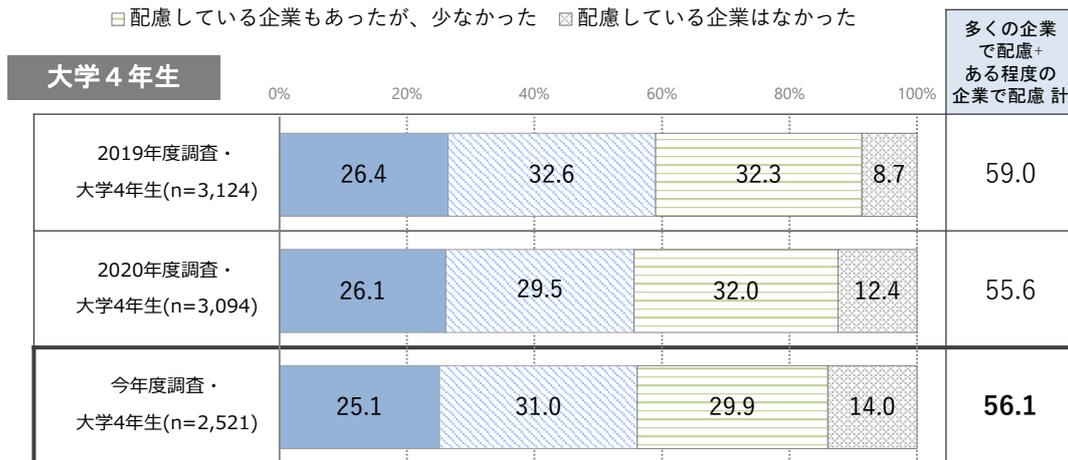
(5) クールビズでの対応

①面接の実施におけるクールビズでの対応の状況

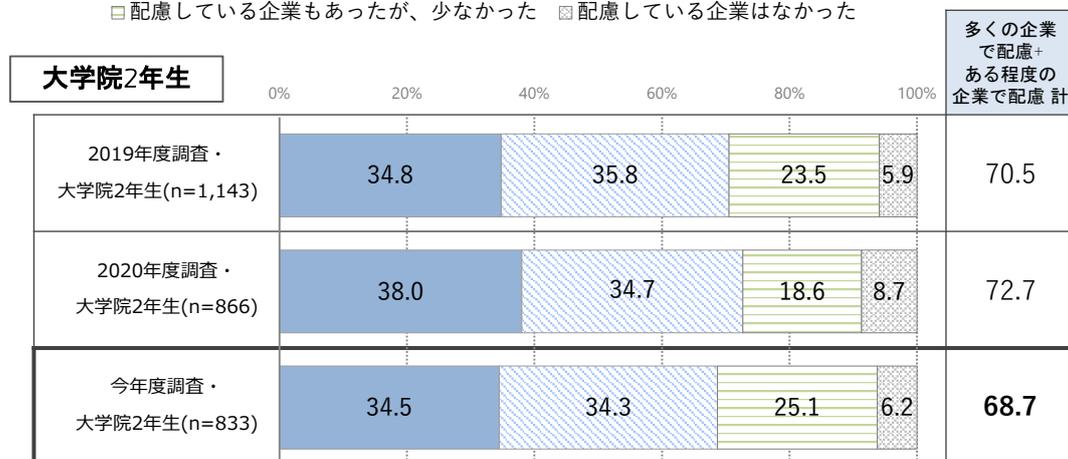
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。2020年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▩ 配慮している企業はなかった

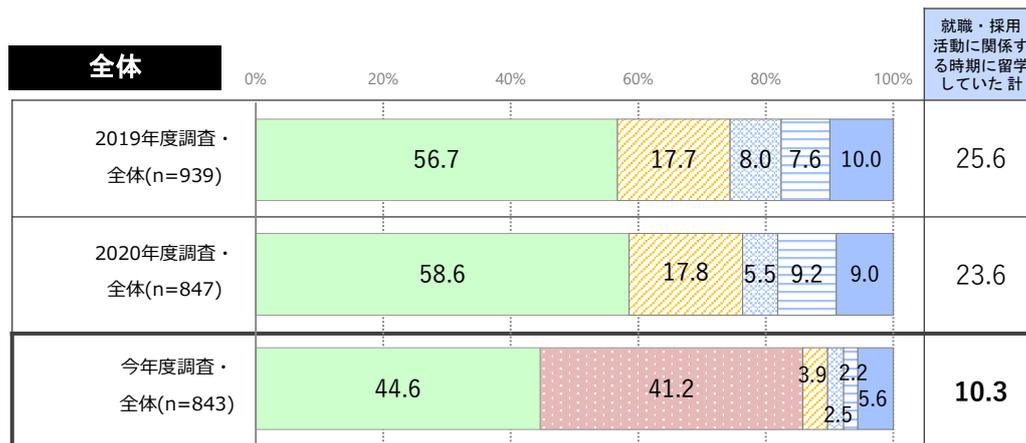
※1：「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問に対して、「暑い時期に就職活動を行っている」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

(6) 留学経験者への配慮

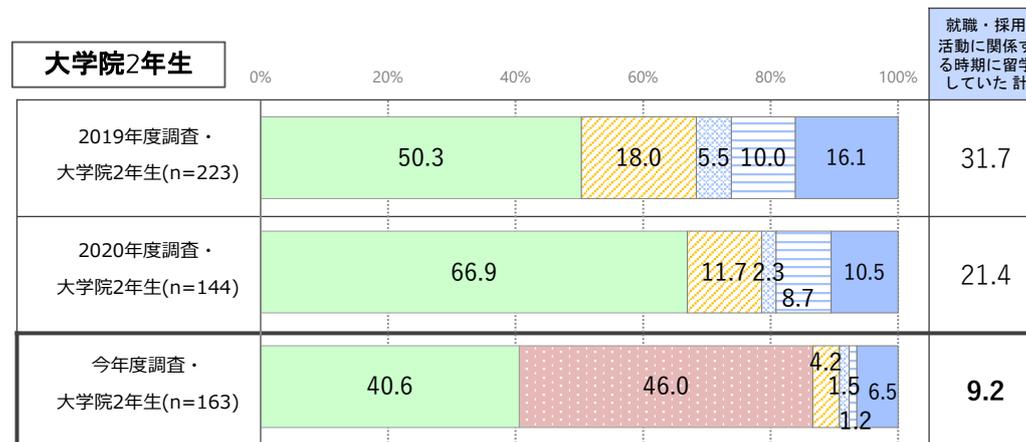
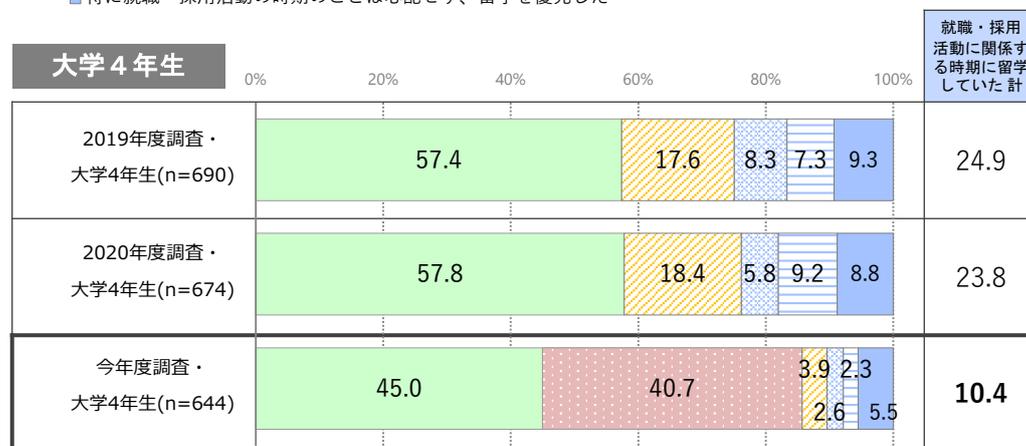
①留学経験者及び留学を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち、約4割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした(又は今後留学する)ので影響はなかった」と回答している。

一方、約4割が「留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学をとりやめた」と回答しており、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により留学時間を短くした」、「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく留学を優先した」、「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」を合わせた「就職・採用活動に関係する時期に留学していた」回答割合は約1割と、2020年度調査と比較して低くなっている。



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした(又は今後留学する)ので影響はなかった
- 留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学を取りやめた
- 留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた
- 留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした
- 就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した



※「就職・採用活動の設定時期(広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始)により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問に対して、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

※「留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学をとりやめた」は、今年度調査で新たに設けた項目である。

②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

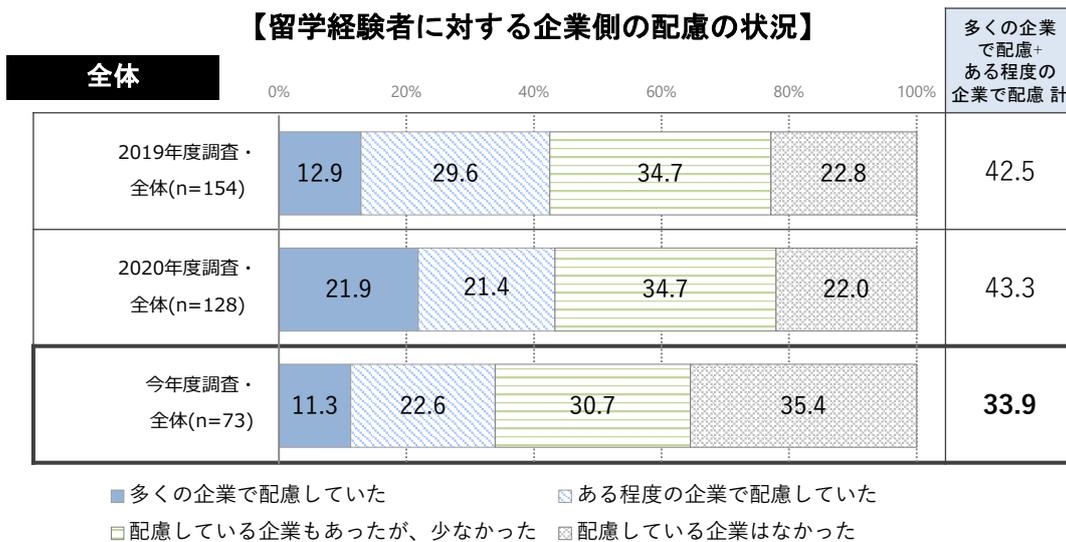
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者※1に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと※2、約3割が「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」と回答している※3。

2020年度調査と比較すると、「多くの企業で配慮していた」の回答割合が低くなっている。

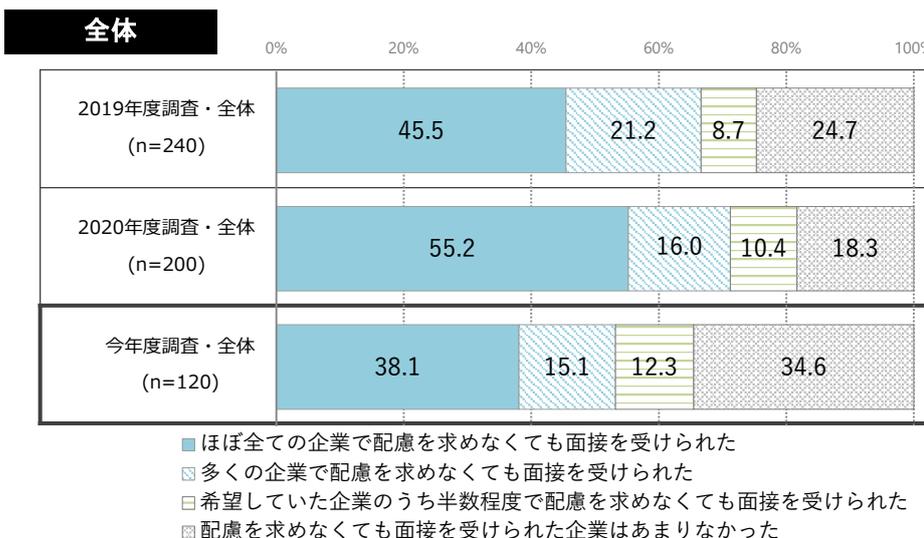
就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、または留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答割合が約4割となっている。

この割合は、2020年度調査と比較して低くなっている。

【留学経験者に対する企業側の配慮の状況】



【留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況】



※1：留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。

※2：「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

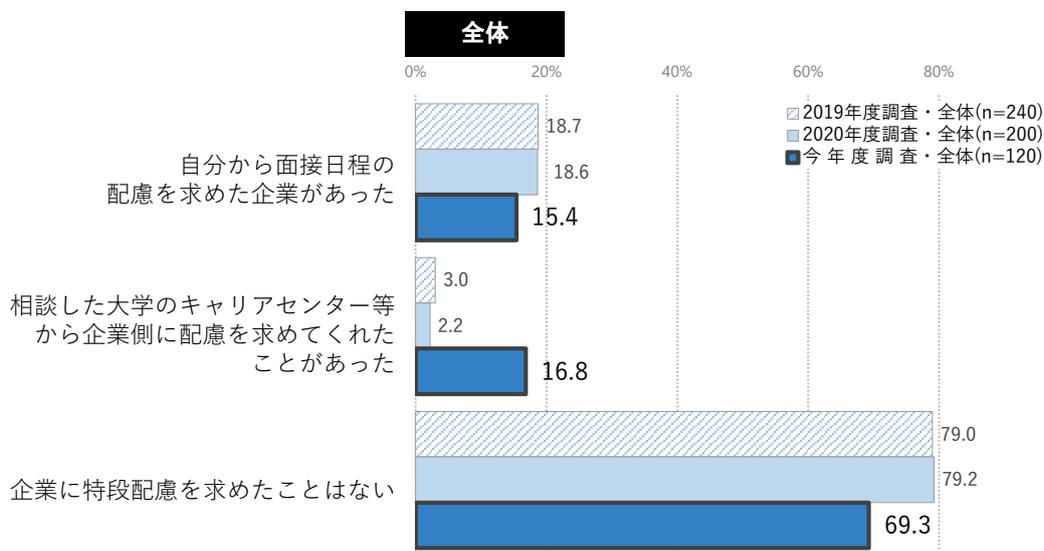
※3：留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

③留学と採用選考の時期が重なった場合の対応等

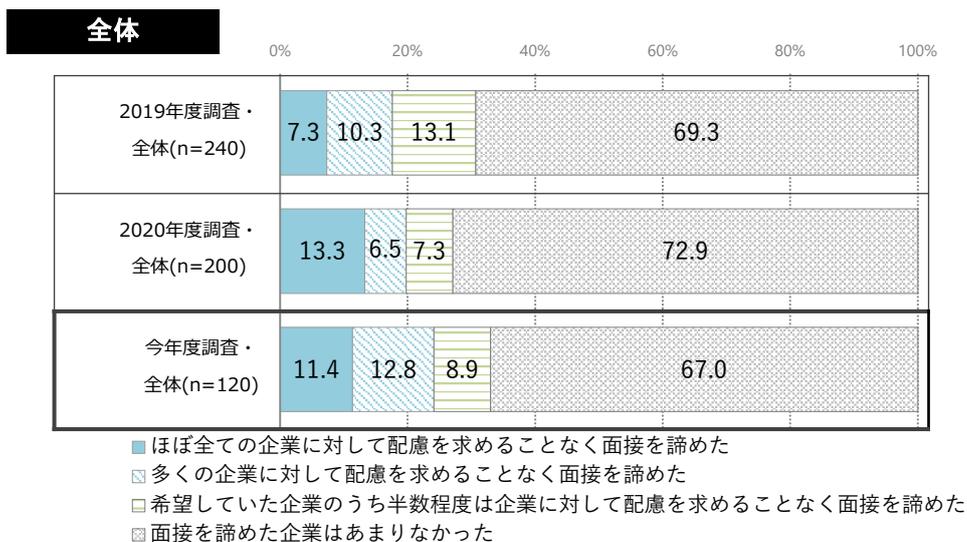
留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約1割となっており、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答は約2割となっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答割合を合わせると約2割となっている。

【留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか】



【留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況】



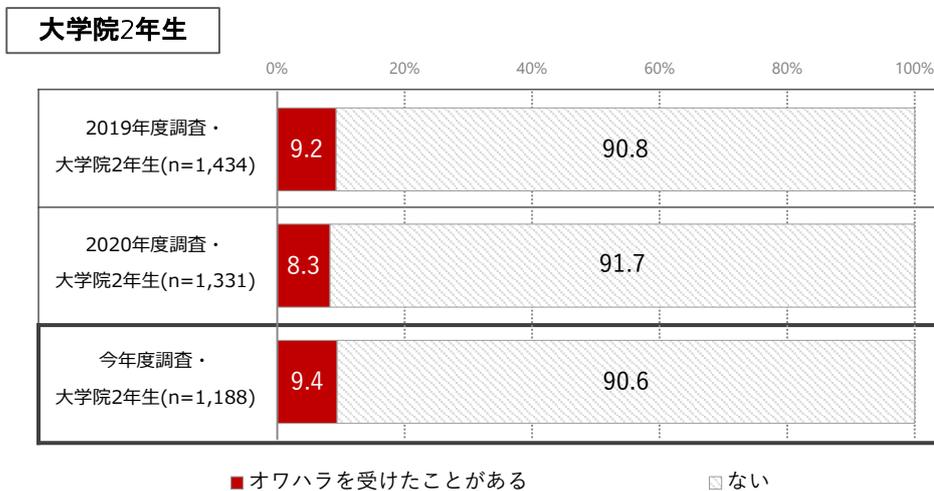
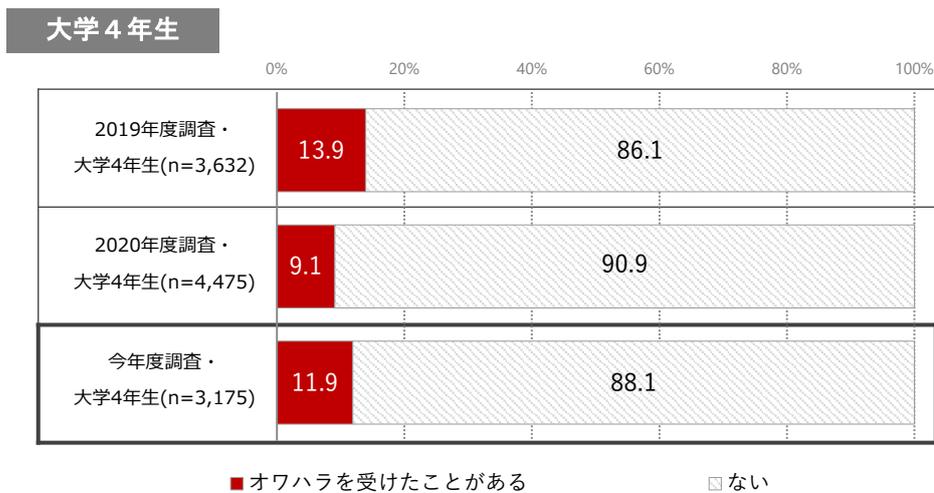
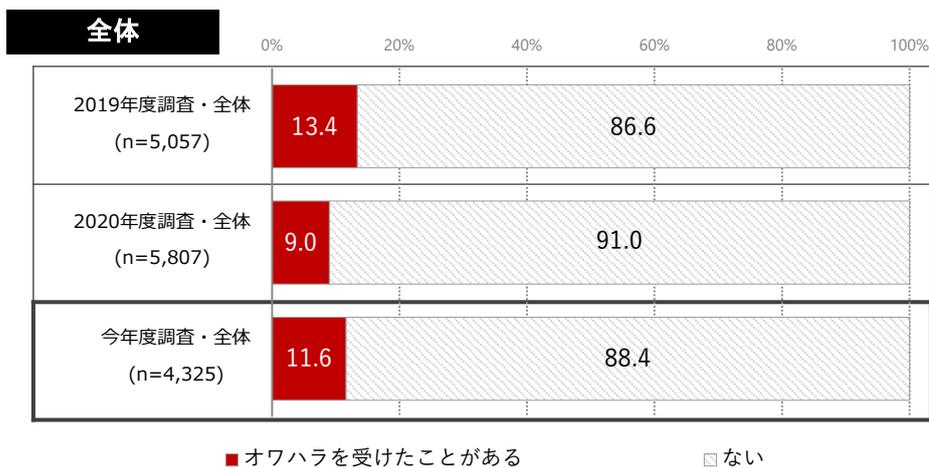
※留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。

(7) 「オワハラ」の状況

① 「オワハラ」の有無

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ」)を受けたことがあるかについて※1、約1割の者が「ある」と回答している。

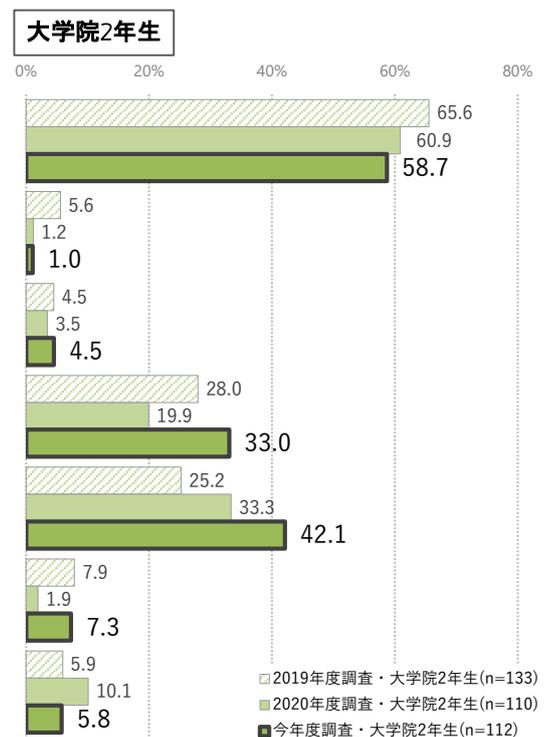
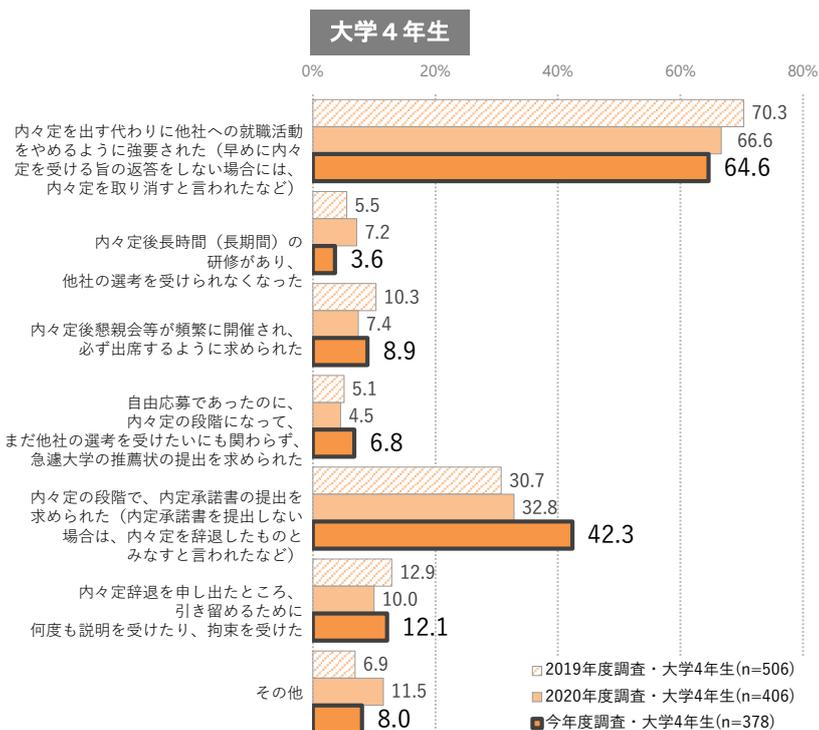
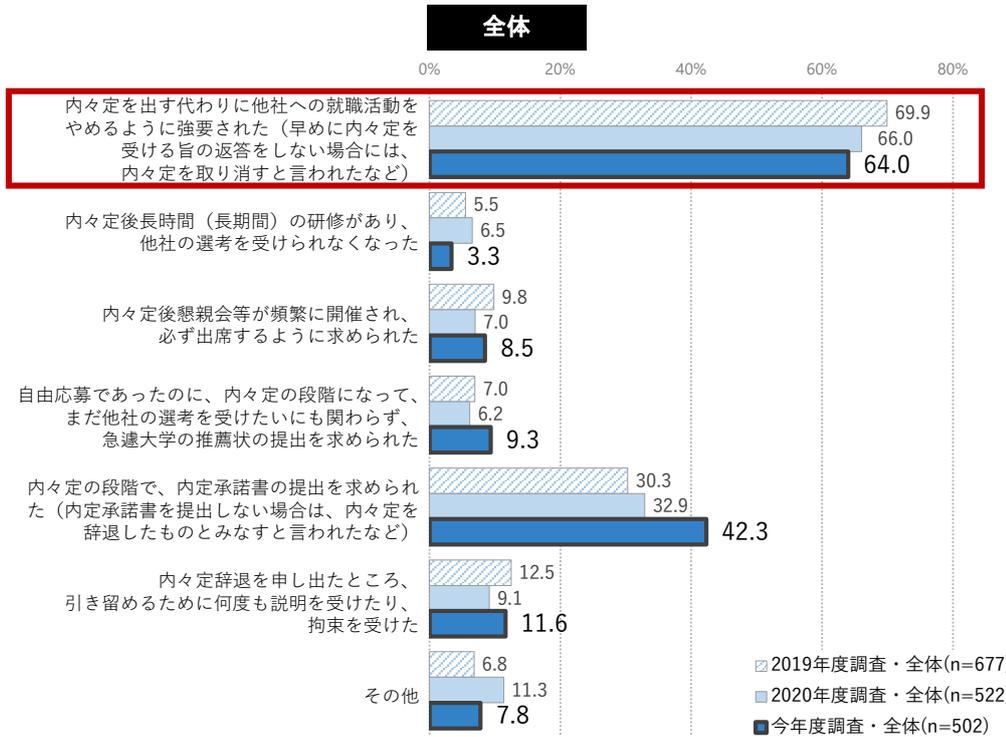
2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

②「オワハラ」の内容

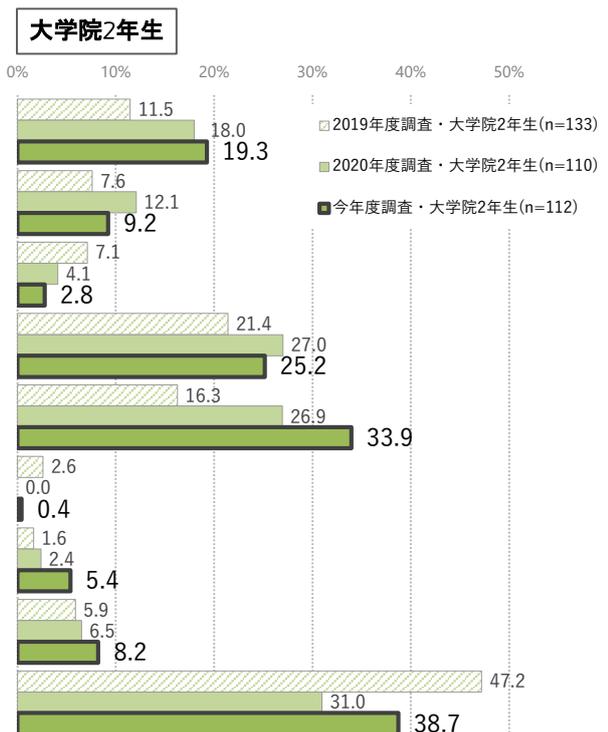
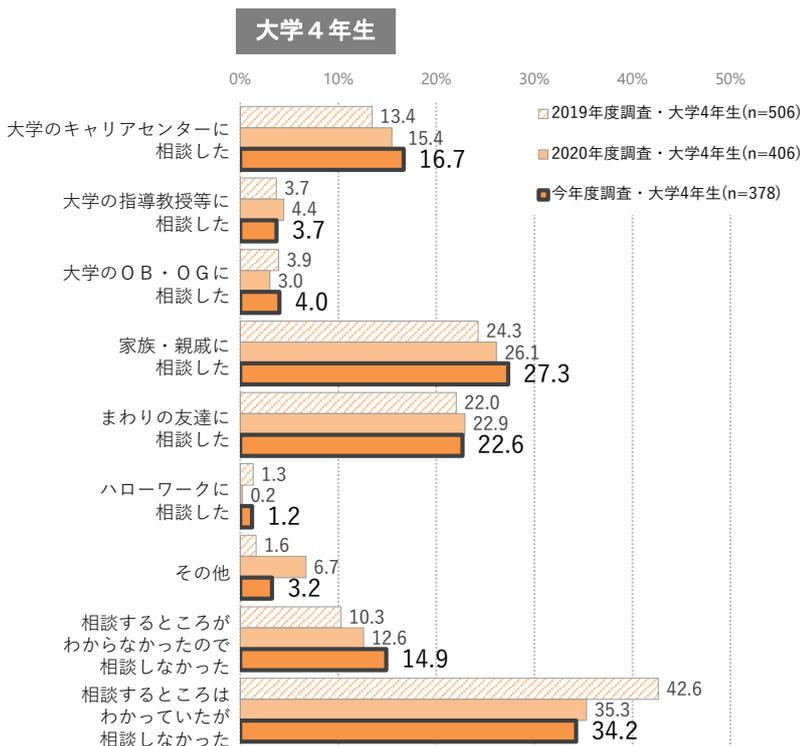
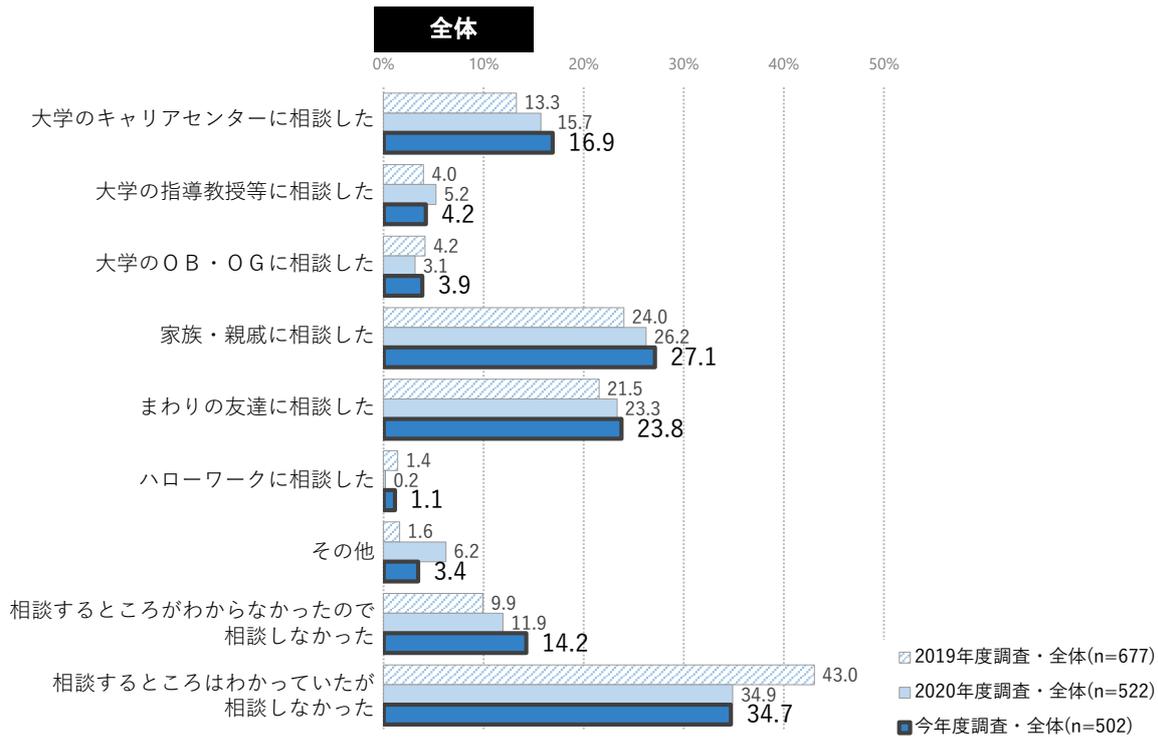
企業等から、「オワハラ」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）」の回答割合が約6割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約4割となっており、2020年度調査と比べて高まっている。



③「オワハラ」への対応

企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。

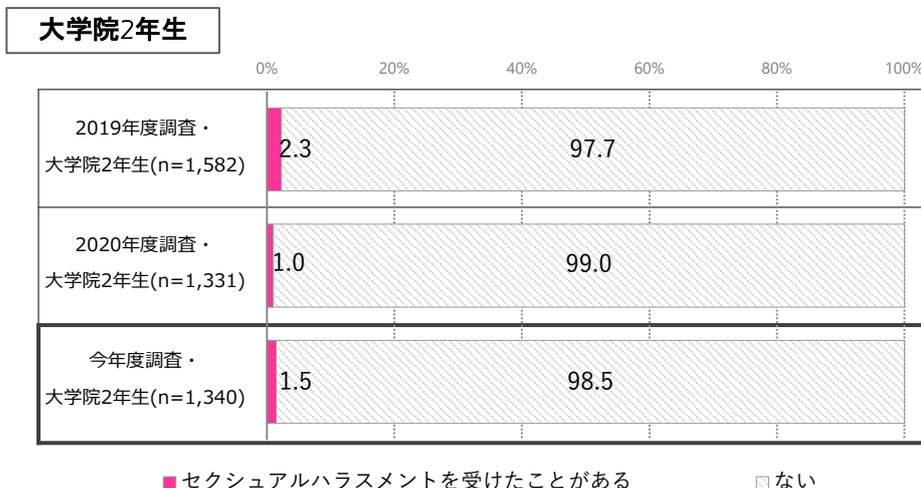
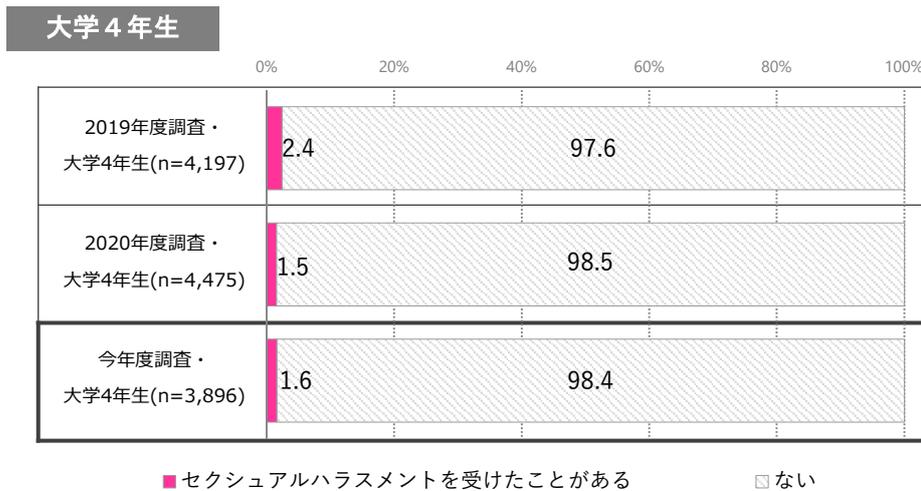
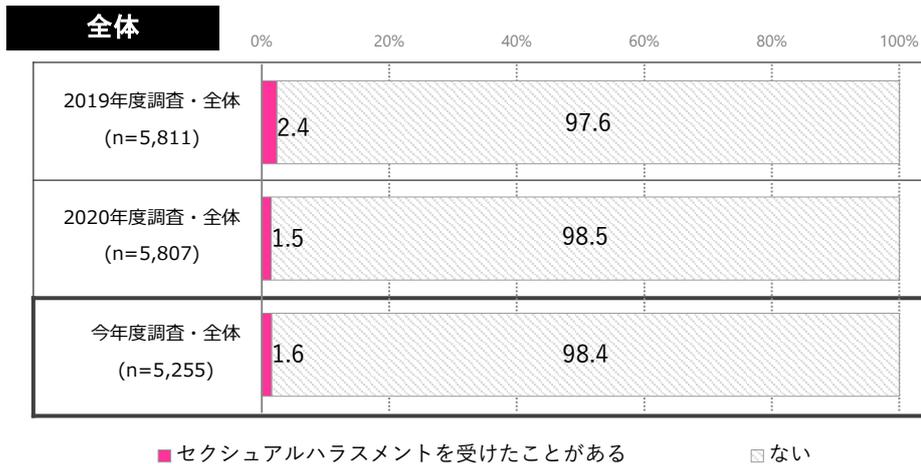
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている。



(8) 「セクシュアルハラスメント」の状況

① 「セクシュアルハラスメント」行為の有無

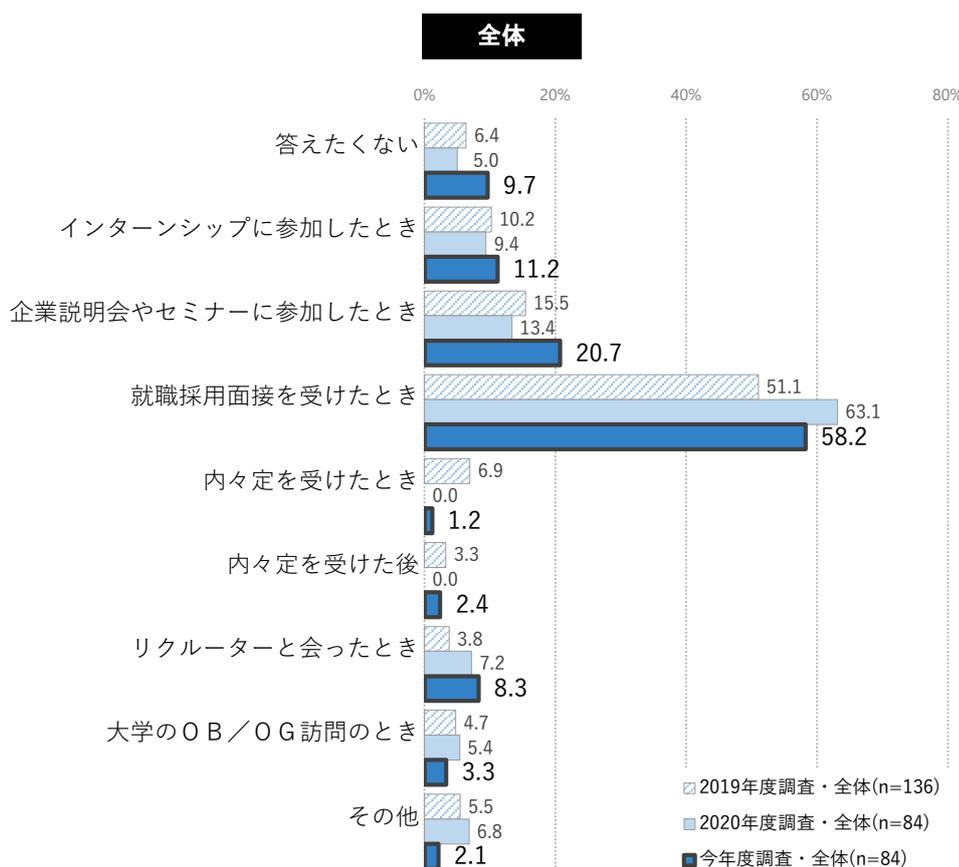
就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.6%であった。



②「セクシュアルハラスメント」行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し※1、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も高く、次いで「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約2割となっている。

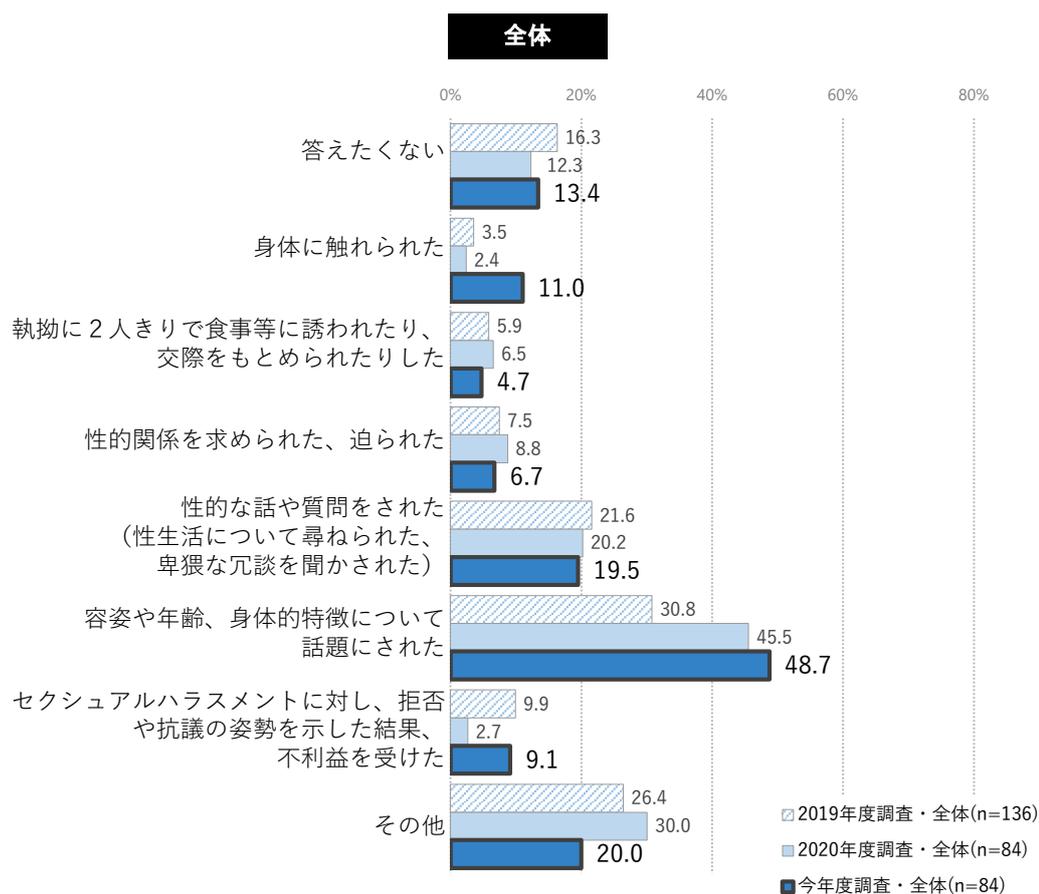
2020年度調査と比較すると、「企業説明会やセミナーに参加したとき」の回答割合が高くなっている。



※1：以降の設問に関してはセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした（アンケート調査の最終の項目とし、当該調査項目に回答しなくても回答終了とすることが可能なように設定をした）。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

③ 「セクシュアルハラスメント」行為の内容

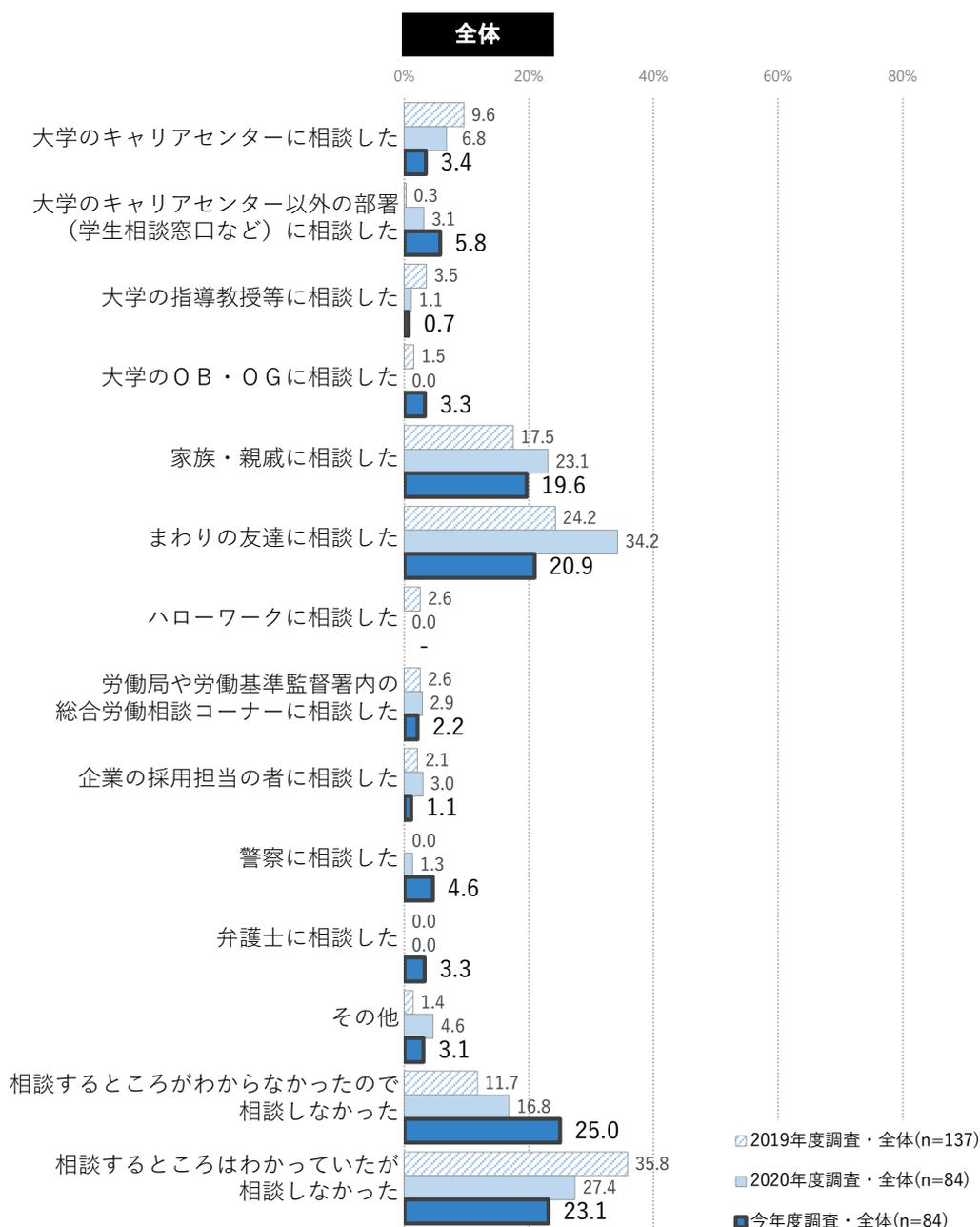
どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約5割、「性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」が約2割となっている。



④「セクシュアルハラスメント」行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約2割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」は約3割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」、「家族・親戚に相談した」が約2割となっている。

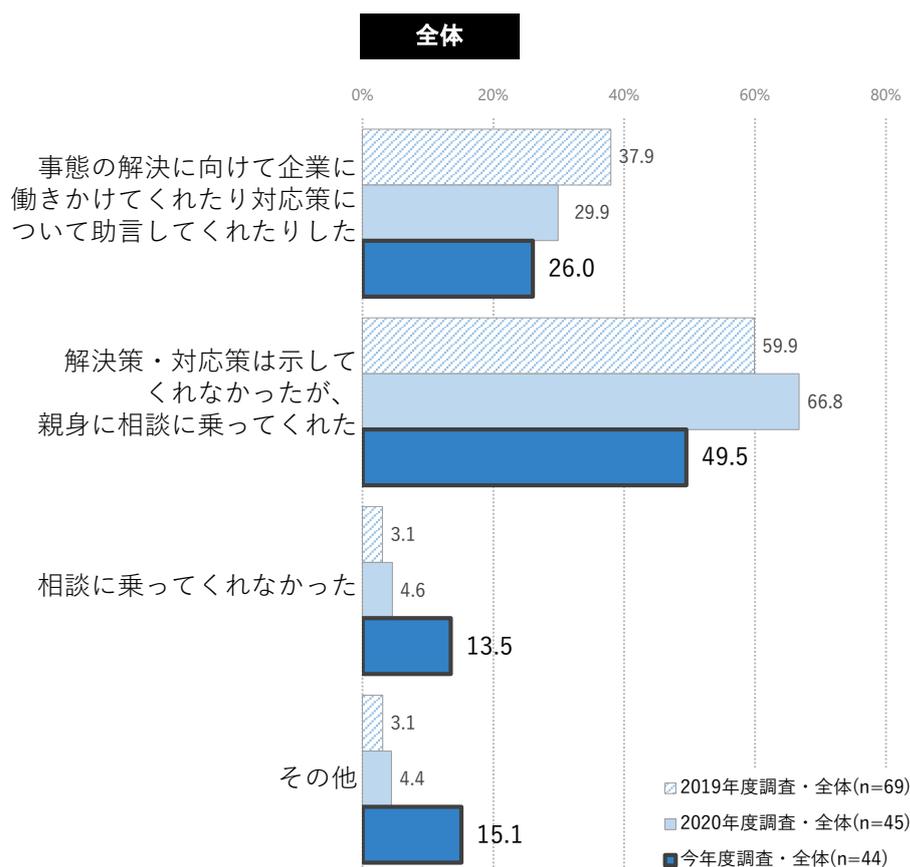
2020年度調査と比較すると、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」の回答割合が高くなっており、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は低くなっている。相談先としては「まわりの友達に相談した」の項目で回答割合が低くなっている。



⑤ 「セクシュアルハラスメント」行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談したときの対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約5割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約3割となっている。

2020年度調査と比較すると、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」の回答割合は低くなり、「相談に乗ってくれなかった」の回答割合は高くなっている。



第七章 文系・理系別の分析

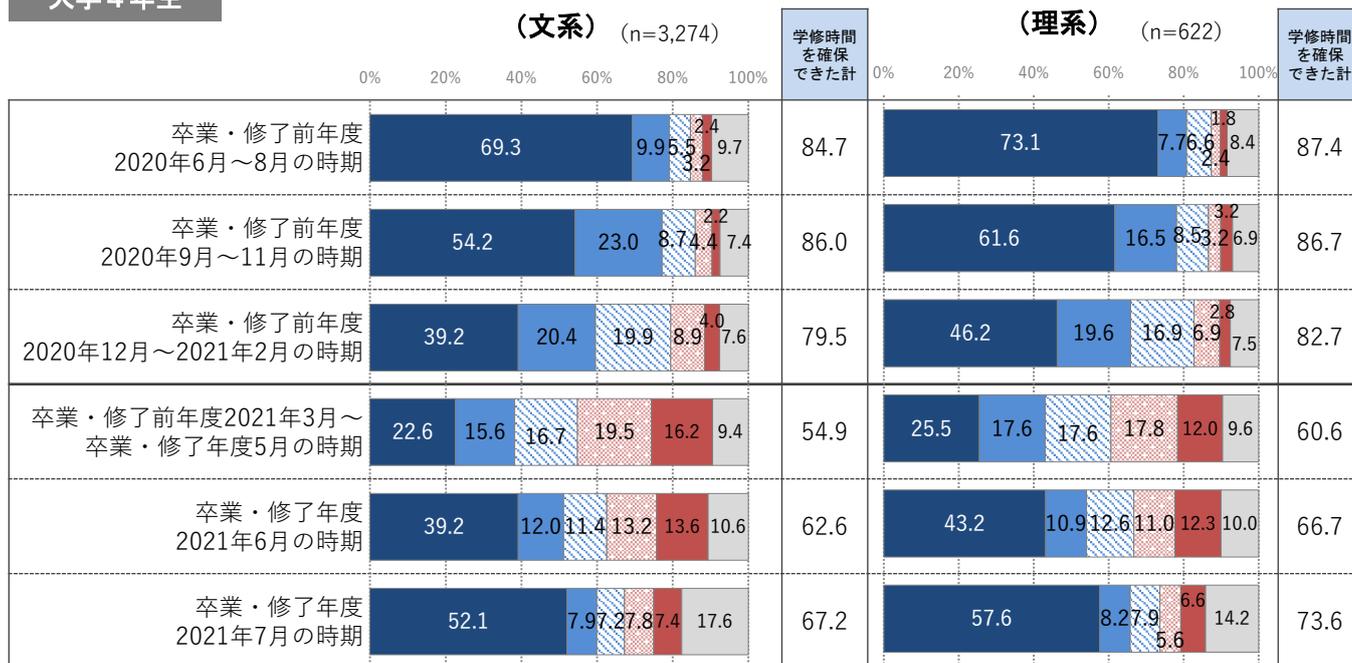
第七章 文系・理系別の分析

(1) 文系・理系別の就職活動の内容

①文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

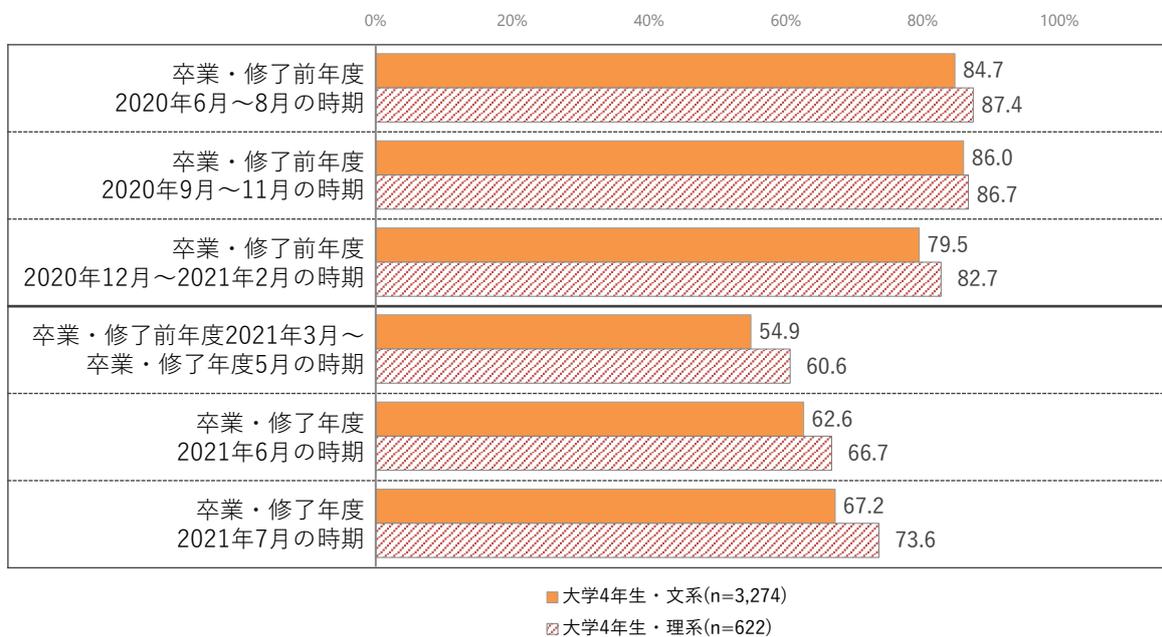
就職活動と学修時間確保の状況について、大学4年生・大学院2年生のそれぞれについて文系・理系別に集計すると、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに概ね「理系」の方が学修時間が確保できた割合は大きい。ただし、大学院2年生でよりその差は大きい傾向にある。

大学4年生



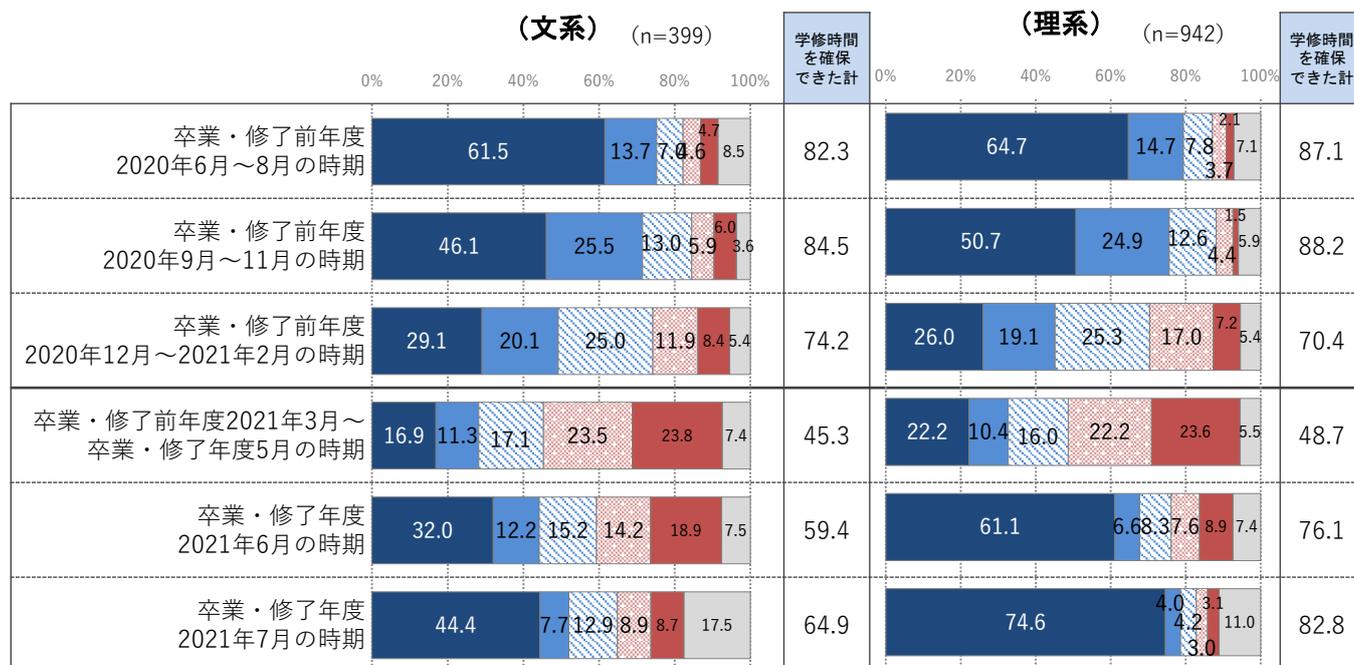
- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった

(文系・理系別比較)



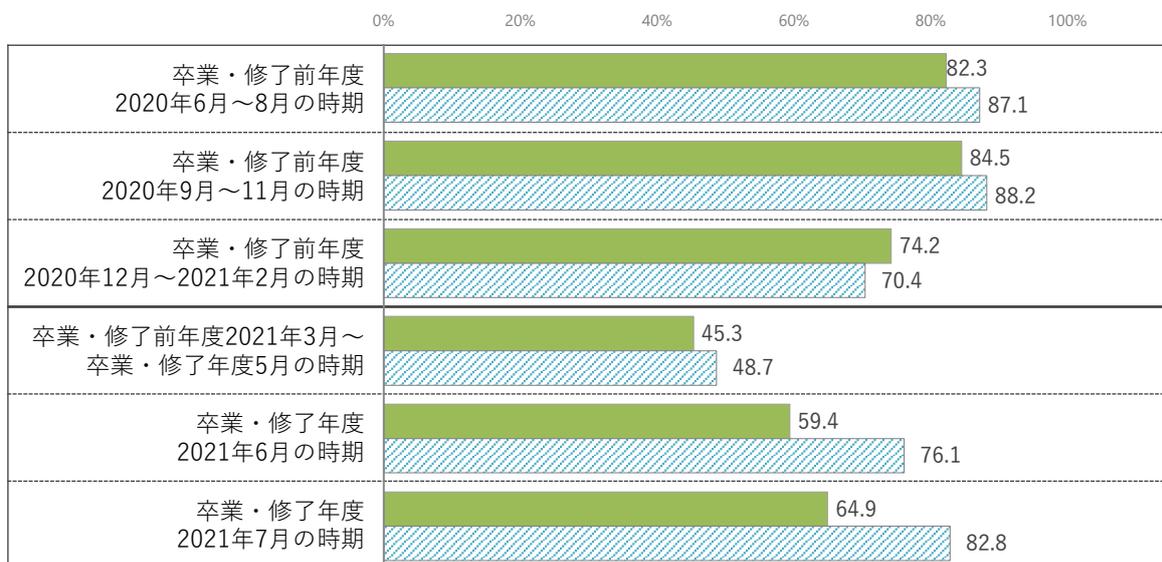
①文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

大学院2年生



- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった

(文系・理系別比較)



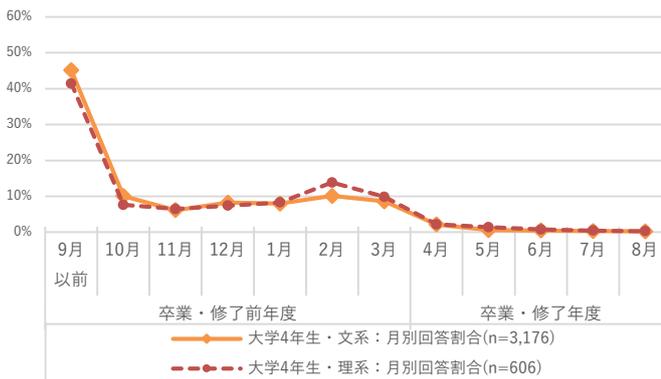
- 大学院2年生・文系(n=399)
- 大学院2年生・理系(n=942)

②文系・理系別の業界や企業に関する分析を開始した時期

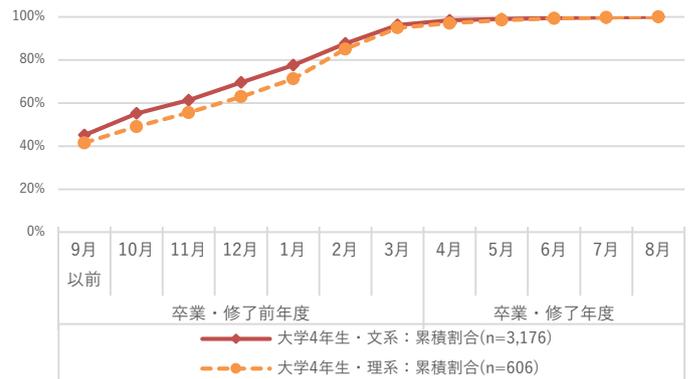
文系・理系別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると、大学4年生は文系・理系で概ね同様の結果となっている。大学院2年生では、理系の学生の方が業界や企業の分析を開始する時期は早くなっている。

大学4年生

月別回答割合

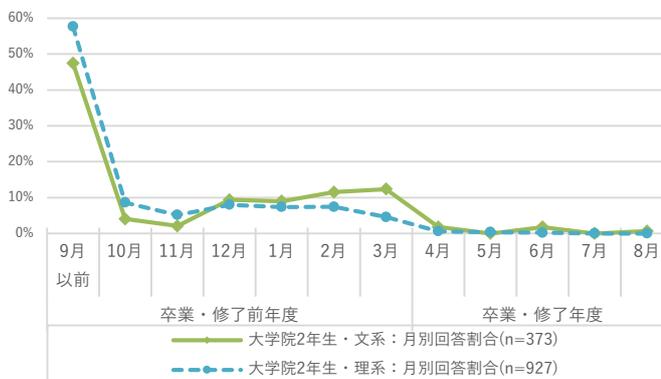


累計割合

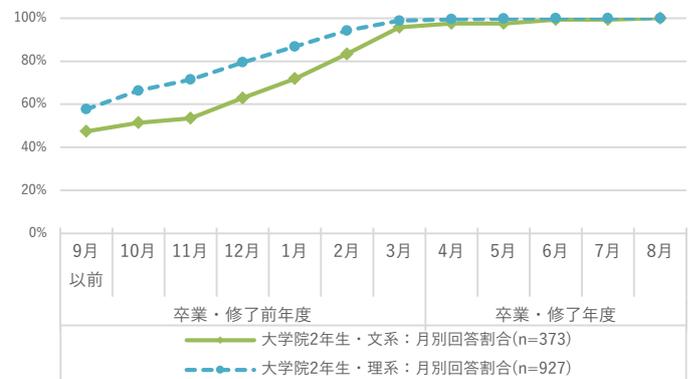


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



③文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

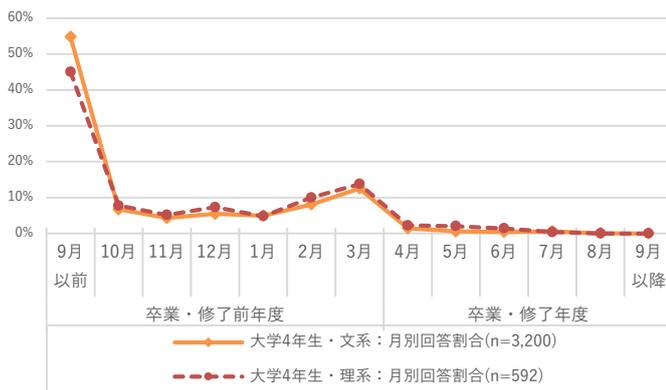
文系・理系別に、企業説明会やセミナー等の参加状況について集計すると、大学4年生では、「最初に参加した時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高く、「参加のピーク」は文系・理系で概ね同様となっている。「最後に参加した時期」は、卒業前年度2月までは文系・理系で概ね同様だが、3月以降は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

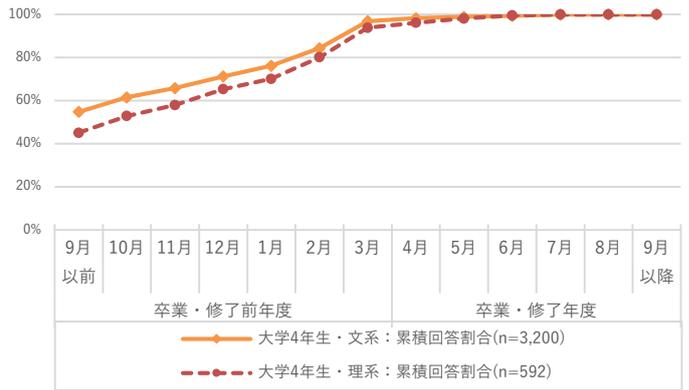
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

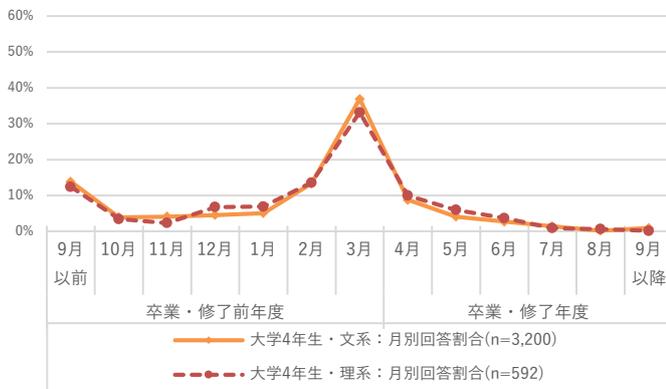


累計割合

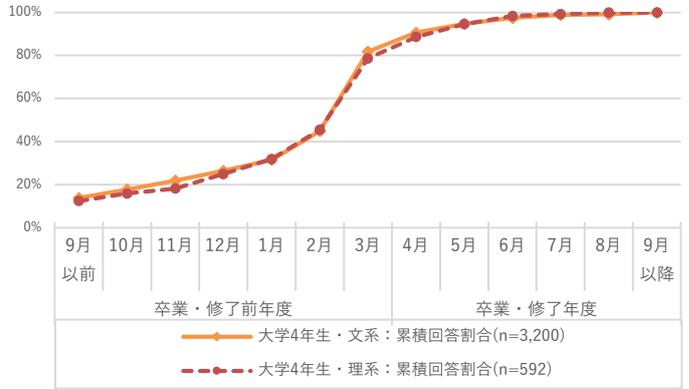


参加のピーク

月別回答割合

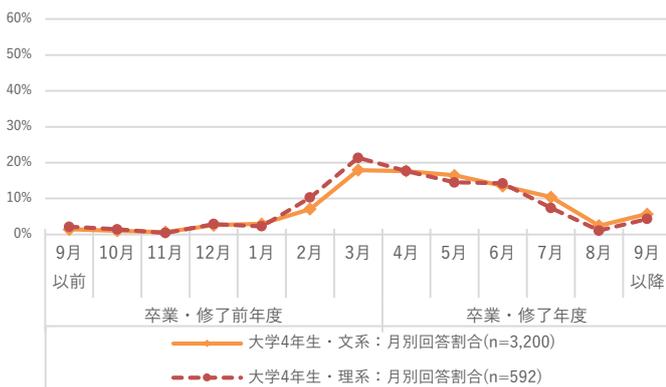


累計割合

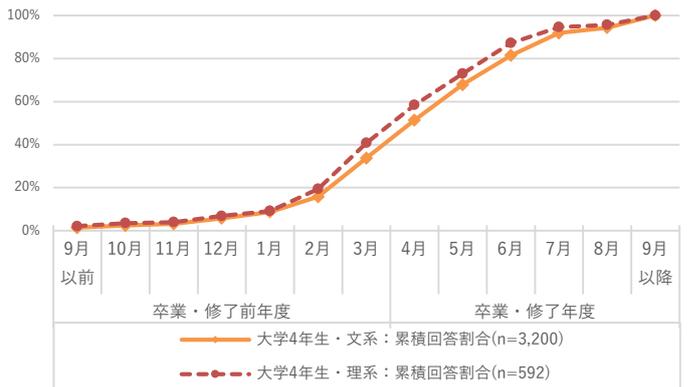


最後に参加した時期

月別回答割合



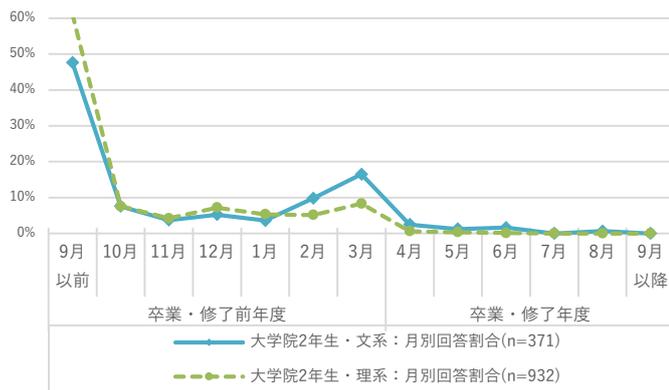
累計割合



③文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

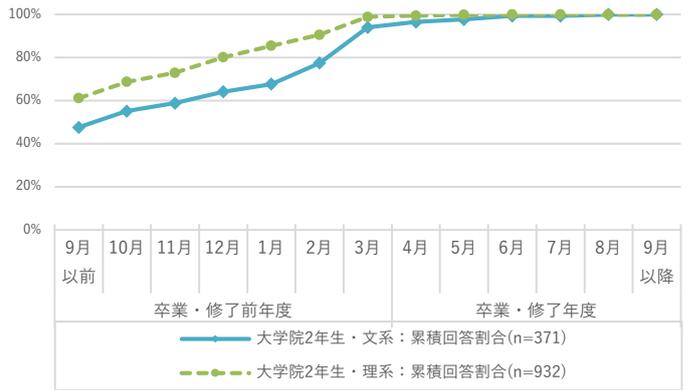
大学院2年生では、「最初に参加した時期」、「参加のピーク」、「最後に参加した時期」いずれについても理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合



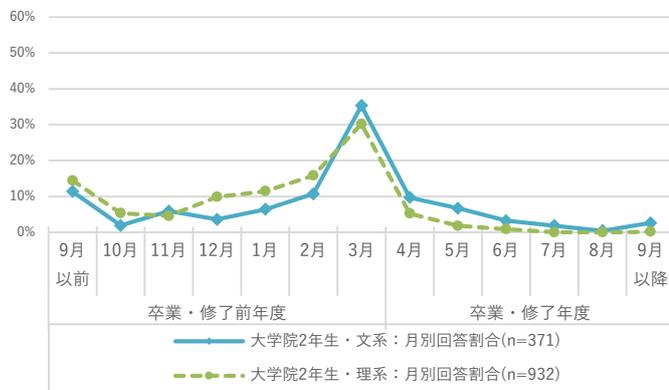
最初に参加した時期

累計割合

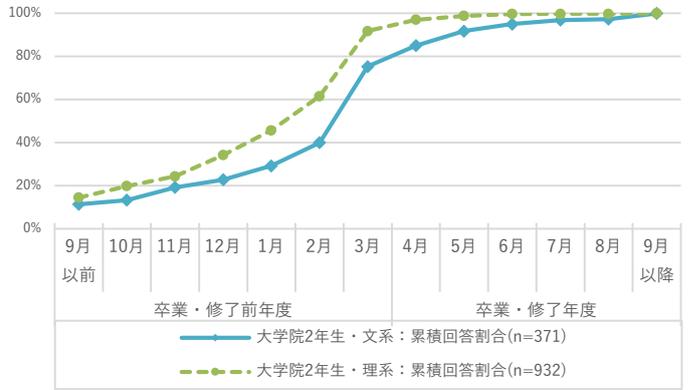


参加のピーク

月別回答割合

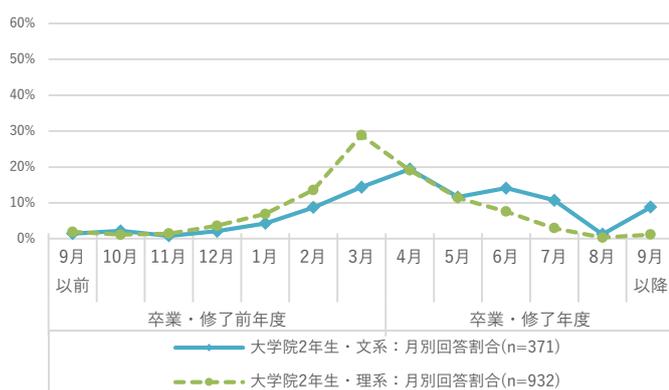


累計割合

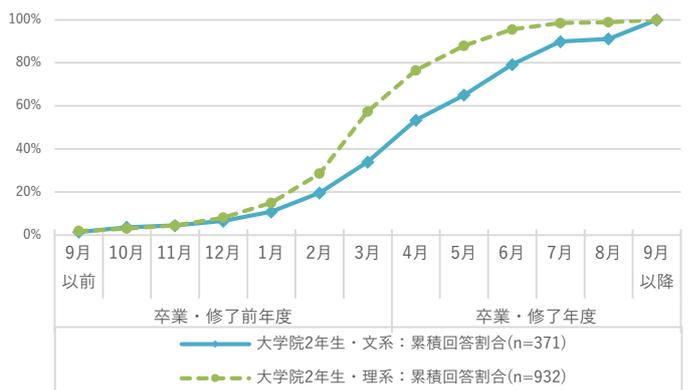


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合

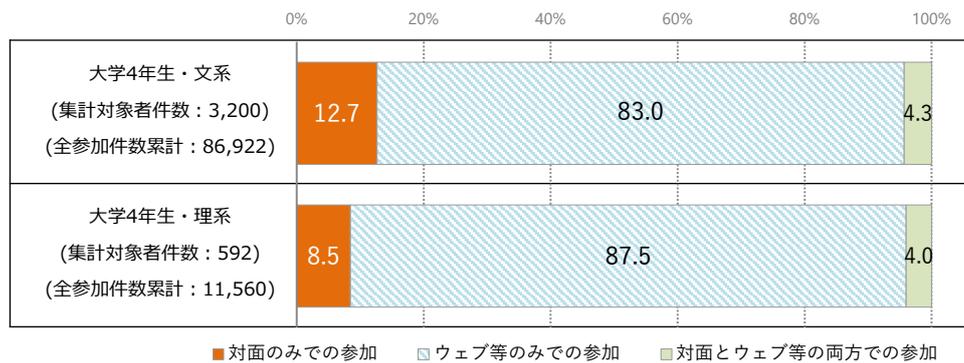


④文系・理系別の企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

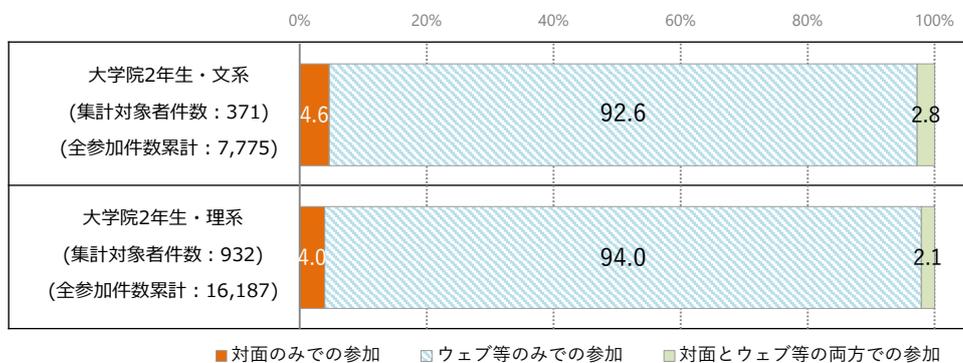
文系・理系別に、企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では、「ウェブ等のみでの参加」は文系では約8割、理系では約9割となっている。

また、大学院2年生については、「ウェブ等のみでの参加」は文系、理系ともに約9割となっている。

大学4年生



大学院2年生



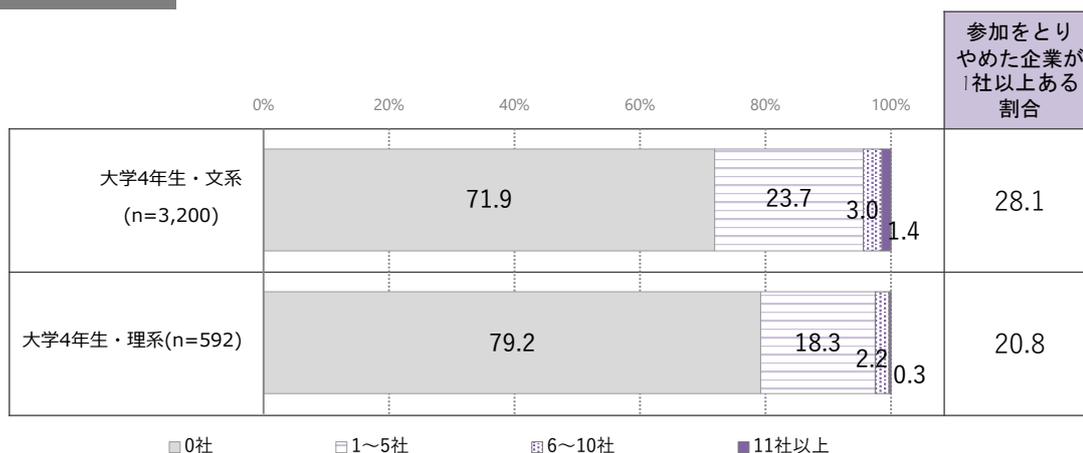
※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

⑤文系・理系別の対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

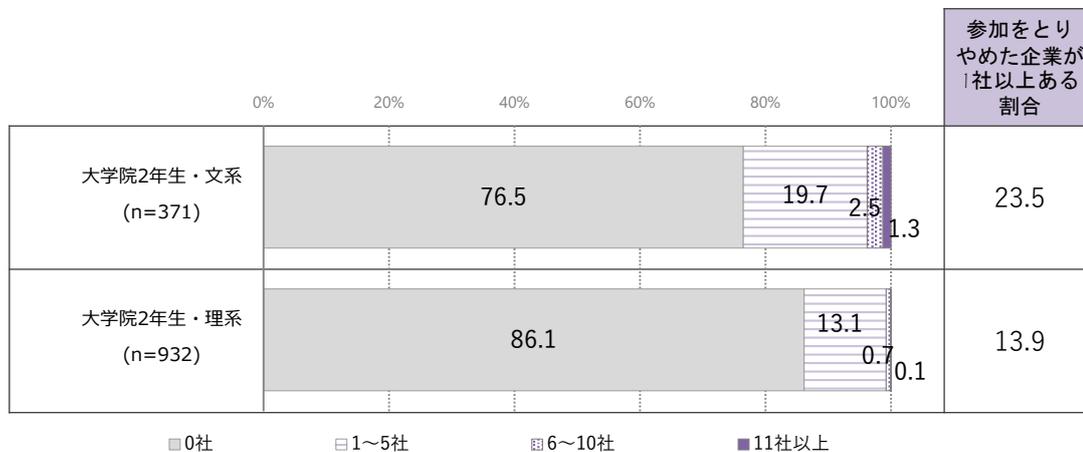
文系・理系別に、参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて集計したところ、大学4年生では、1社以上と回答した者は文系では約3割、理系では約2割となっている。

また、大学院2年生では、1社以上と回答した者は文系で約2割、理系で約1割となっている。

大学4年生



大学院2年生



⑥文系・理系別のエントリーシートの提出状況

文系・理系別に、エントリーシートの提出状況について集計すると、大学4年生では、「最初に提出した時期」及び「提出のピーク」は文系・理系とで概ね同様の結果となっているが、「最後に提出した時期」については、理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

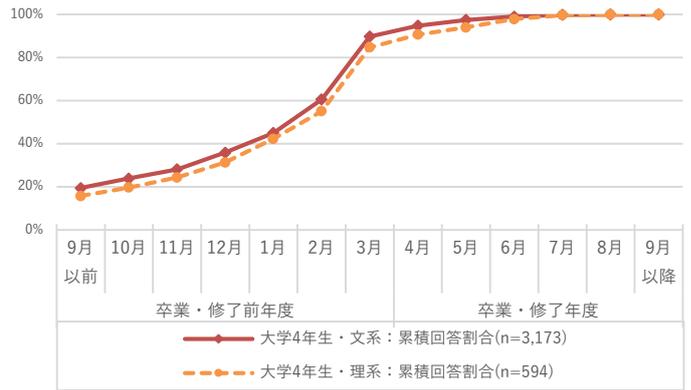
大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

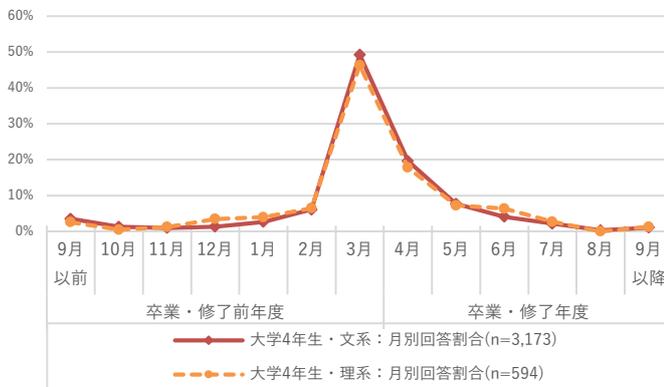


累計割合

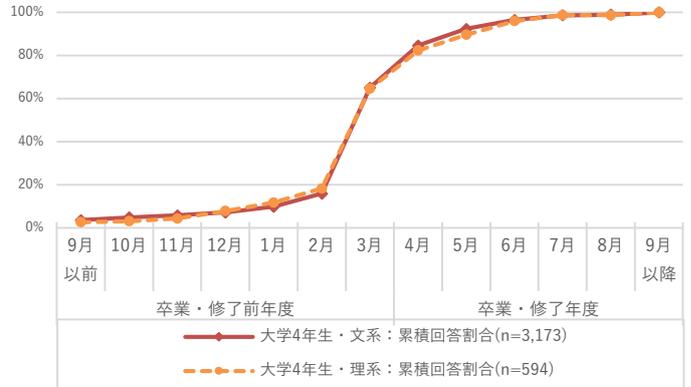


参加のピーク

月別回答割合

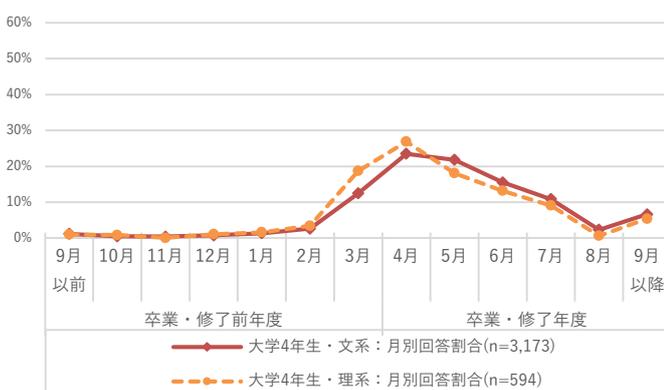


累計割合

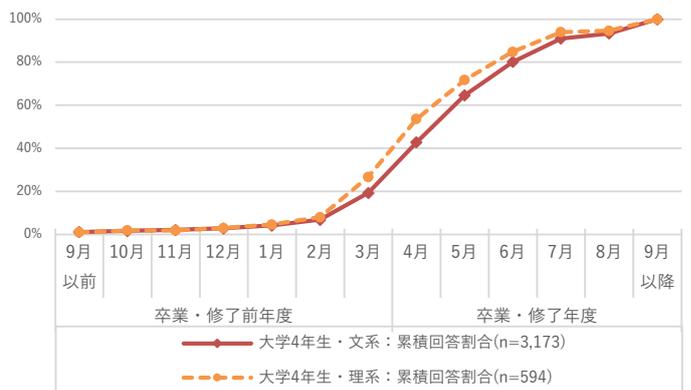


最後に参加した時期

月別回答割合



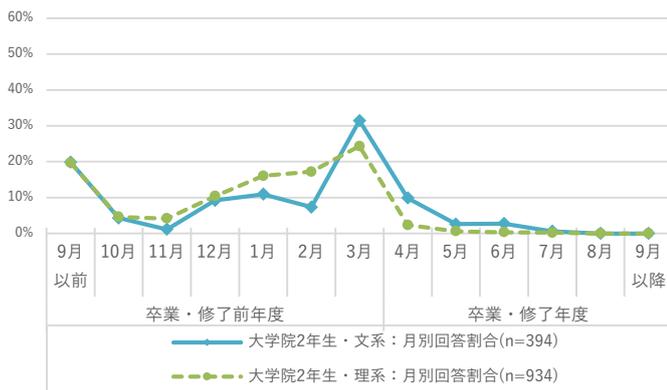
累計割合



⑥文系・理系別のエントリーシートの提出状況

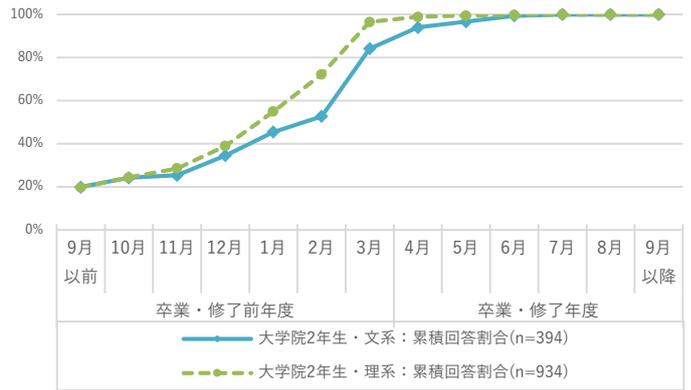
大学院2年生では、「最初に提出した時期」は修了前年度12月以降、「提出のピーク」は1月以降、「最後に提出した時期」は2月以降の時期で理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合



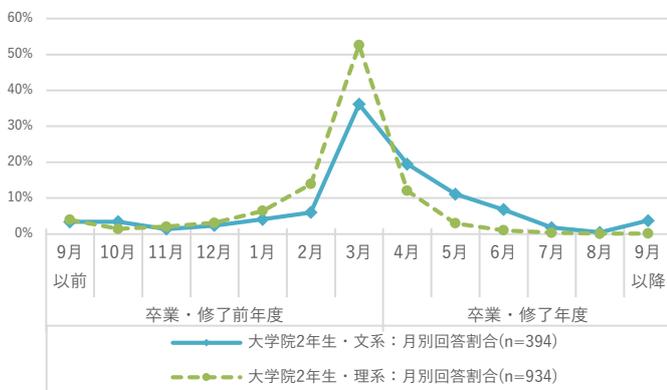
最初に提出した時期

累計割合

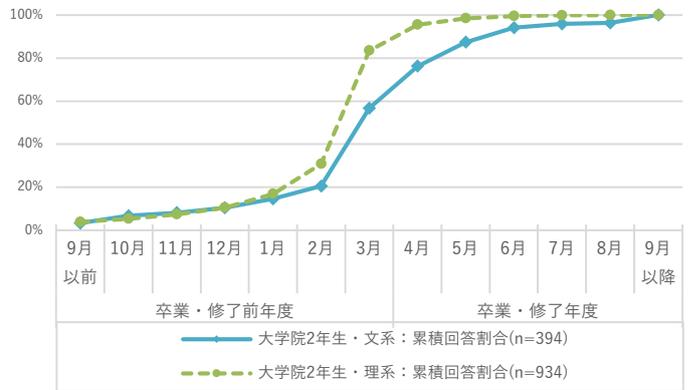


提出のピーク

月別回答割合

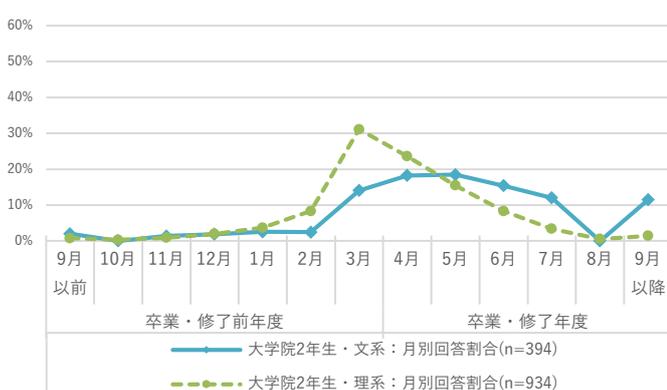


累計割合

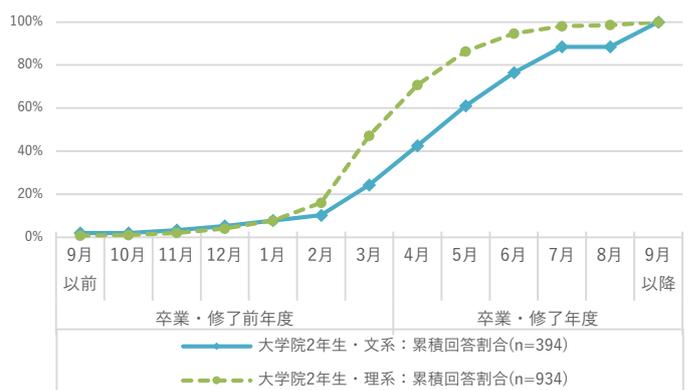


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合



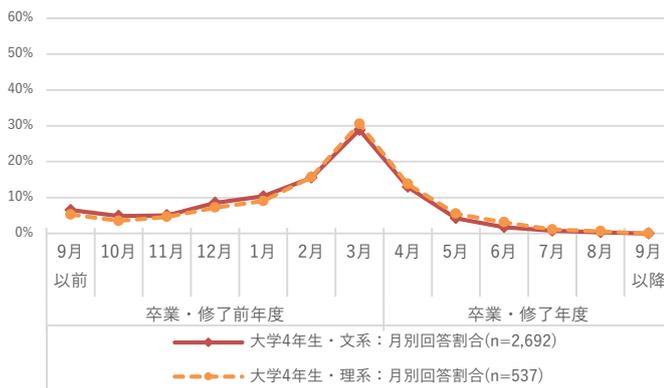
⑦文系・理系別の採用面接の実施状況

文系・理系別に、採用面接の実施状況について集計すると※1、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっているが、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」は理系の学生の方がより早期の回答割合が若干高くなっている。

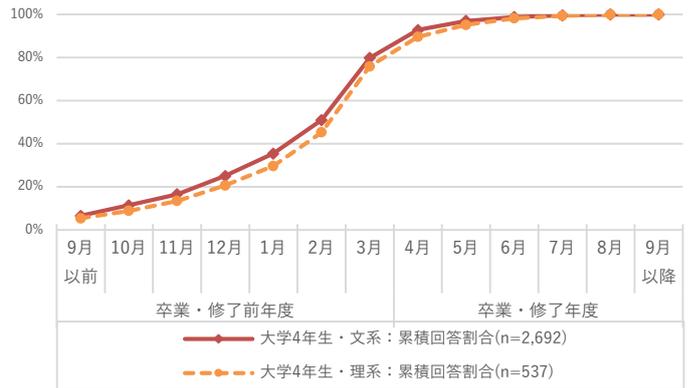
大学4年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

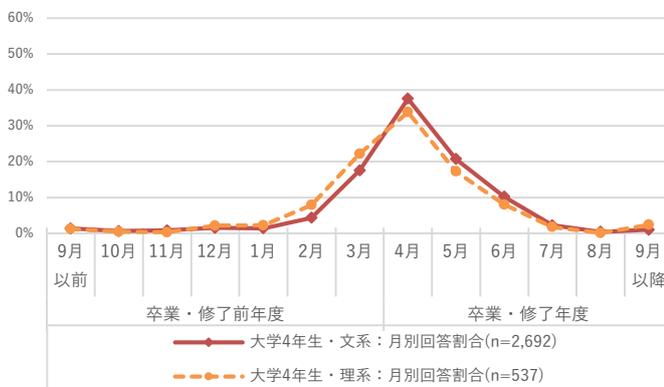


累計割合

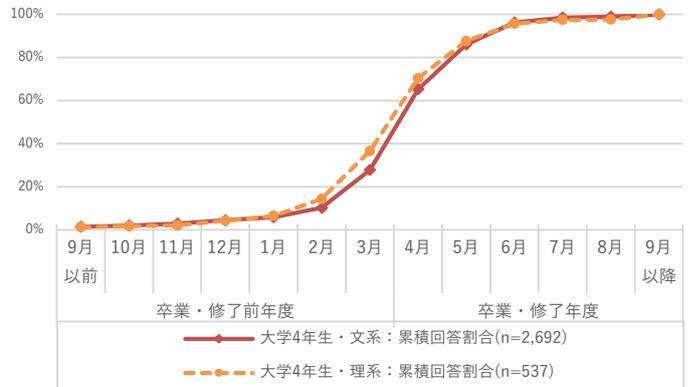


採用面接のピーク

月別回答割合



累計割合

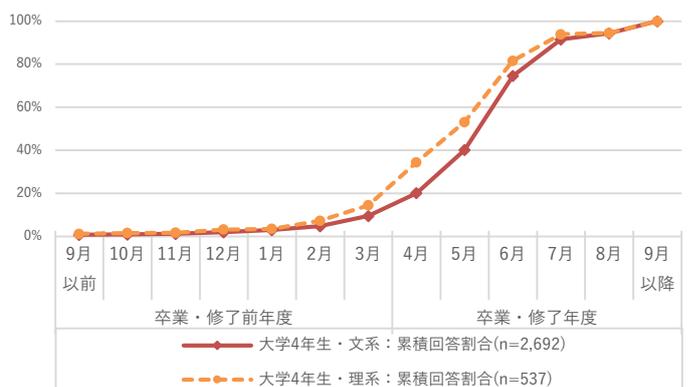


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



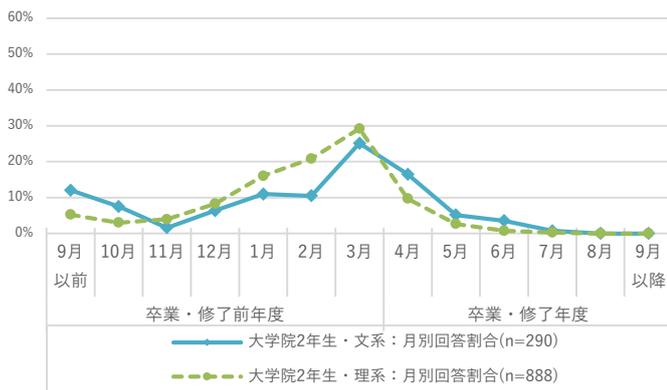
※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段受けなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

⑦文系・理系別の採用面接の実施状況

大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」については修了前年度1月以降、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」については2月以降の時期において、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。

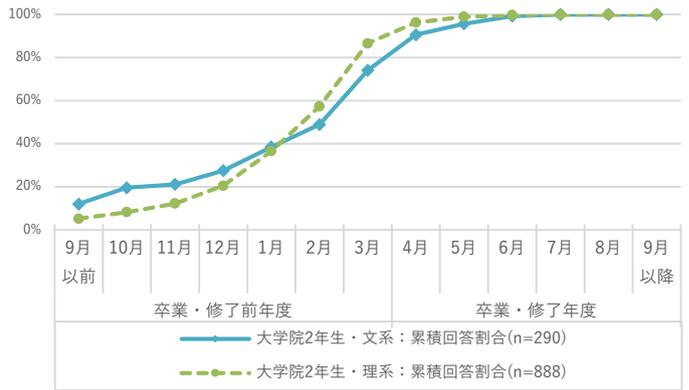
大学院2年生

月別回答割合



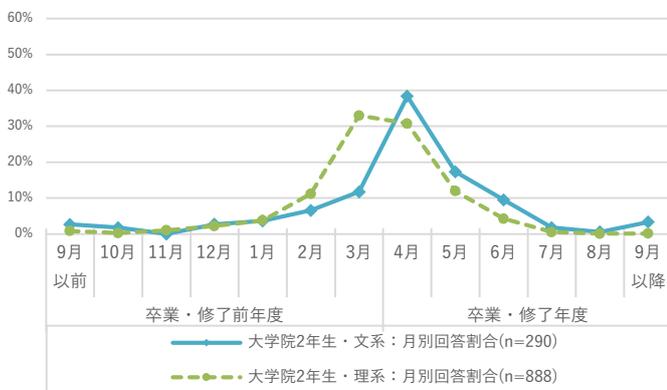
最初に受けた採用面接の時期

累計割合

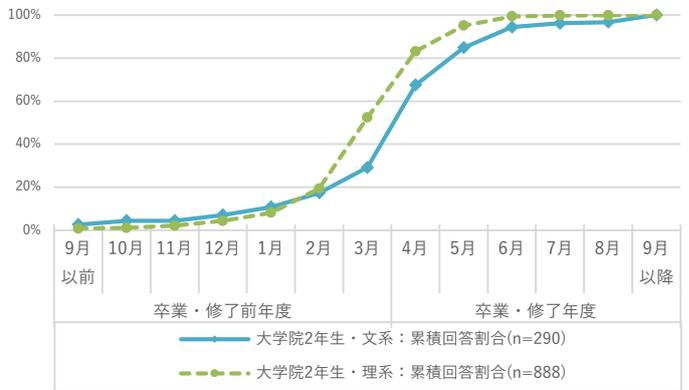


採用面接のピーク

月別回答割合

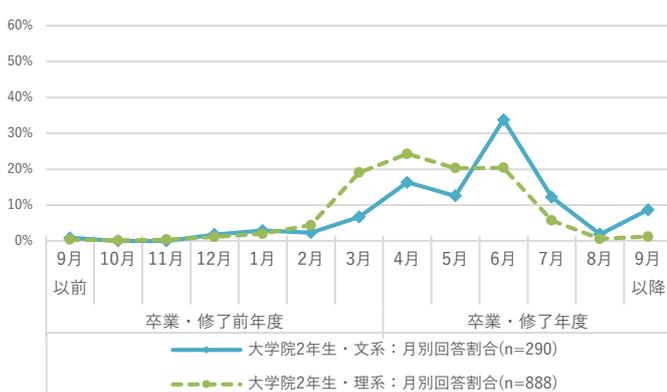


累計割合

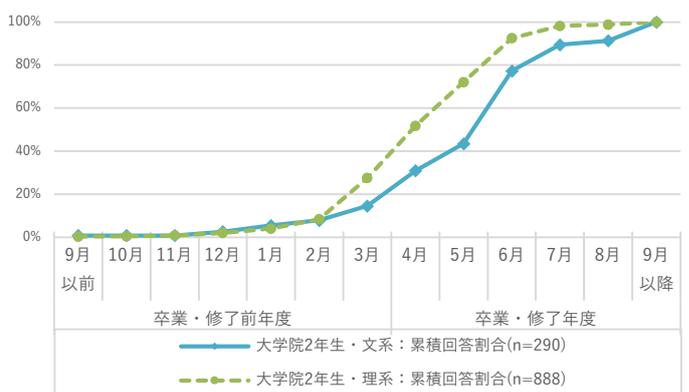


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



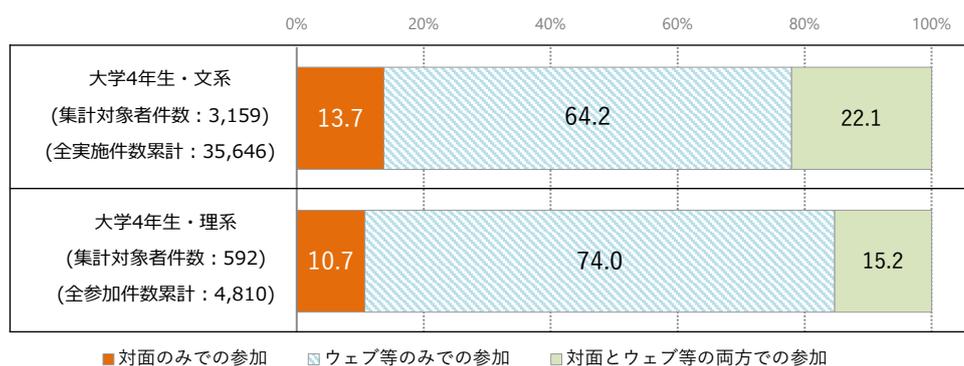
累計割合



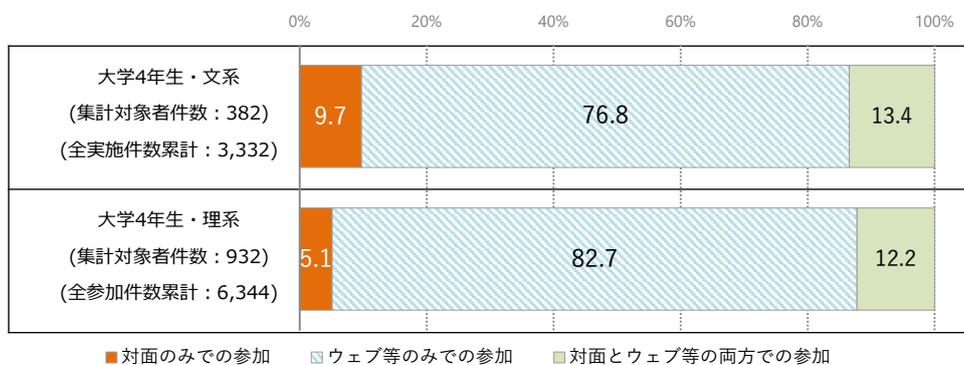
⑧文系・理系別の採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

文系・理系別に、採用面接について実施された方法別のすべての企業数を累計※1し、実施方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生について「ウェブ等のみでの実施」は文系で約6割、理系で約7割となっている。また、大学院2年生については、「ウェブ等のみでの実施」は文系、理系ともに約8割となっている。

大学4年生



大学院2年生



※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

⑨文系・理系別の内々定を受けた時期

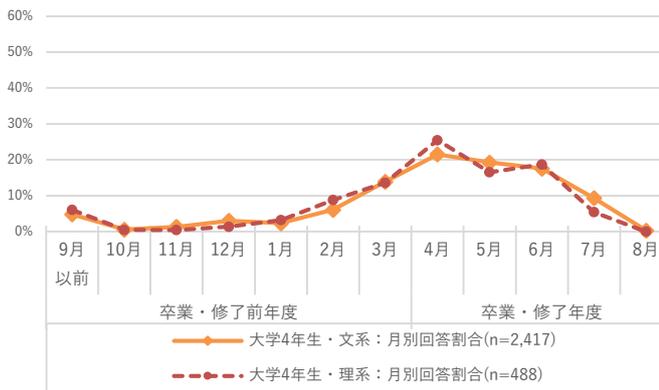
文系・理系別に、最初の内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、文系、理系ともに卒業終了年度の4月の割合が高くなっている。

大学院2年生では、文系の学生は修了年度の4月、理系の学生は修了前年度の3月、4月の回答割合が高くなっている。

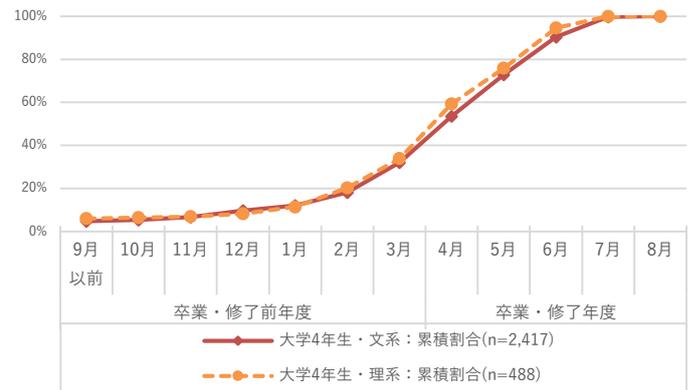
大学4年生

最初に内々定を受けた時期

月別回答割合

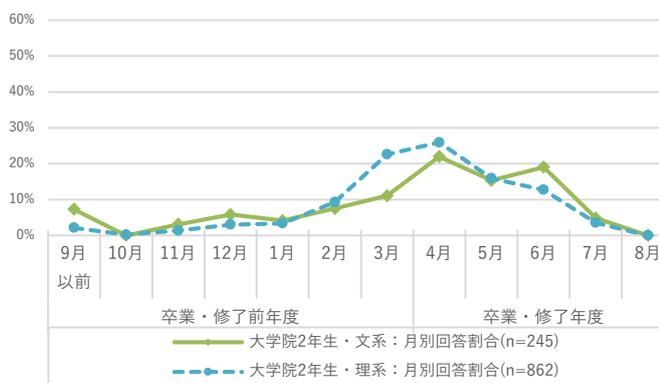


累計割合

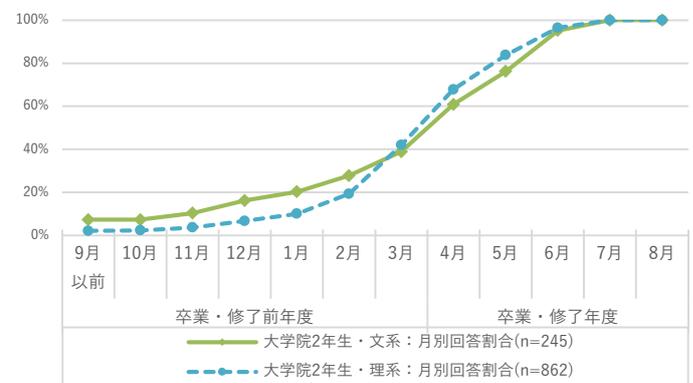


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

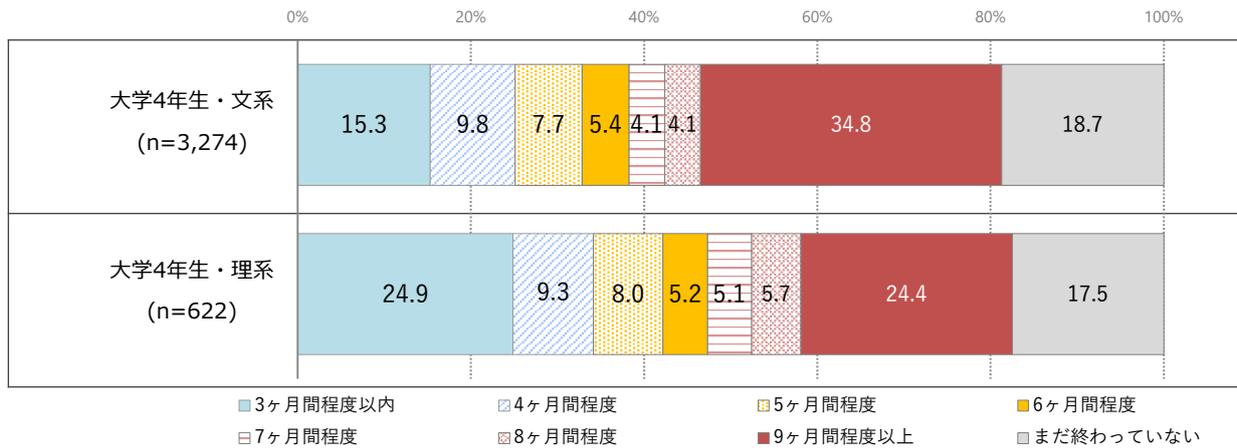
⑩就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、特に大学4年生に関して、理系の学生の方がより短い期間の割合が高くなっている。

大学院2年生については、理系の学生は「まだ終わっていない」の回答割合は比較的低いものの、「9ヶ月間程度以上」の割合は高く、一方で、「3ヶ月間程度以内」の割合は文系と比べ高いことから、短期間で終了する人と長期間に渡る人とで二分化する傾向が見られる。

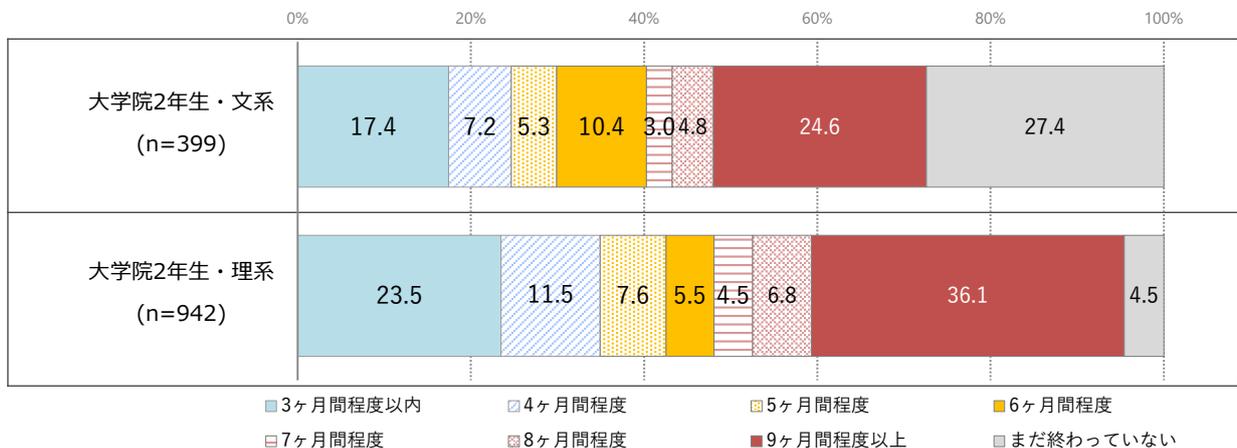
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



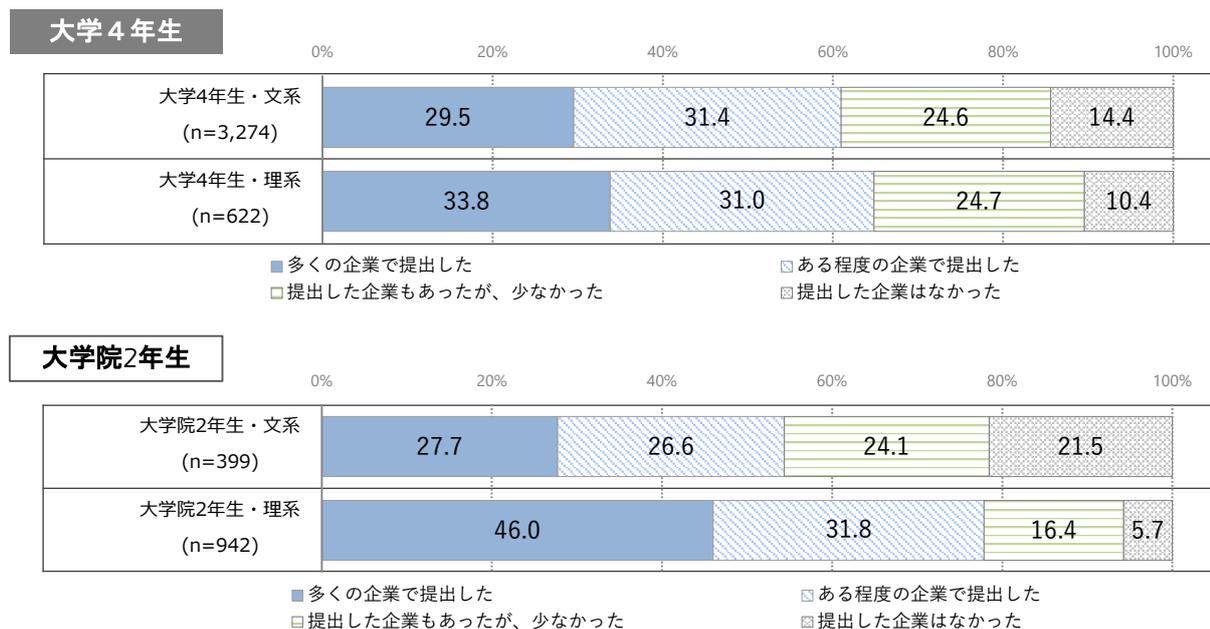
※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。
公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑪文系・理系別の学業重視の選考

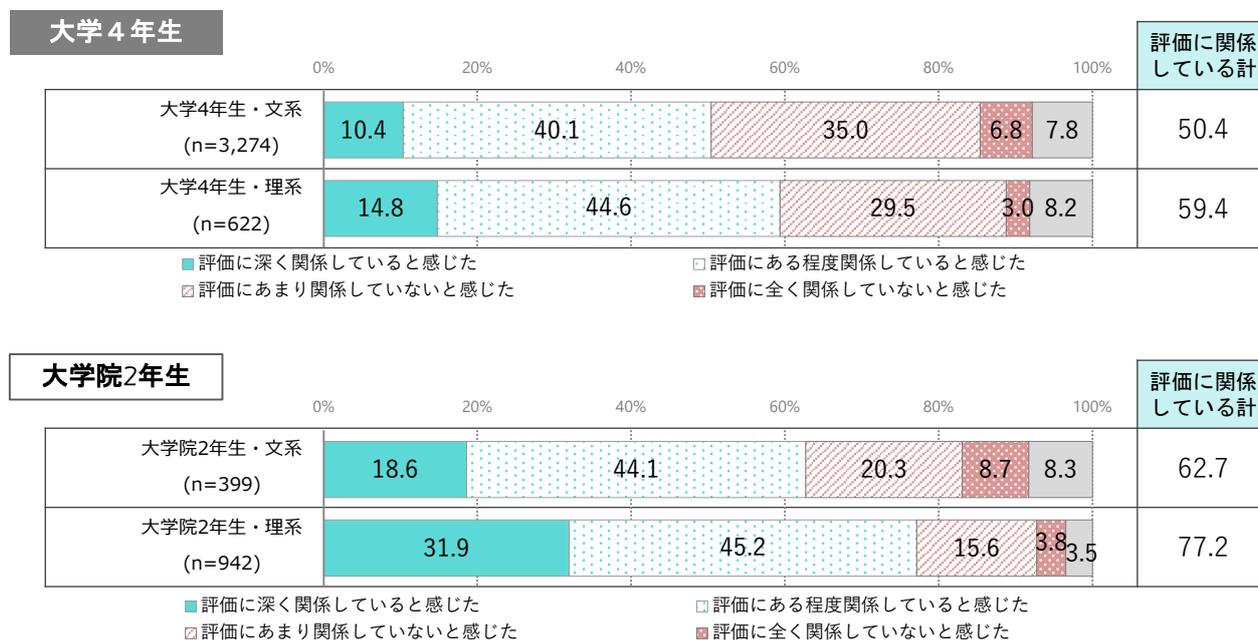
文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

【履修履歴(成績証明書など)の提出の状況】



【採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか】



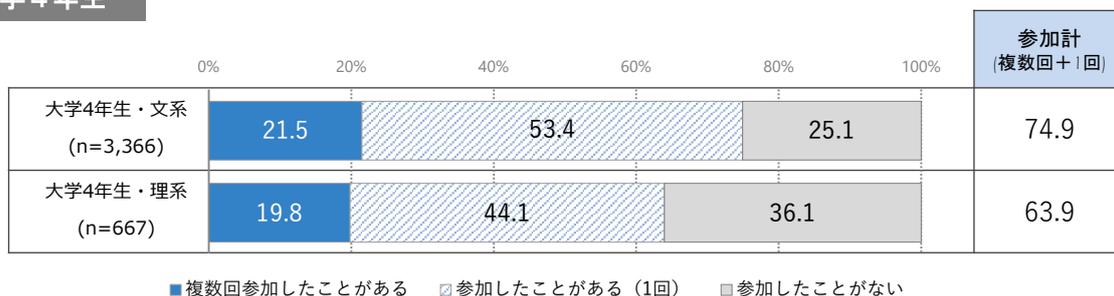
⑫文系・理系別のインターンシップの参加状況

文系・理系別に、インターンシップの参加経験の有無について集計すると、「参加したことがある」の回答割合は、大学4年生では文系の学生の方が高く、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。

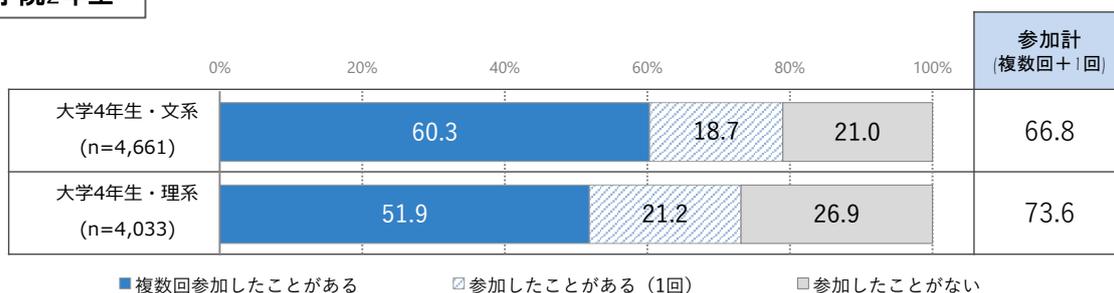
また、参加日数(参加したインターンシップのうち、最長の日数のもの)について、大学4年生では5日以上などより長期間のインターンシップに参加したことがある者の割合は、理系の学生の方が高くなっているが、大学院2年生では文系の方がやや高くなっている。

【インターンシップ参加経験の有無】

大学4年生

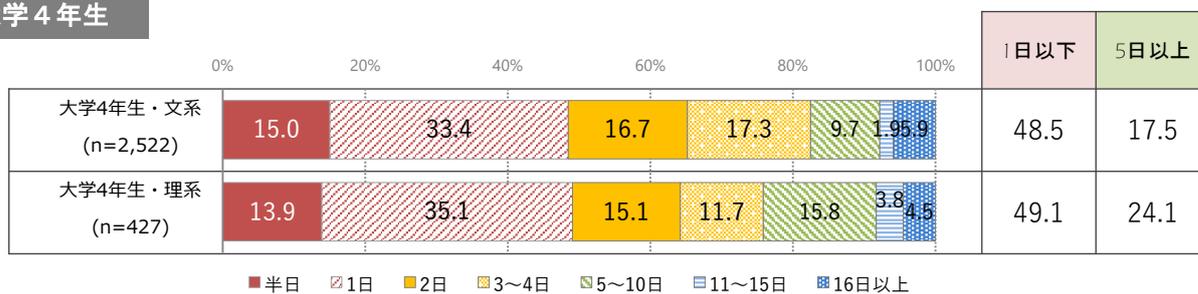


大学院2年生

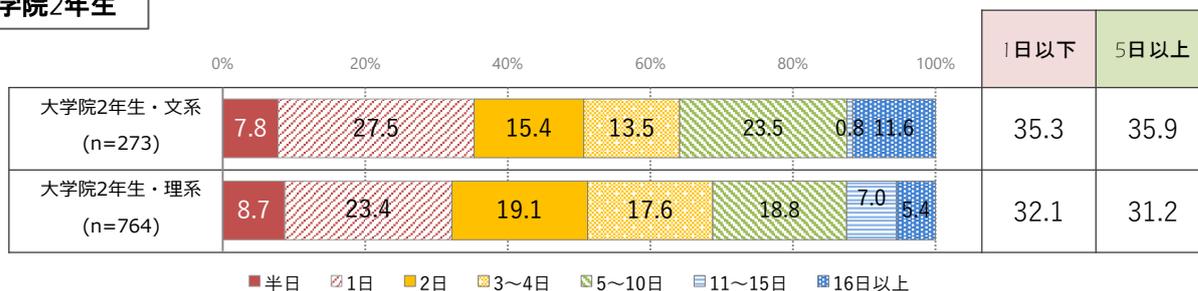


【インターンシップ参加の日数】

大学4年生



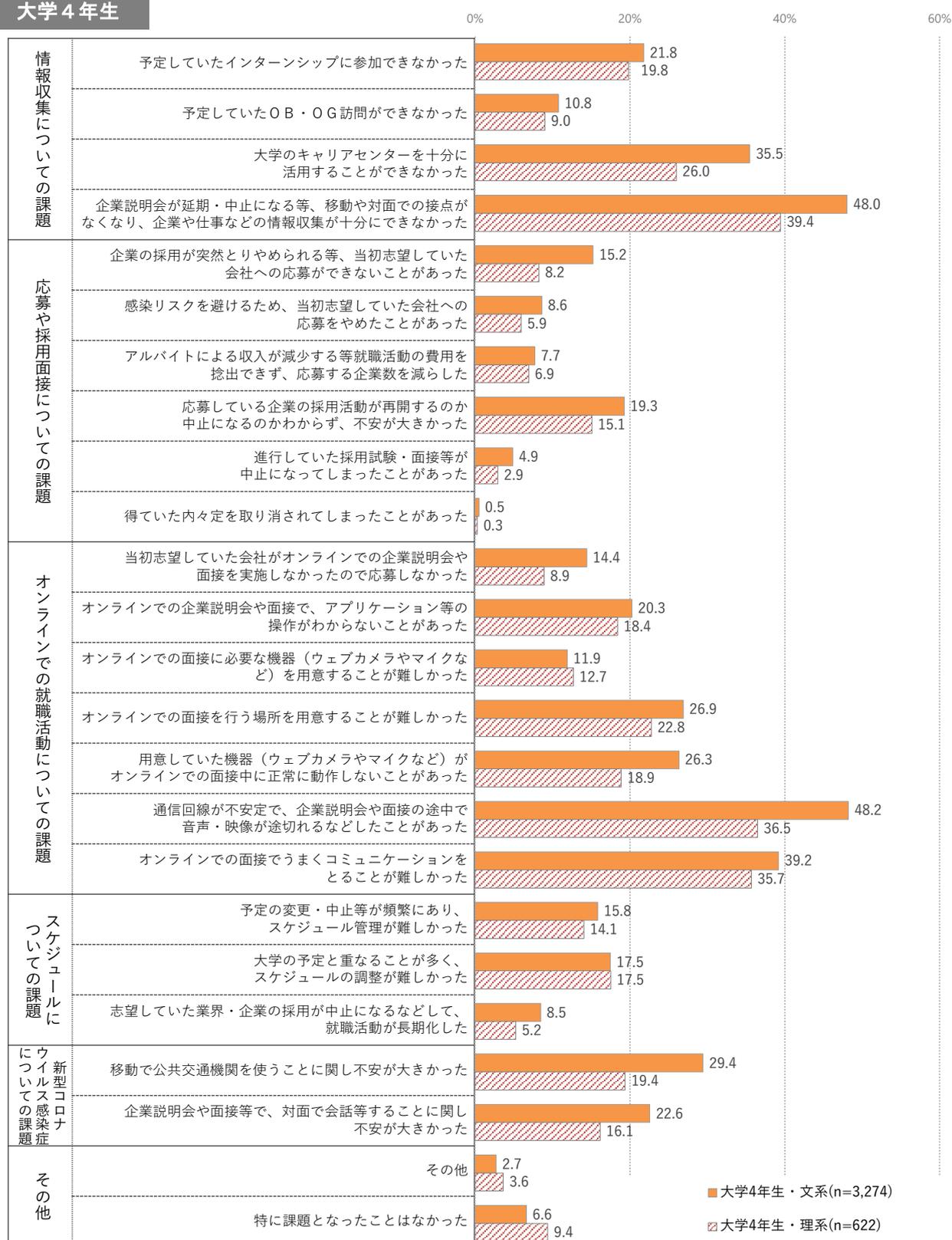
大学院2年生



⑬文系・理系別の就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、大学4年生では総じて文系の方が割合が高い項目が多く、特に「通信回線が不安定で、企業説明会や面接の中で音声・映像が途切れるなどしたことがあった」「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」では10%以上の差と、差が大きくなっている。

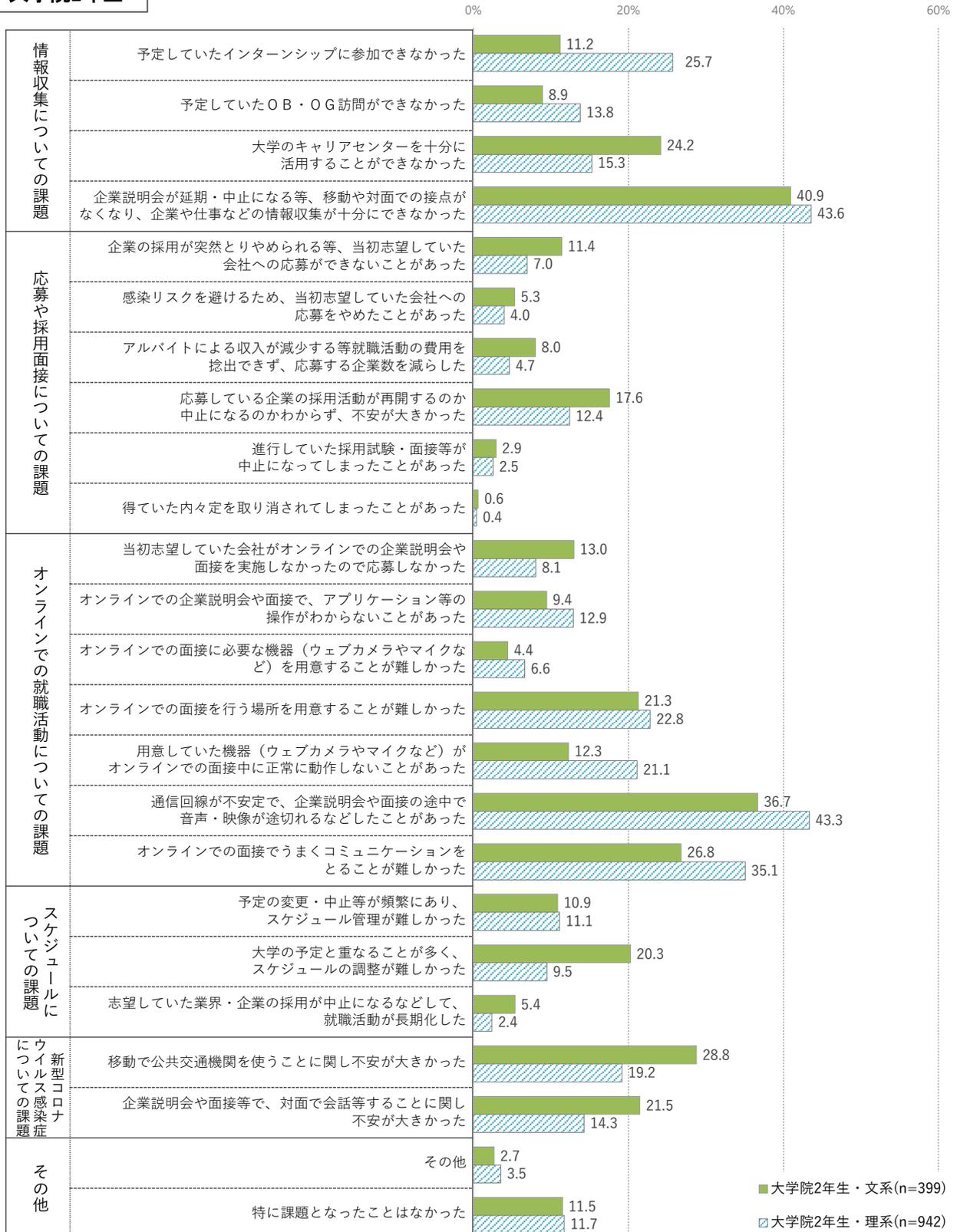
大学4年生



⑬文系・理系別の就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

大学院2年生では、文系の方が高い項目、理系の方が高い項目がどちらもあり、文系理系で10%以上差があるものでは「予定していたインターンシップに参加できなかった」では理系の方が10%以上高く、「大学の予定と重なることが多く、スケジュールの調整が難しかった」では文系の方が10%以上高い。

大学院2年生



第八章 就職予定の企業の業界別の集計

第八章 就職予定の企業の業界別の集計

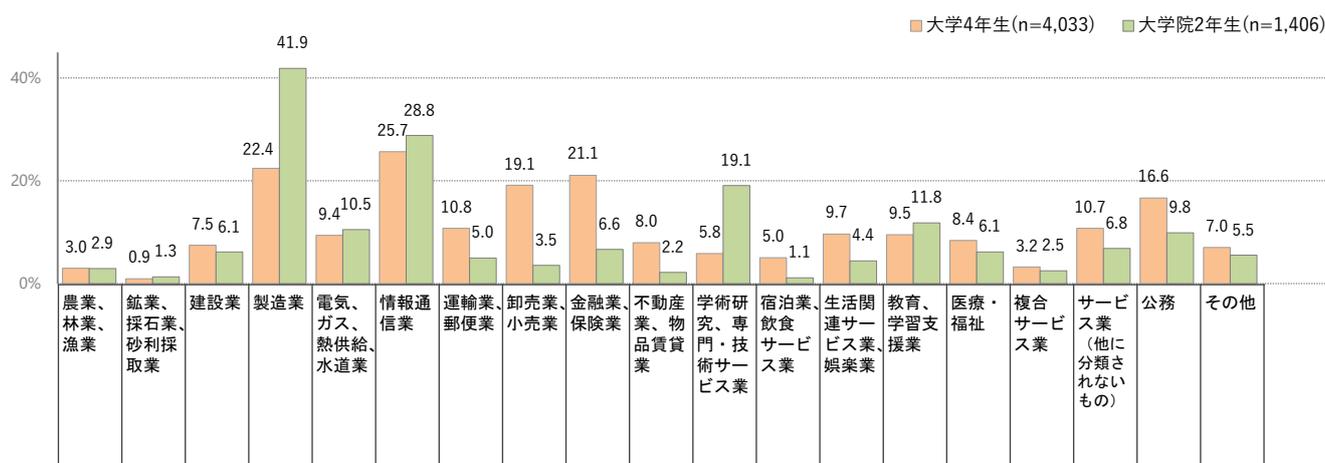
(1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

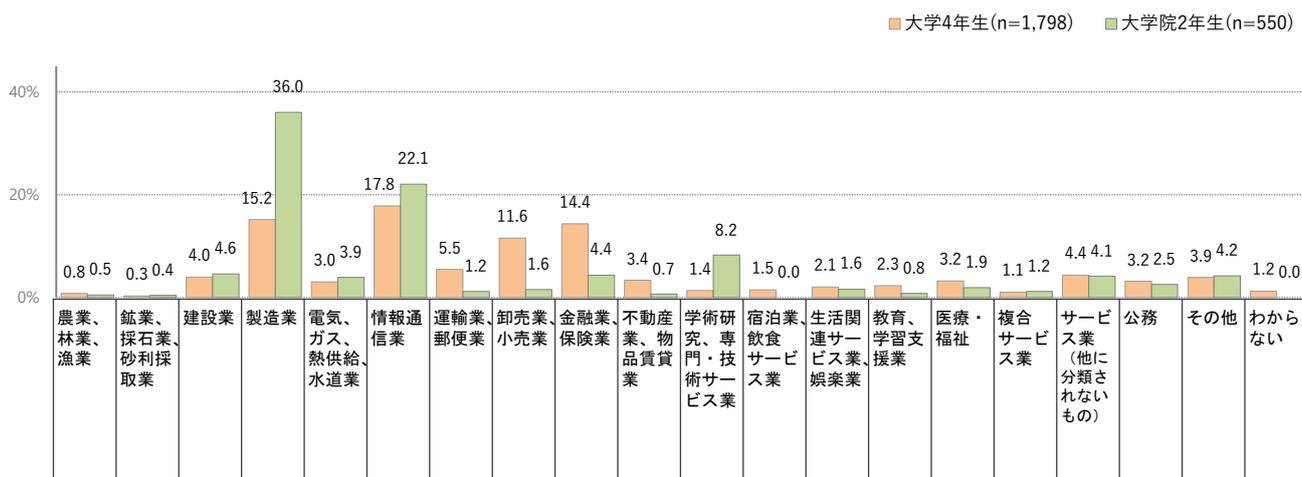
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)就職先の業界について集計すると※1、大学4年生では「情報通信業」「製造業」の順、大学院2年生では「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順で回答割合が高くなっている。

また、内々定を受けた者に関して、就職予定の企業の業界について集計しても同様で、大学4年生では「情報通信業」「製造業」「金融業、保険業」の順、大学院2年生では「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順で回答割合が高くなっている。

【志望業界（複数回答）】



【内々定を受けた就職予定の企業の業界（単数回答）】



※1：この設問の対象は、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者であったが、ここでは、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」とした者のみを集計対象とした。

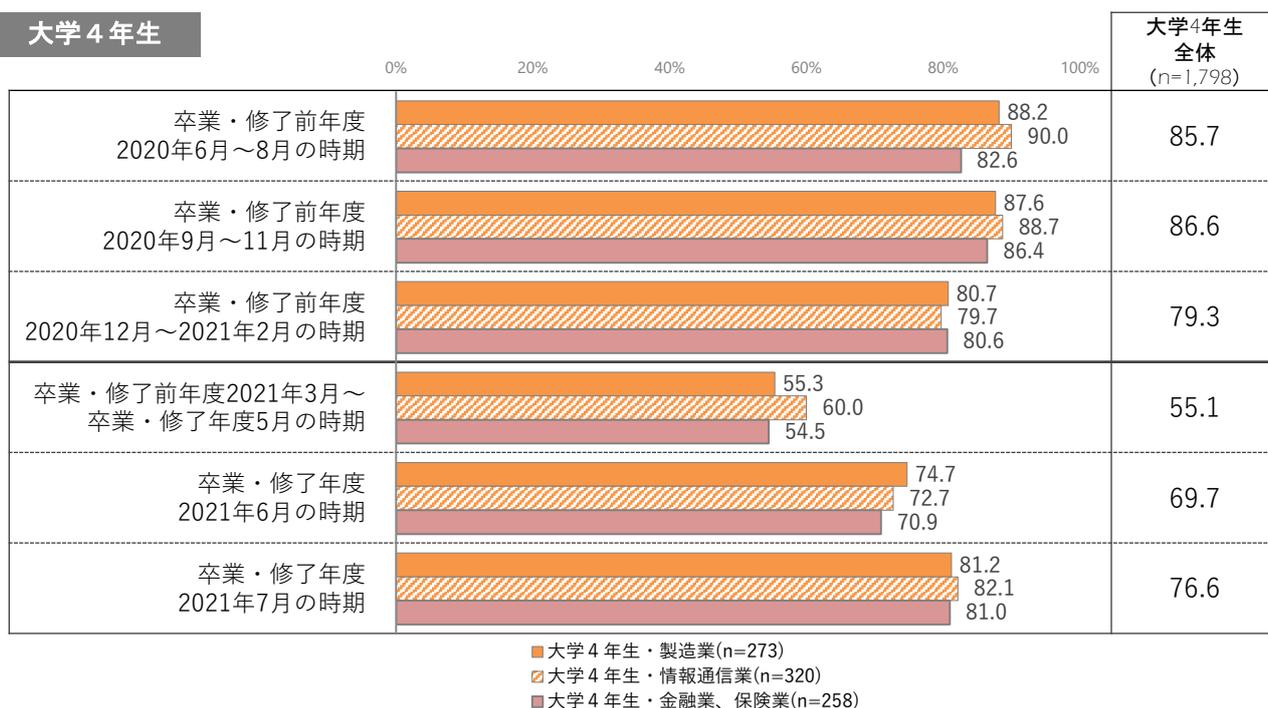
【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

②就職予定の企業の業界別の就職活動と学修時間確保の状況

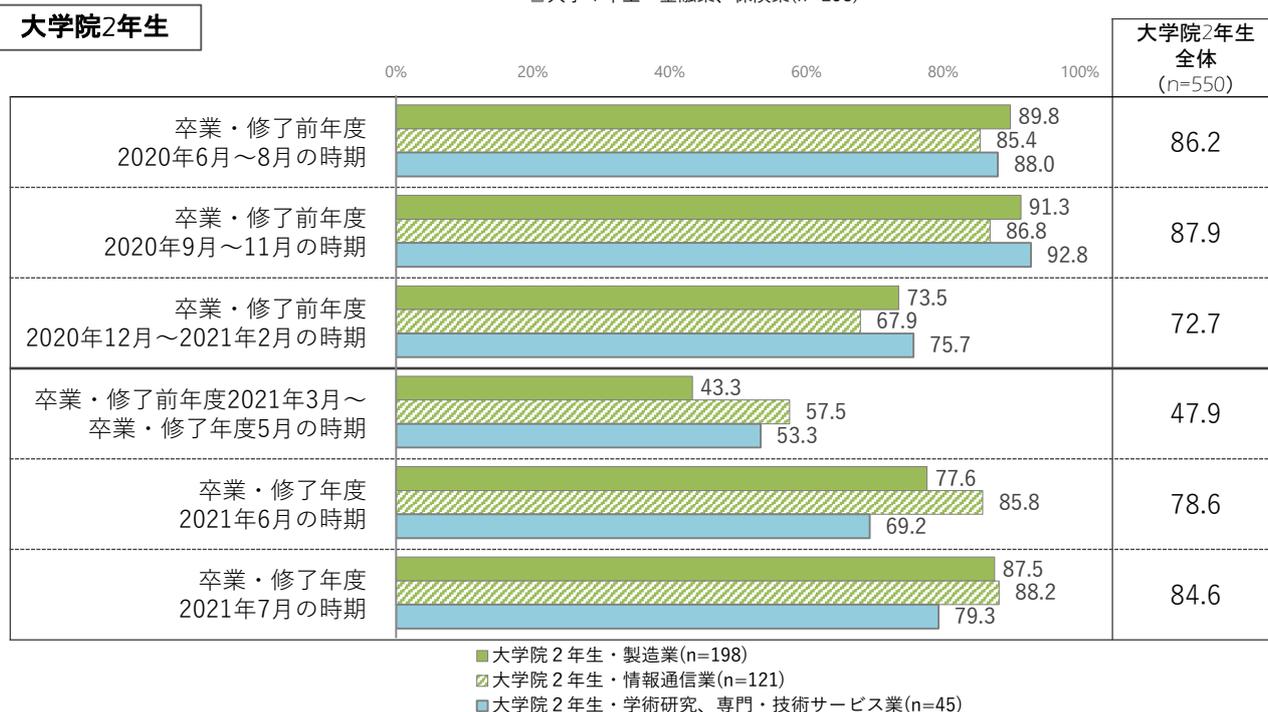
就職予定の企業の業界について該当する学生の割合が高い3業種(大学4年生に関しては「情報通信業」「製造業」「金融業、保険業」の3業種、大学院2年生に関しては「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」の3業種)に着目し、それぞれの就職活動の状況等に違いがあるかについて集計した。

就職活動と学修時間確保の状況に関し、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合について※1、大学4年生では、広報活動開始後の3月から5月においては「情報通信業」が、採用選考活動開始後の6月以降では「製造業」の割合がやや高くなっている。大学院2年生では広報活動開始後～採用選考活動開始後の6月以降において「情報通信業」の割合が高くなっている。

大学4年生



大学院2年生



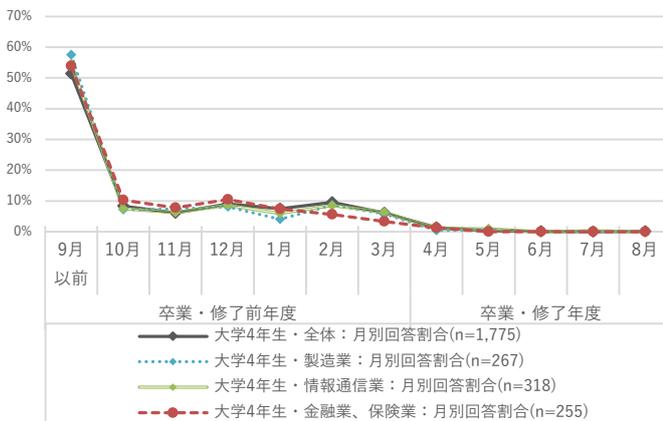
※1: 就職活動との関係で学修時間の確保ができたかどうかを尋ねた設問について、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」「就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた」「就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

③就職予定の企業の業界別の業界や企業に関する分析を開始した時期

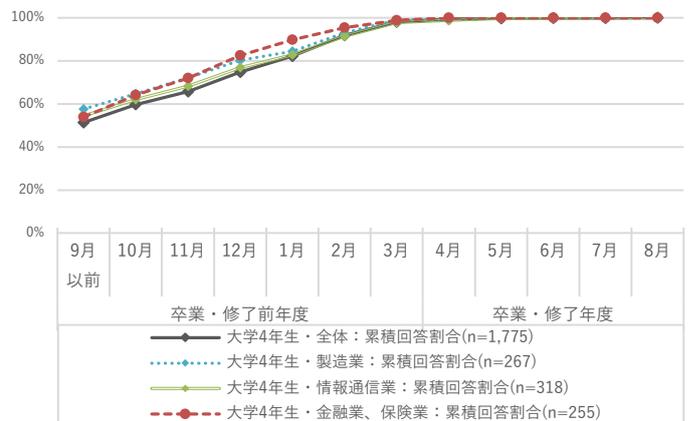
就職予定の企業の業界別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると※1、大学4年生ではどの業界でも概ね同様となっているが、大学院2年生では、「学術研究、専門・技術サービス業」の者で比較的遅い時期の回答割合が高くなっている。

大学4年生

月別回答割合

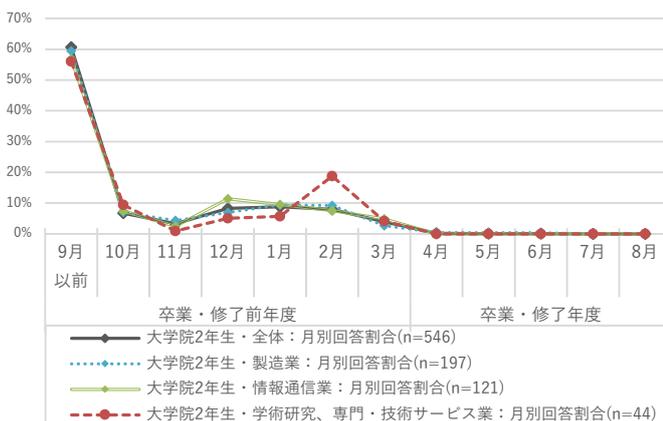


累計割合

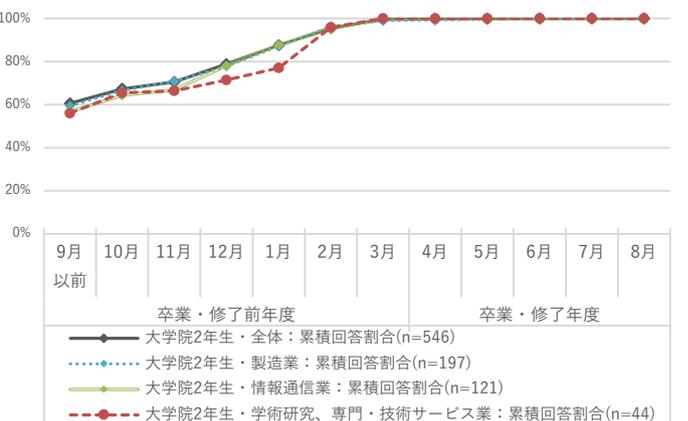


大学院2年生

月別回答割合



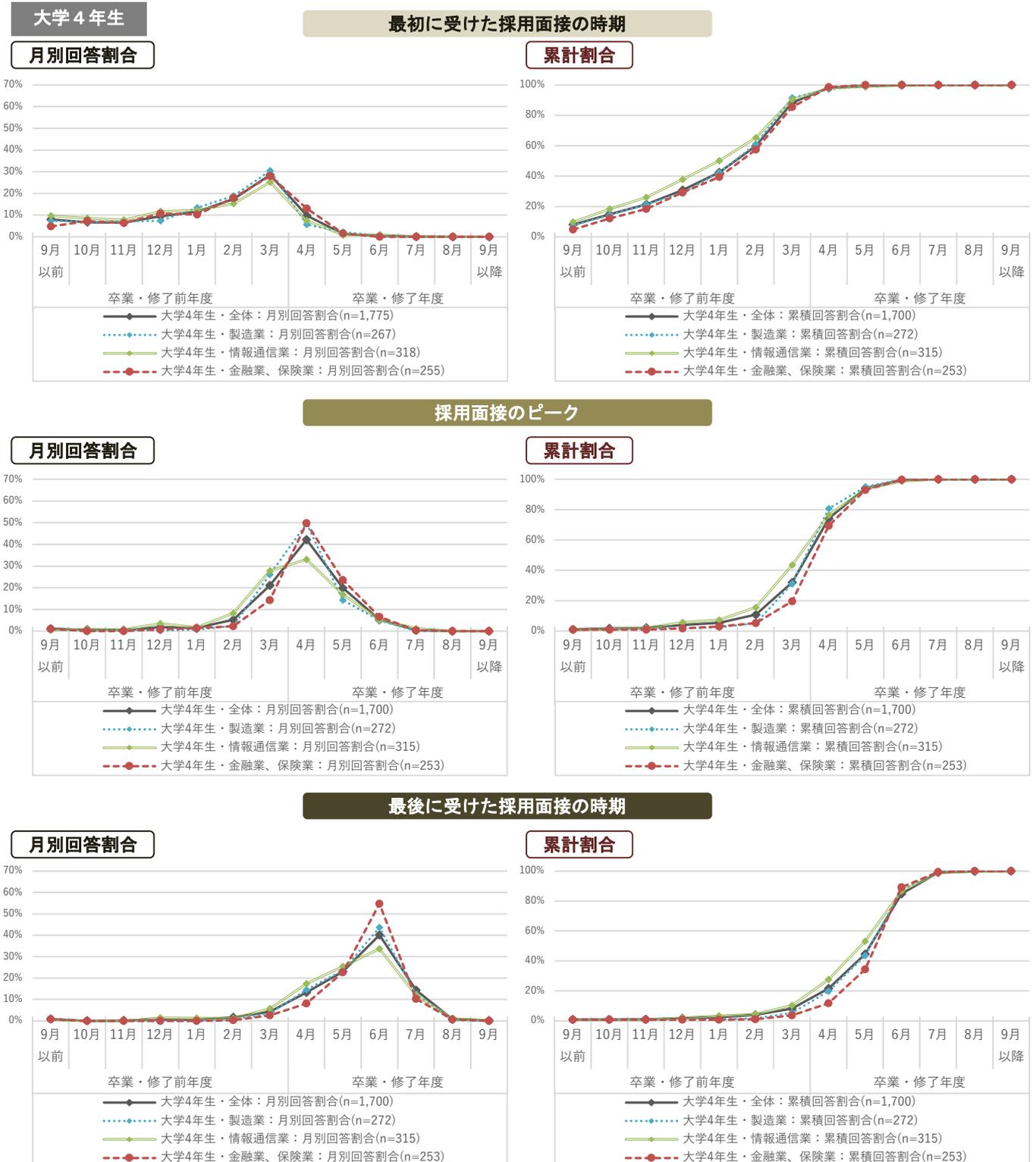
累計割合



※1：業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

④就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界別に、採用面接の実施状況を集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者で、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、より早期の回答割合が若干高くなっている。大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者について「最初」「ピーク」「最後」でより早期の回答割合が高くなっている。



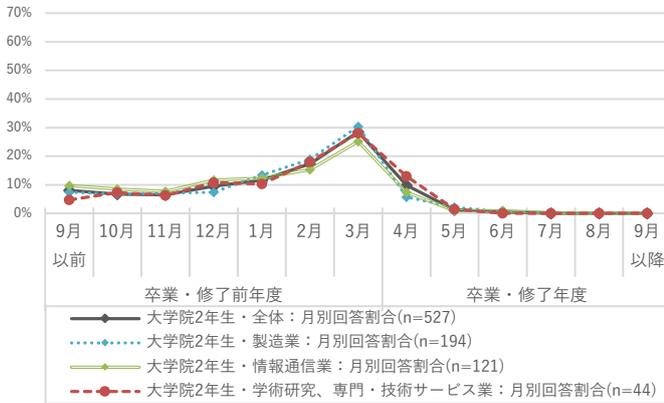
※1：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

④就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

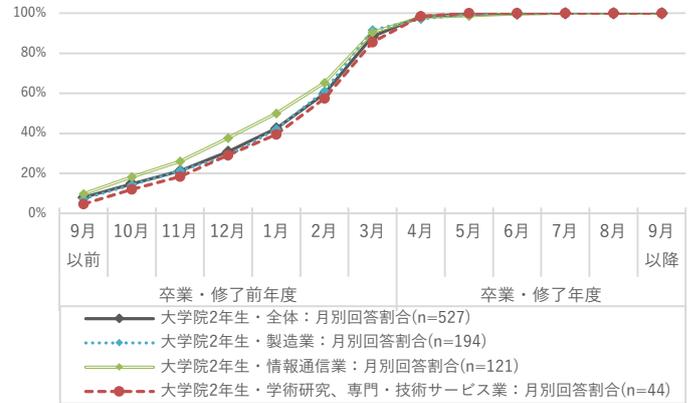
大学院2年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

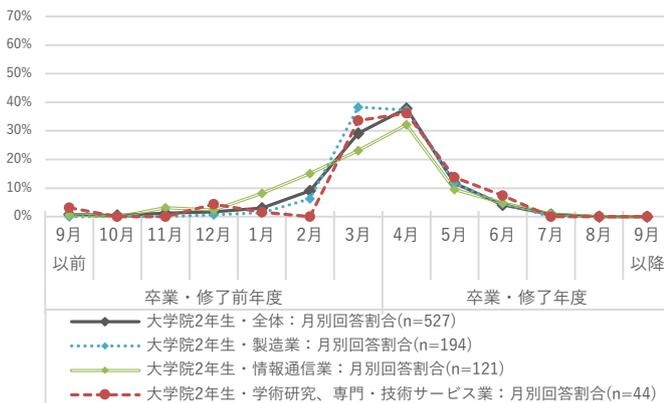


累計割合

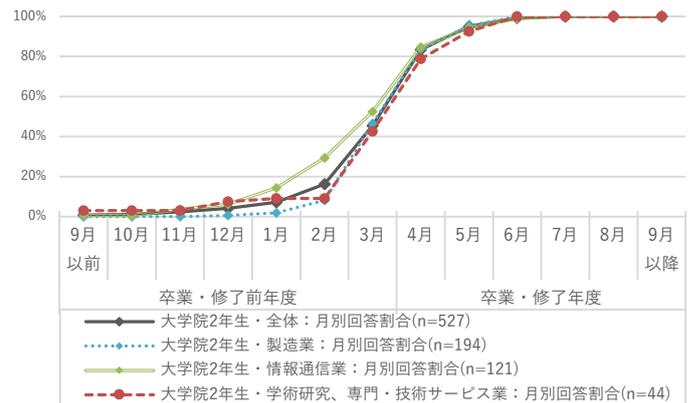


採用面接のピーク

月別回答割合

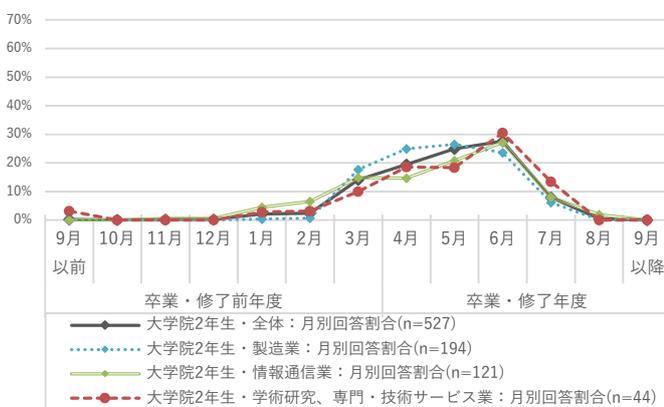


累計割合

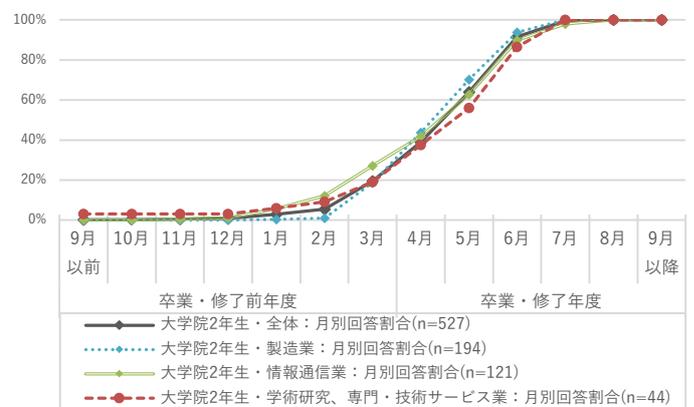


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合

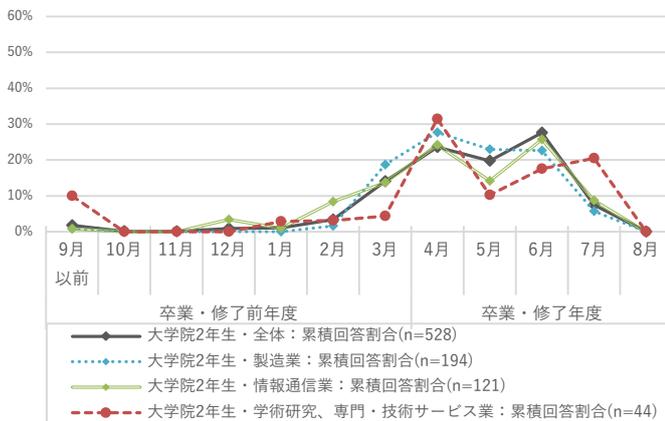


⑤就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

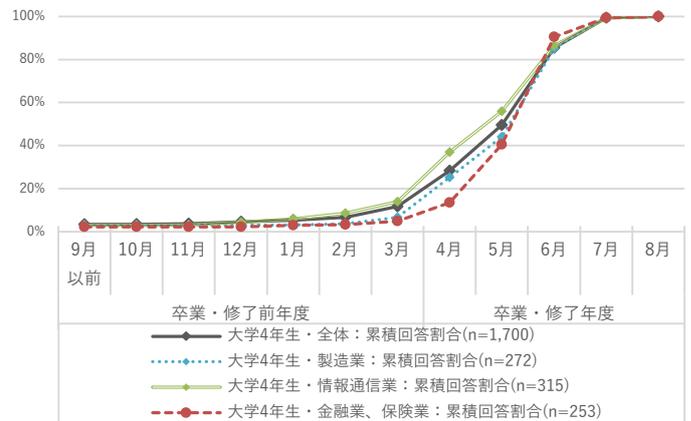
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者は、より早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。また、大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「情報通信業」の者や「学術研究、専門・技術サービス業」の者で、より早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。

大学4年生

月別回答割合

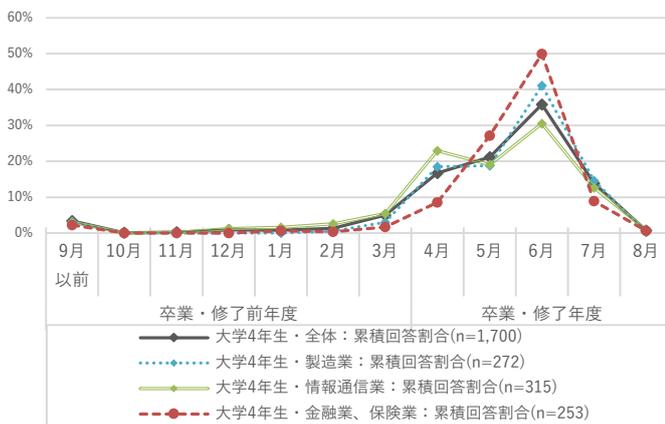


累計割合

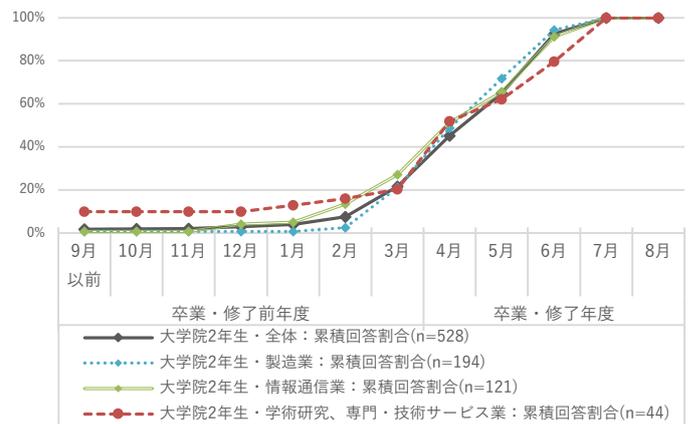


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1: 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

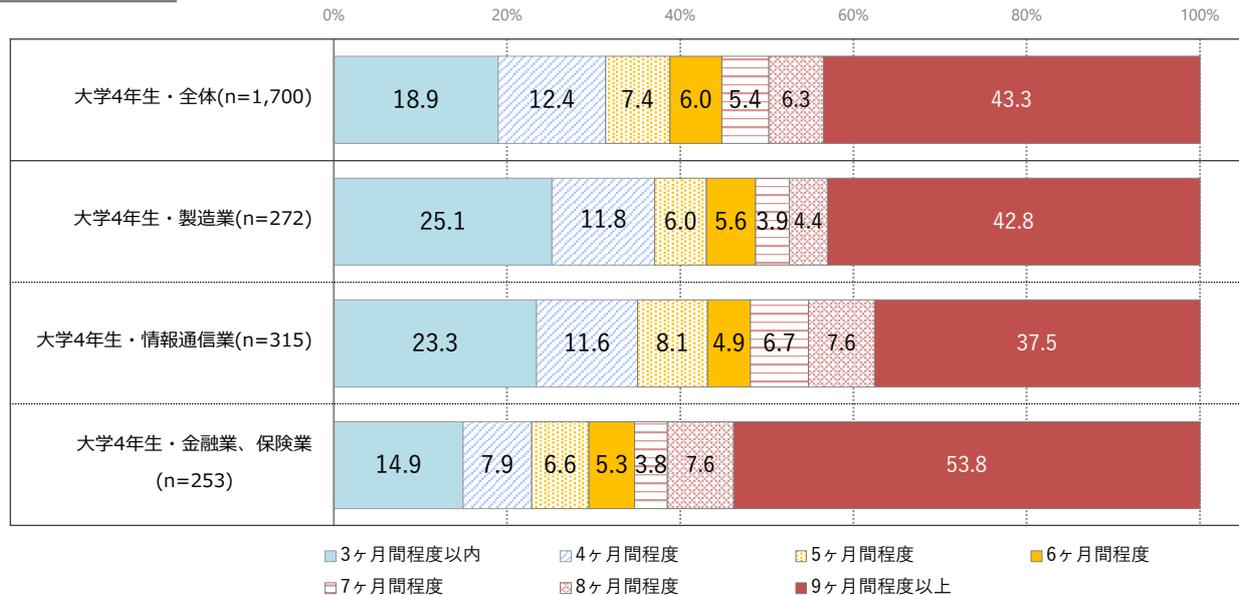
⑥就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「3ヶ月間程度以内」の回答割合が低く、「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割と、他業界と比べ高くなっている※2。

大学院2年生では、「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」の者で、「9か月間程度以上」の割合が約4割となっている。

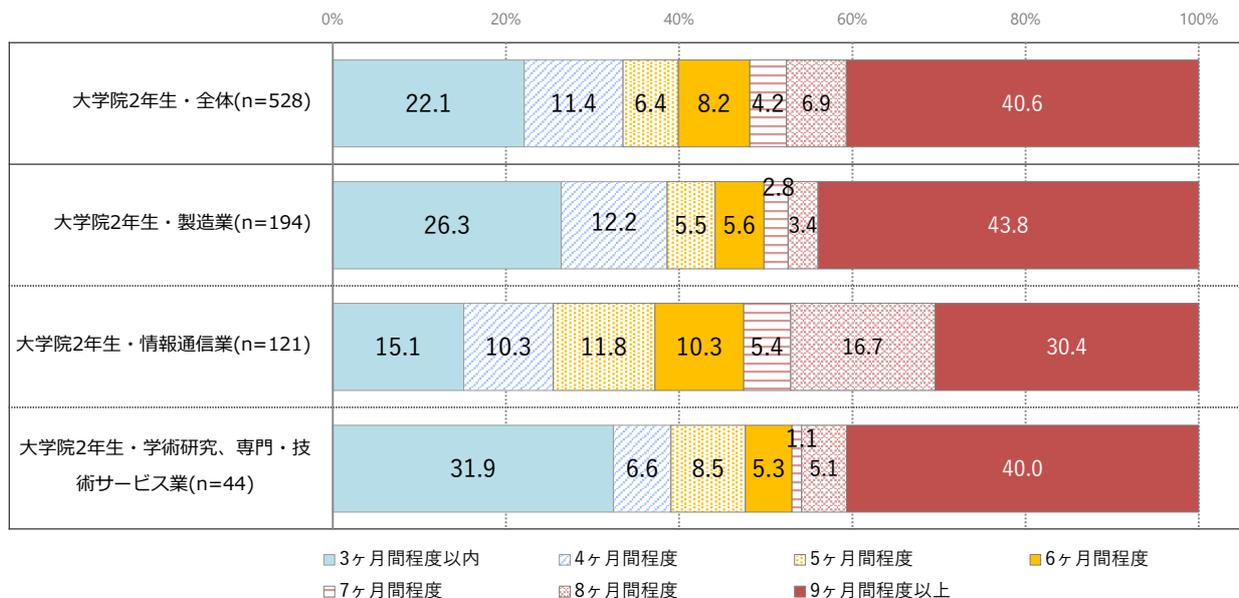
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

第九章 就職活動地域別の集計

第九章 就職活動地域別の集計

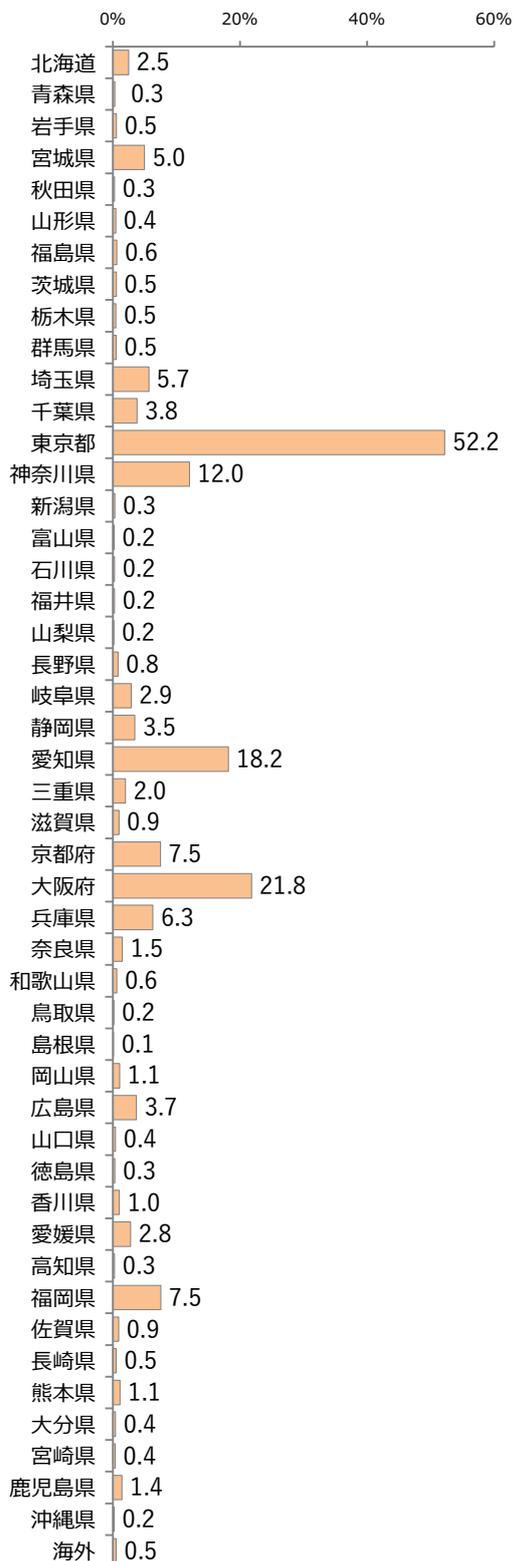
(1) 就職活動地域と就職活動の内容

①就職活動地域に関する回答状況

就職活動を行った地域(都道府県)について集計すると※1、大学4年生・大学院2年生ともに、「東京都」の割合が最も高く、次いで、大学4年生では「大阪府」が、大学院2年生では「愛知県」の順で高くなっている。

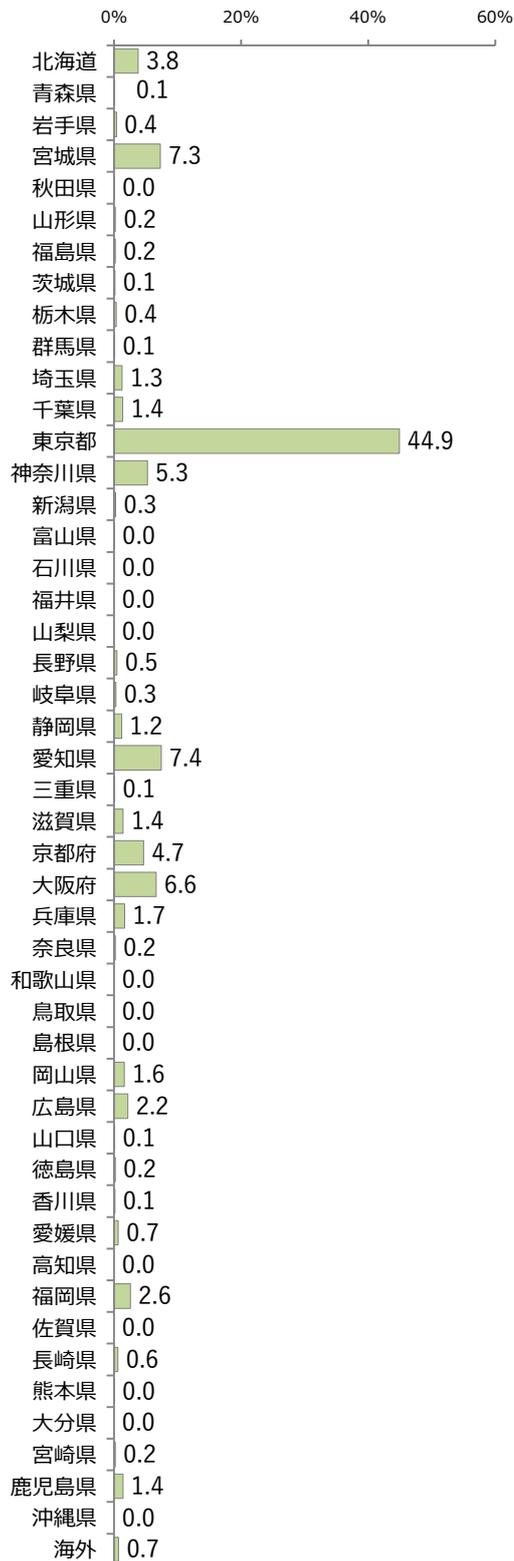
大学4年生

(n=4,033)



大学院2年生

(n=1,406)



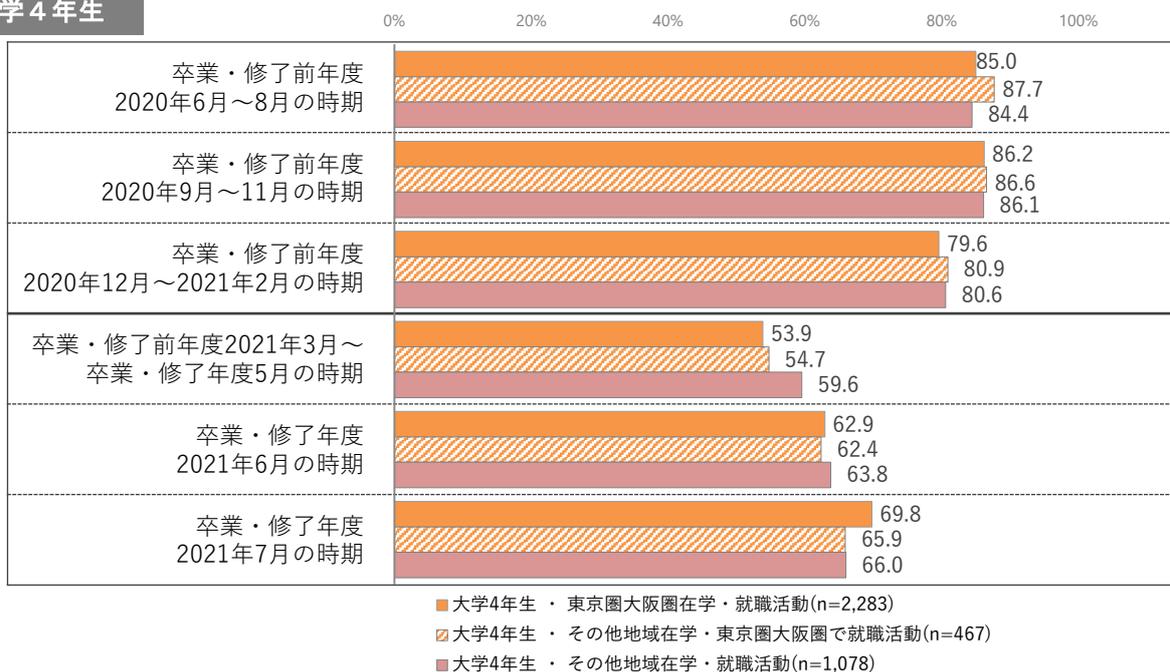
※1: 主な地域について3地域まで回答されたものを集計したものである。

②就職活動地域の就職活動と学修時間確保の状況

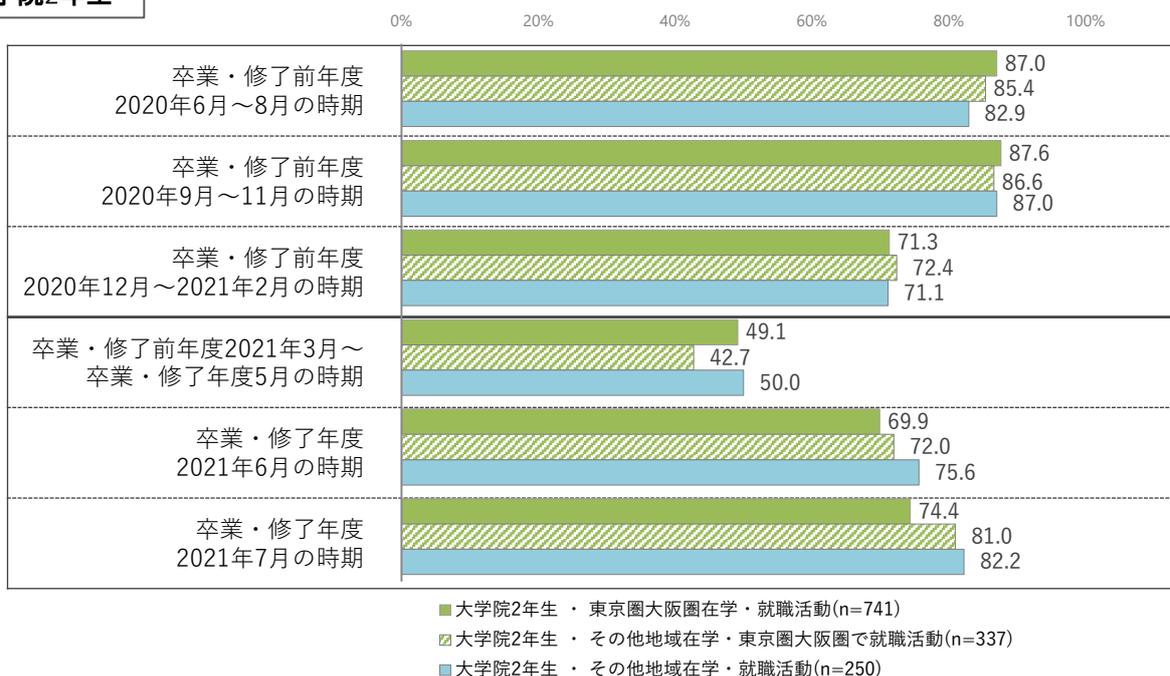
就職活動地域に関する回答状況と、大学所在地との関係をふまえ、「東京圏大阪圏在学・東京圏大阪圏で就職活動」の者と、「その他地域在学・東京圏大阪圏で就職活動」の者、「その他地域在学・その他地域で就職活動」の者の3つに分類して、それぞれの就職活動の状況等について集計した※1。

就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合を集計すると、大学4年生では、広報活動開始後の3月から採用選考活動開始後の5月の時期は「東京圏大阪圏在学・就職活動」者において「学修時間を確保できた」の回答割合が低くなっているが、大学院2年生では採用選考活動開始後の6月以降の時期において、その割合が比較的低くなっている。

大学4年生



大学院2年生



※1：「東京都」「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」を「東京圏」、「大阪府」「京都府」「兵庫県」「奈良県」を「大阪圏」とした。就職活動地域については、3地域まで回答したなかで、「東京都」「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」「大阪府」「京都府」「兵庫県」「奈良県」のいずれかが含まれる場合は「東京圏大阪圏」に分類される。「東京圏大阪圏在学・その他地域で就職活動」の者も一部見られたが、該当する者の件数が少なかったことから、ここでは集計の対象外とした。

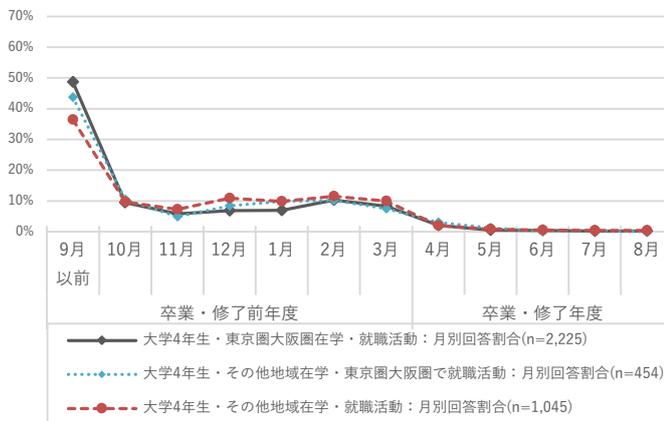
③就職活動地域別の業界や企業に関する分析を開始した時期

就職活動地域別に、業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると※1、大学4年生では「東京圏大阪圏在学・就職活動者」者でより早い時期を回答した者の割合が比較的高くなっている。

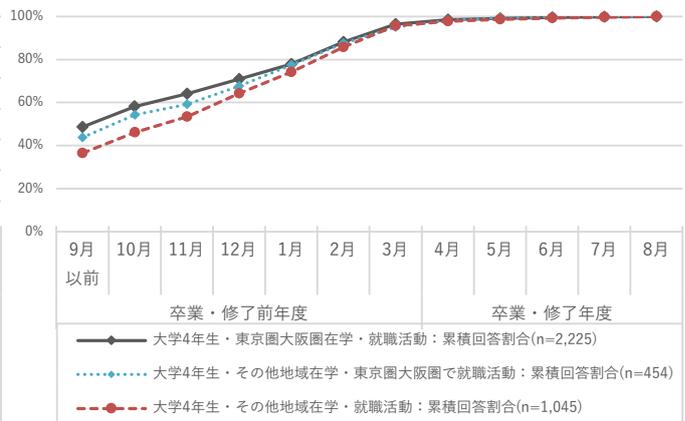
大学院2年生では、就職活動地域別に違いは見られず、概ね同様の傾向。

大学4年生

月別回答割合

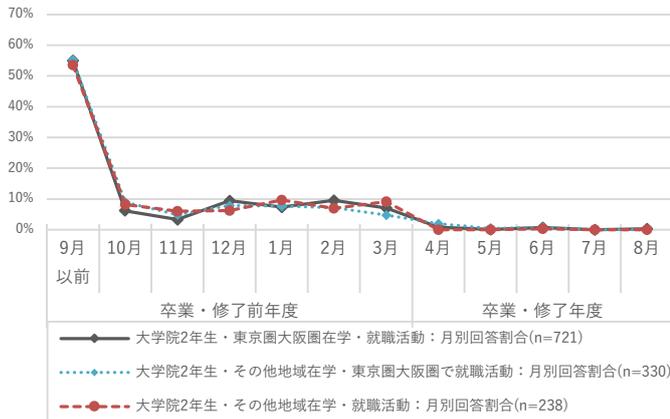


累計割合

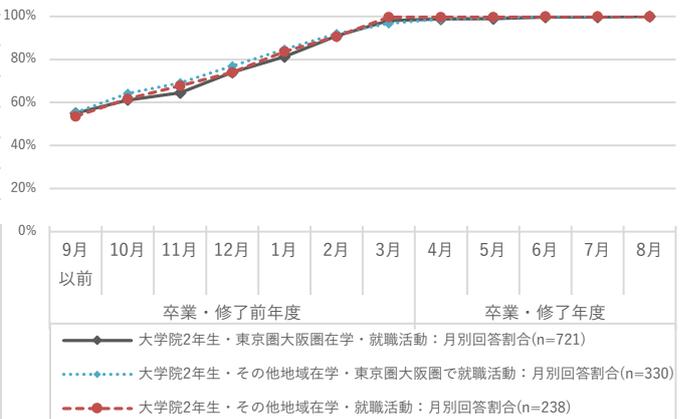


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1：業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

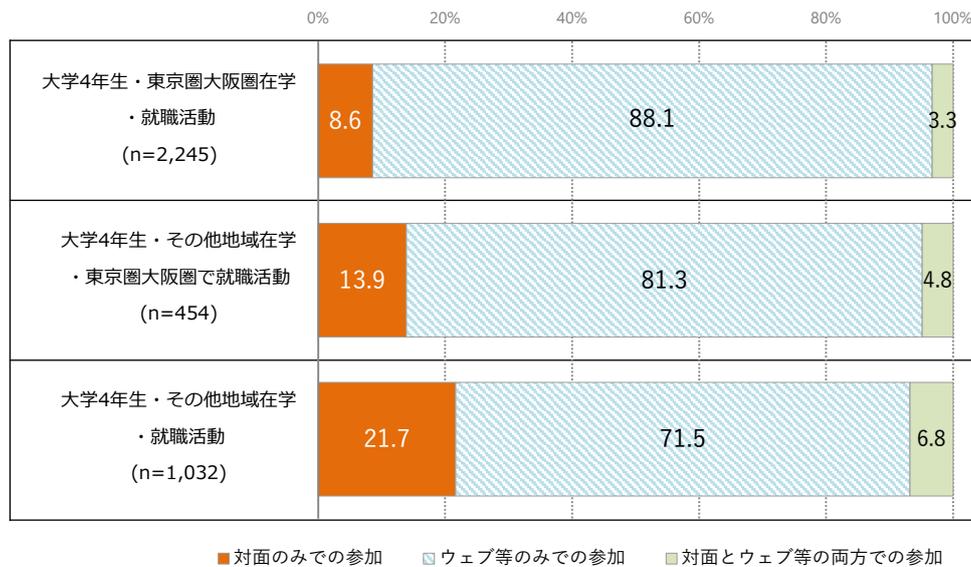
④就職活動地域別の企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

就職活動地域別に、企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では「その他地域在学・就職活動」の者の「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が他の地域と比較して低く、「対面のみ」の回答割合が高くなっている。

大学院2年生では、地域にかかわらず「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が9割を超えており、概ね同様の傾向。

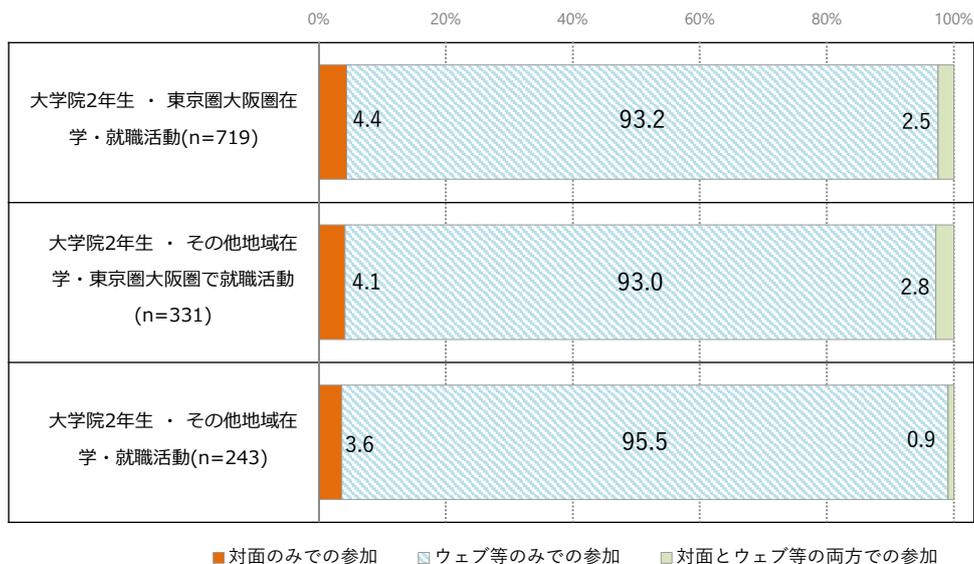
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能ないように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

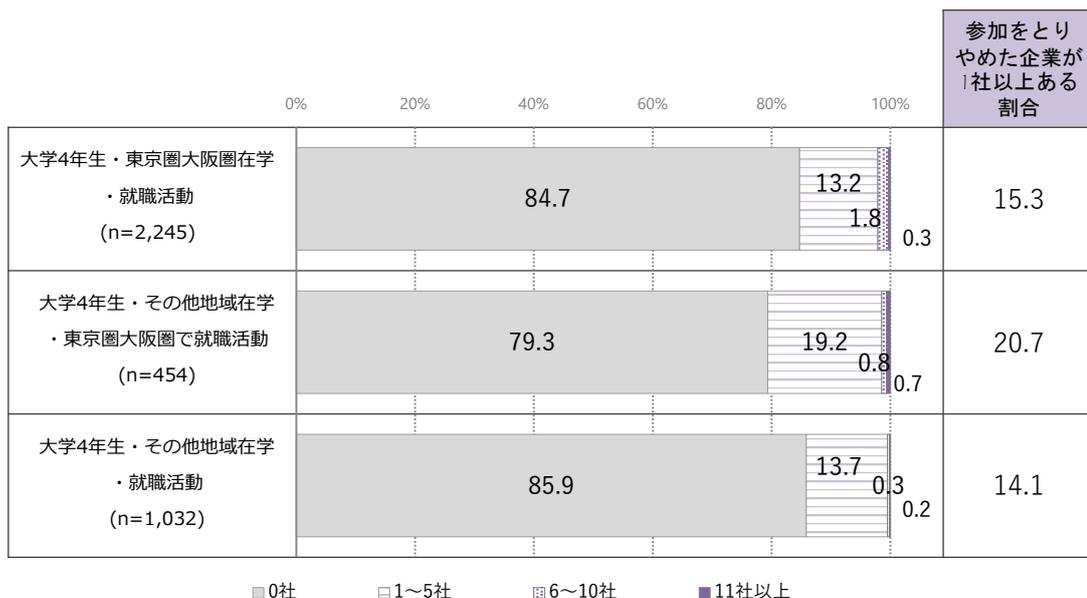
⑤就職活動地域別の対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

就職活動地域別に、参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて集計したところ、1社以上と回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに、「その他地域在学・東京圏大阪圏で就職活動」の者で最も高いのは同様の傾向である。ただし、ウェブによる参加割合が異なることも影響してか、活動地域に関わらず、大学4年生の方が大学院2年生と比べ、その割合は高くなっている。

大学4年生



大学院2年生



⑥就職活動地域別の採用面接の実施状況

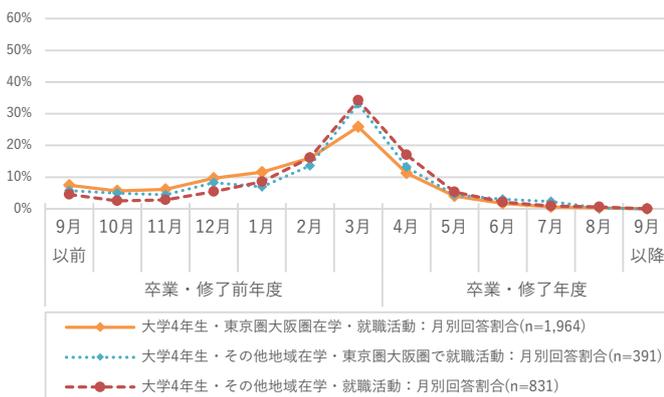
就職活動地域別に、採用面接の実施状況を集計すると※1、大学4年生では、「最初」について「東京圏大阪圏在学・就職活動」の者でより早期の回答割合が高くなっている。「ピーク」については「東京圏大阪圏在学・就職活動」は早期の回答割合が若干高くなっているものの概ね同様の傾向である。大学院2年生については、「最初」「ピーク」「最後」いずれについても「東京圏大阪圏在学・就職活動」の早期の回答割合が高くなっている。

大学4年生

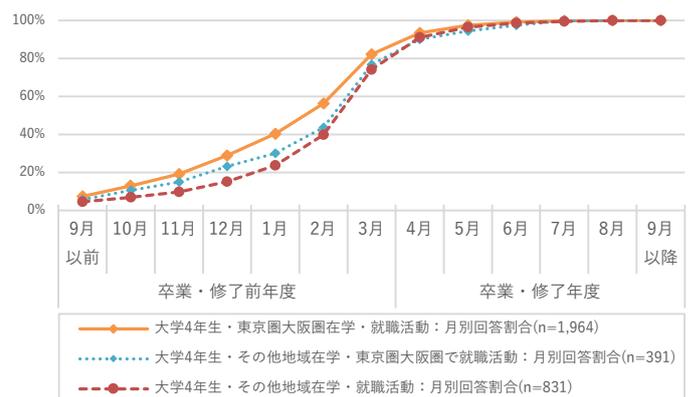
※公務員・教職員志望者除く

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

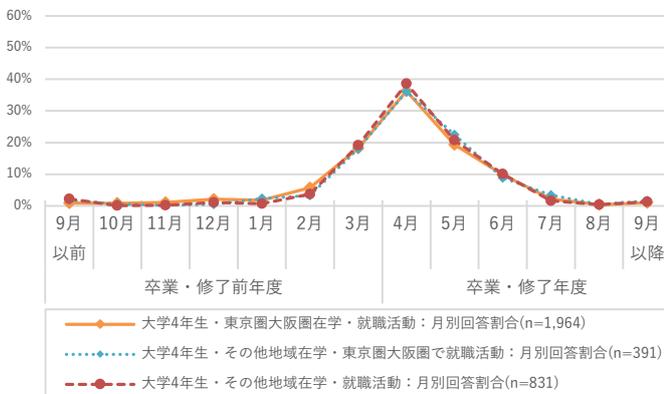


累計割合

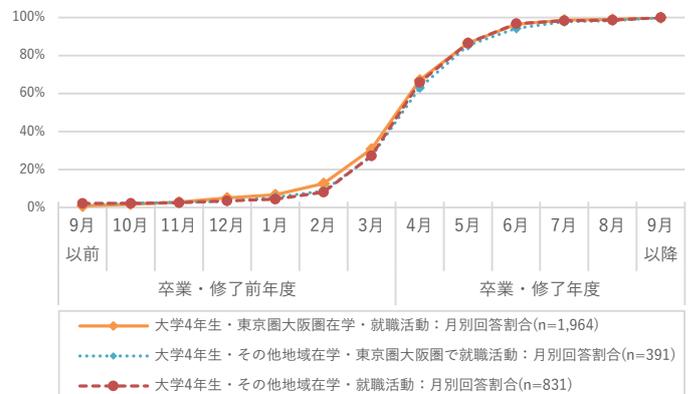


採用面接のピーク

月別回答割合

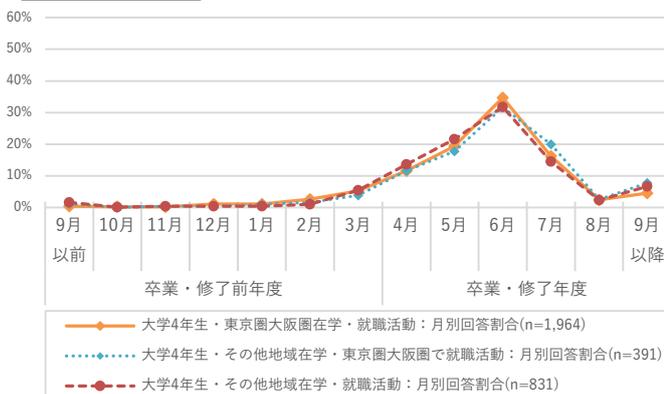


累計割合

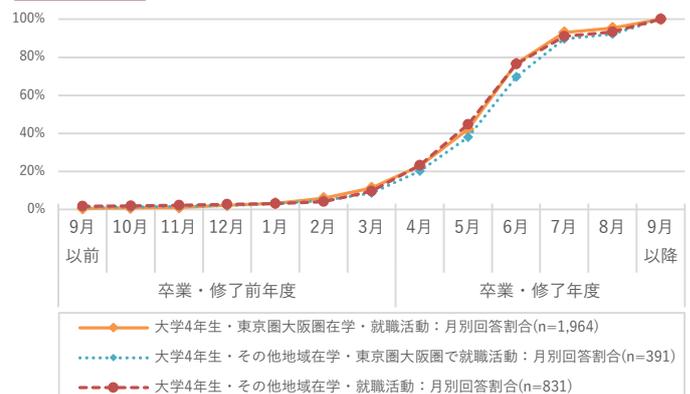


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

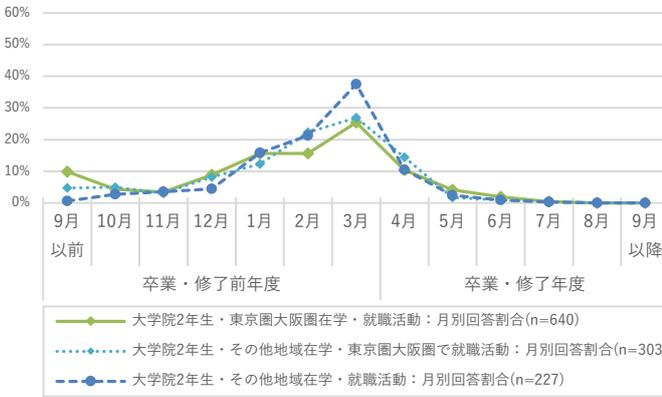
⑥就職活動地域別の採用面接の実施状況

大学院2年生

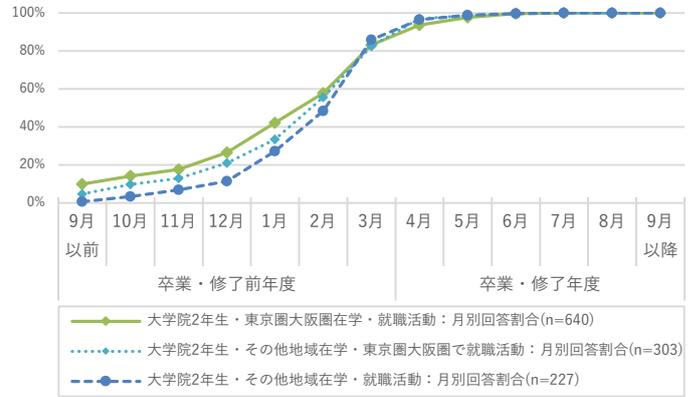
※公務員・教職員志望者除く

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

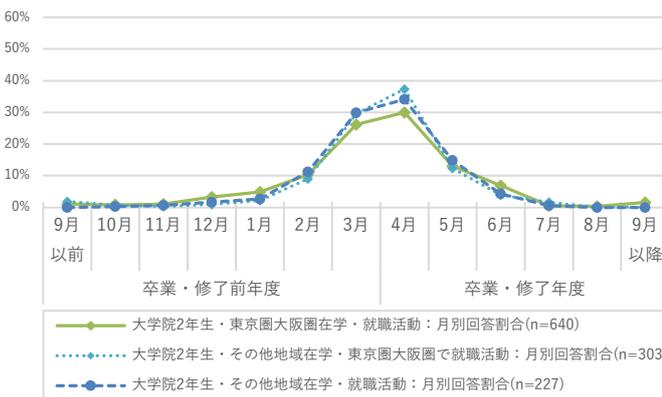


累計割合

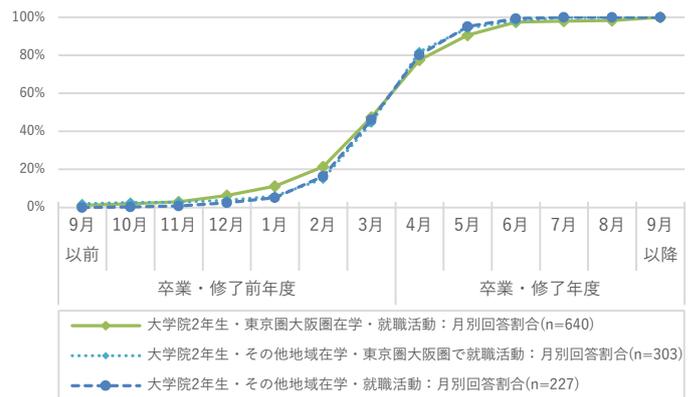


採用面接のピーク

月別回答割合

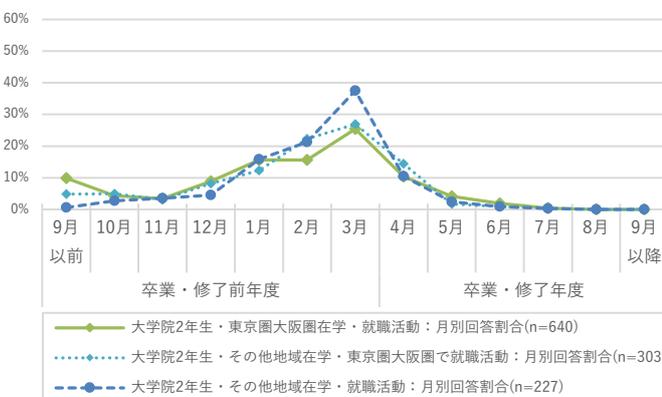


累計割合

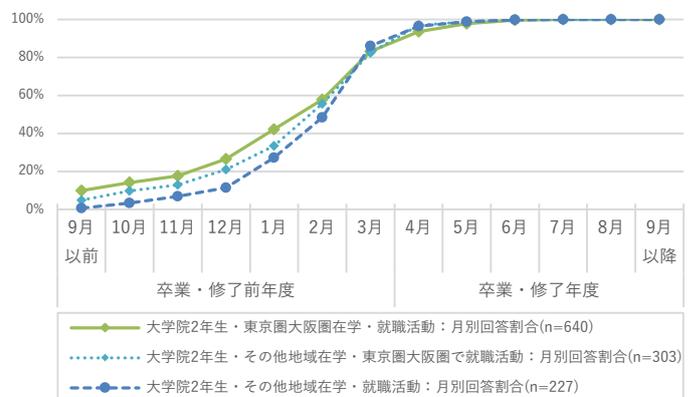


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



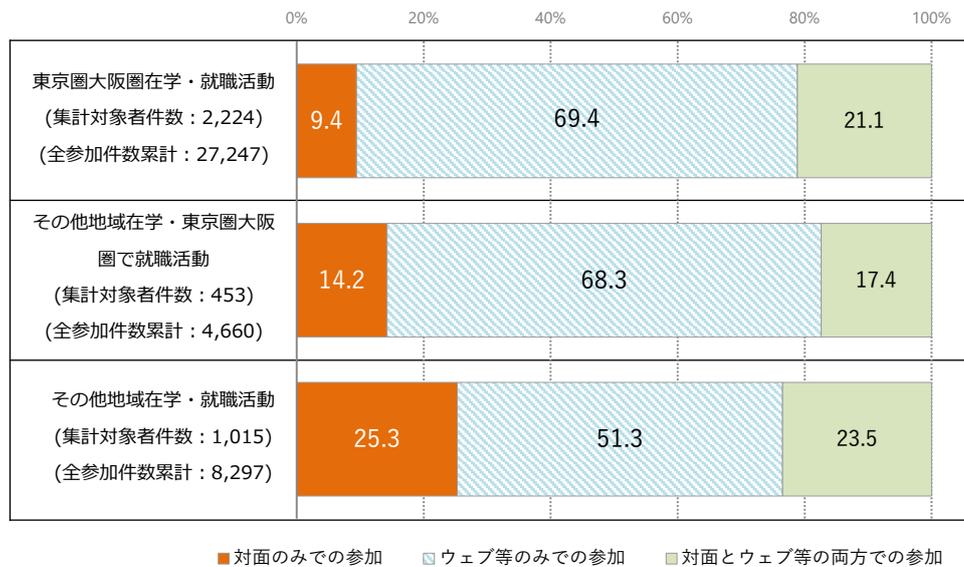
⑦就職活動地域別の採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

就職活動地域別に、採用面接について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では「その他地域在学・就職活動」の者の「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が、他の者と比較して少なくなっている。

大学院2年生では、活動地域にかかわらず「ウェブ等のみ」の割合が9割超となっており、概ね同様の傾向。

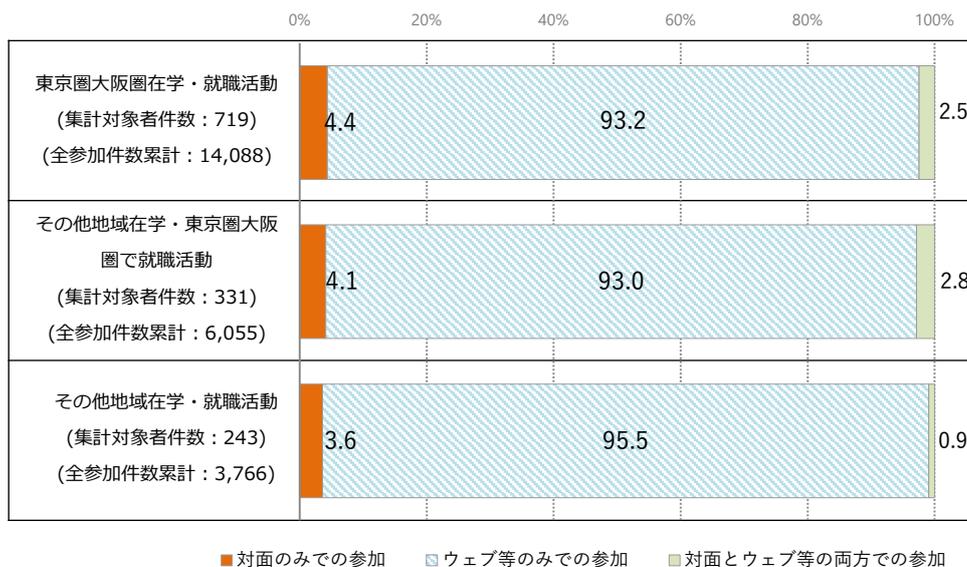
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

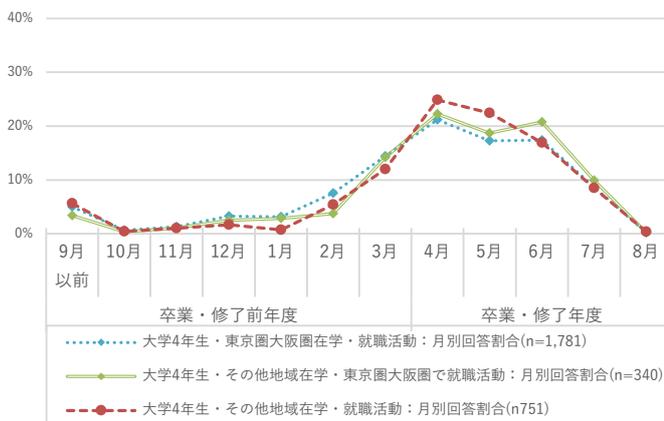
⑧就職活動地域別の内々定を受けた時期

就職活動地域別に、内々定を受けた時期を集計すると※1、大学4年生では、「東京圏大阪圏在学・就職活動」の者が比較的早い時期の回答割合が高くなっている。

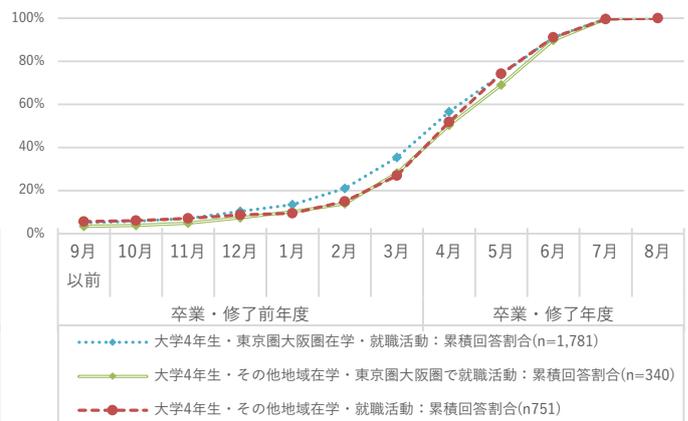
大学院2年生については、在学地域に関わらず、「東京圏大阪圏で就職活動」の者で比較的早い時期の回答割合が高くなっている。

大学4年生

月別回答割合



累計割合

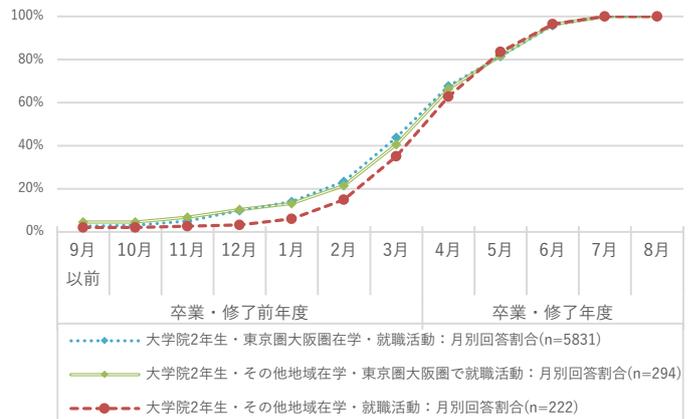


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



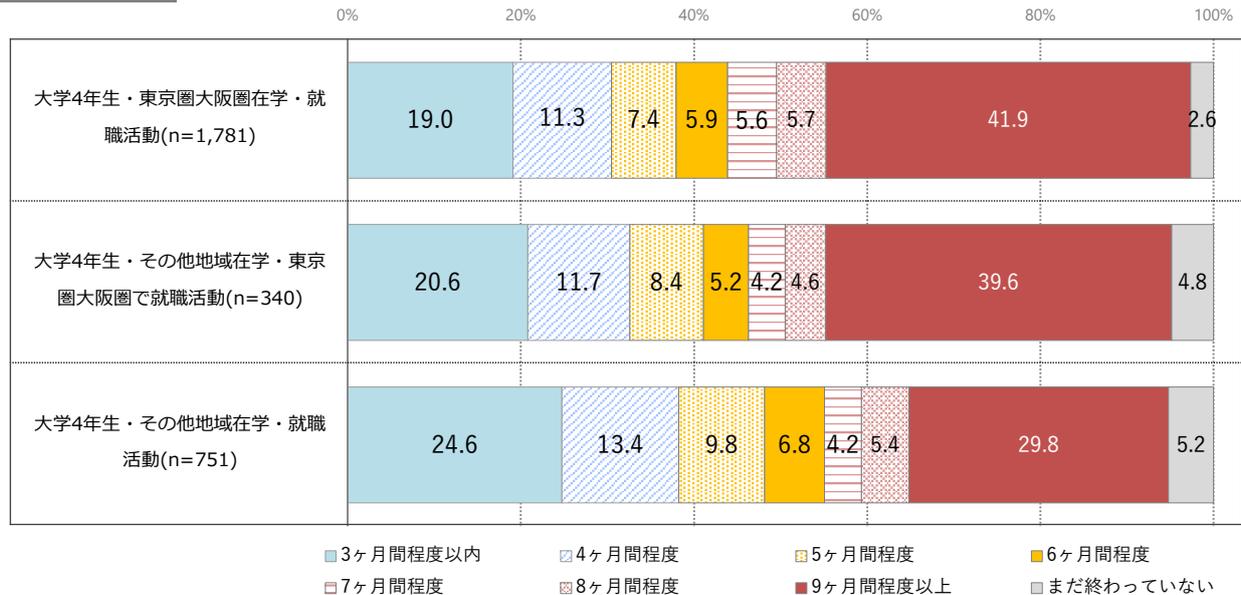
※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑨就職活動地域別の就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職活動地域別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、大学4年生では、「東京圏大阪圏で就職活動」の者において、比較的長い期間の割合が高くなっている。また、大学4年生・大学院2年生ともに、「その他地域在学・就職活動」の者について、「3ヶ月間程度」以下の期間の割合が高くなっている。

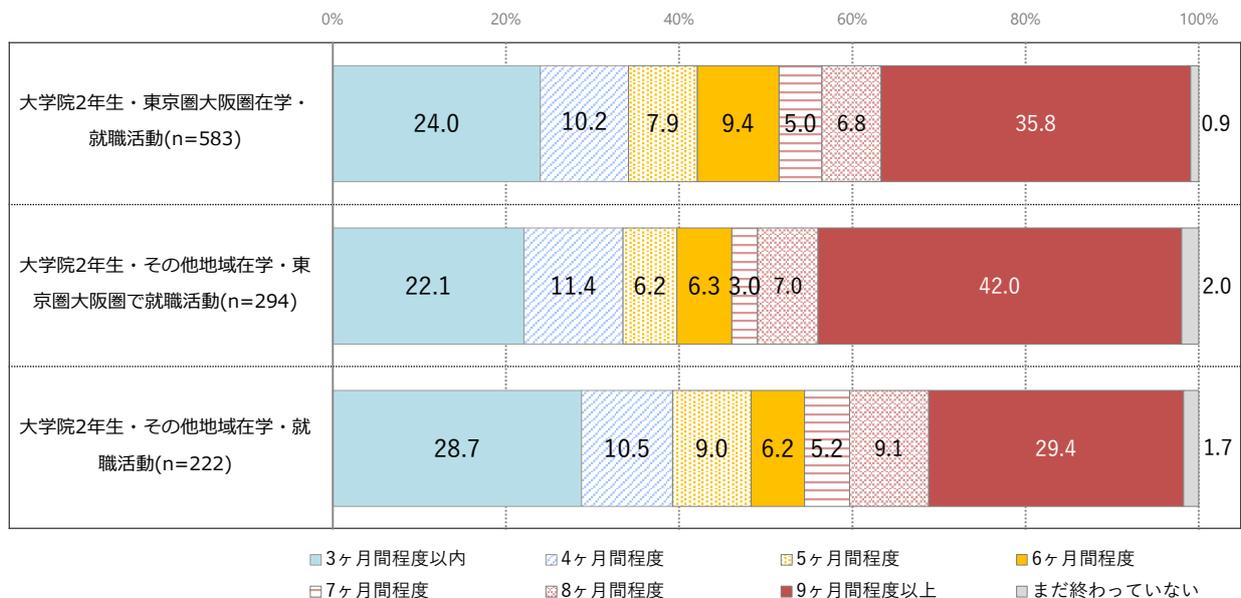
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

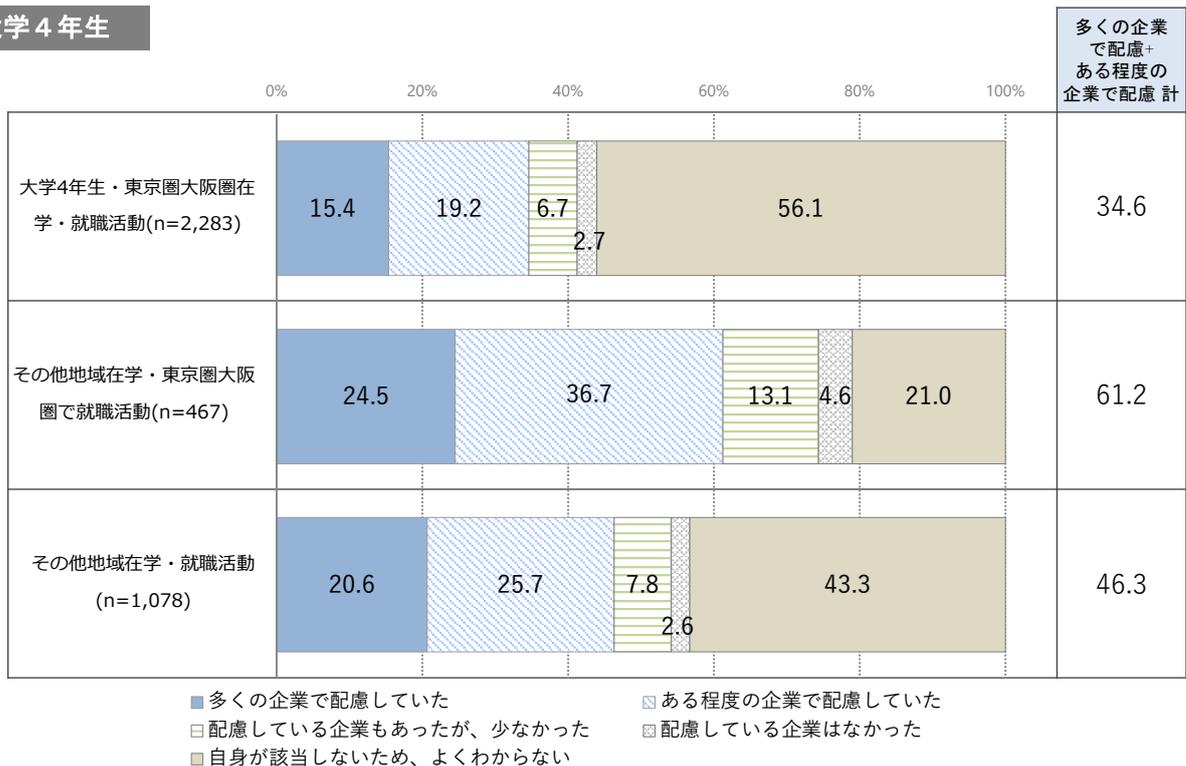


※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

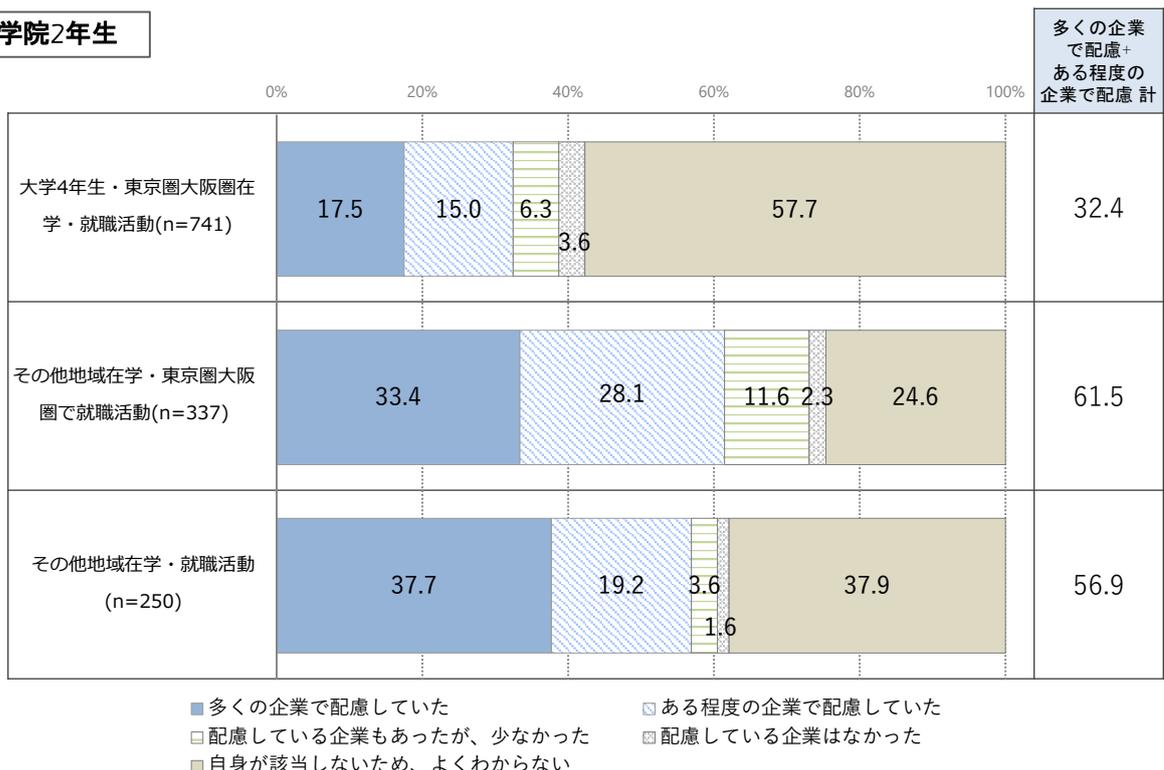
⑩就職活動地域別の企業側からの配慮の状況

就職活動地域別に、地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて集計すると「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた割合は、大学4年生・大学院2年生ともに「その他地域在学・東京大阪圏就職活動」者が最も高く、約6割となる。

大学4年生



大学院2年生



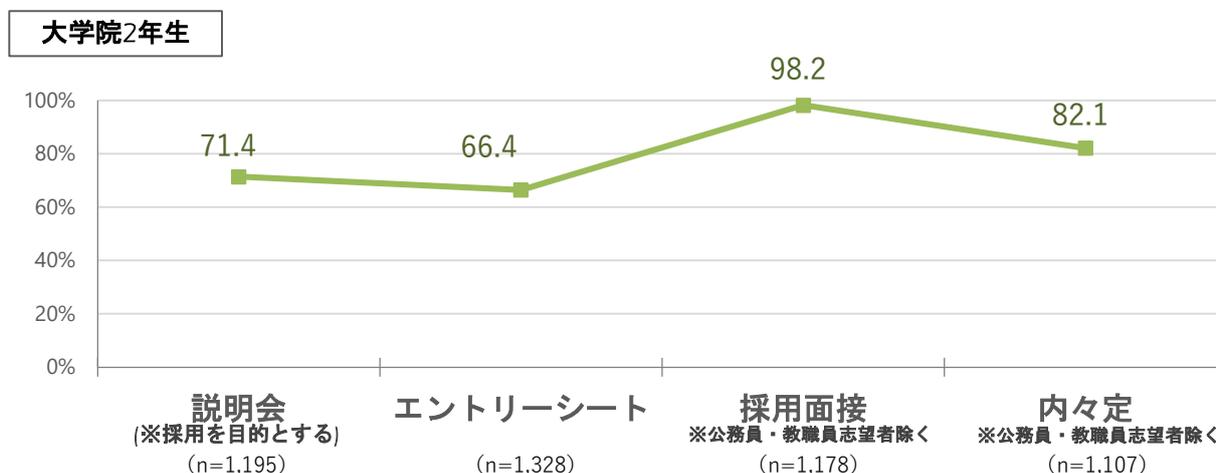
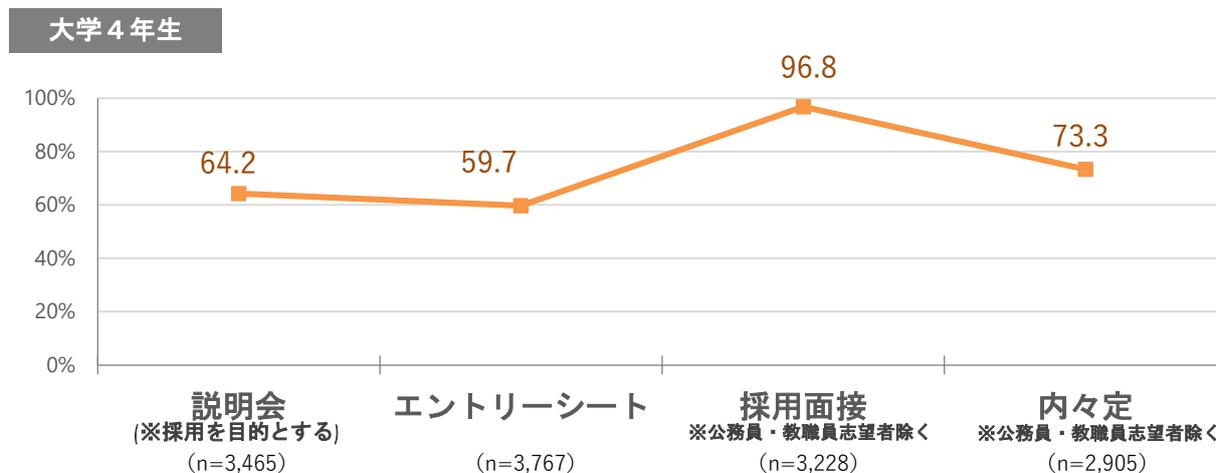
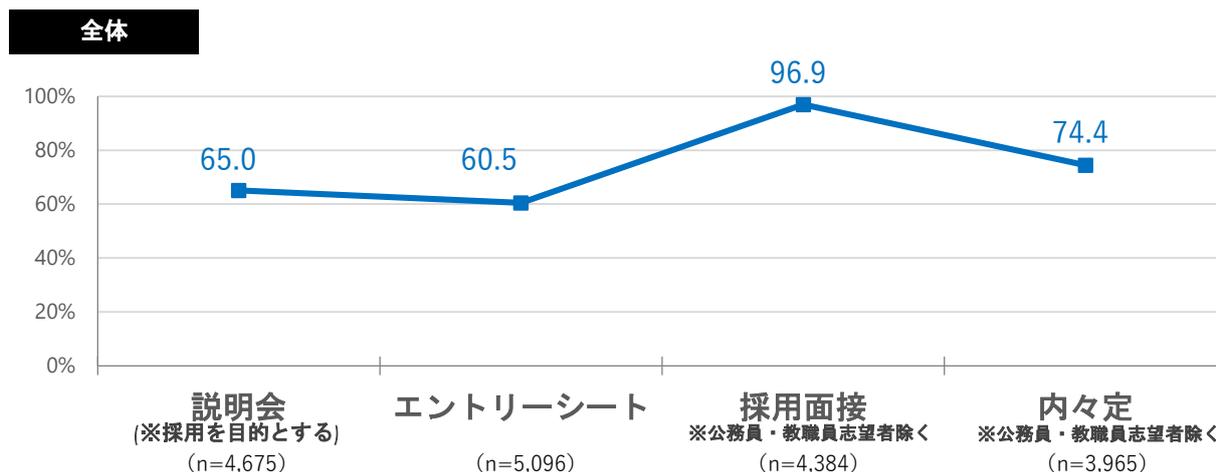
第十章 就職活動早期化・長期化の要因分析

第十章 就職活動早期化・長期化の要因分析

(1) 就職活動の早期化・就職活動期間について

①各活動における「ルール前の参加」について

就職活動においてポイントとなる活動(企業説明会やセミナー(採用を目的とする)参加、エントリーシート提出、採用面接、内々定)について、最初に参加した時期のうち、ルール前の参加※1を集計すると、採用面接が最もルール前参加の割合が高くなっている。



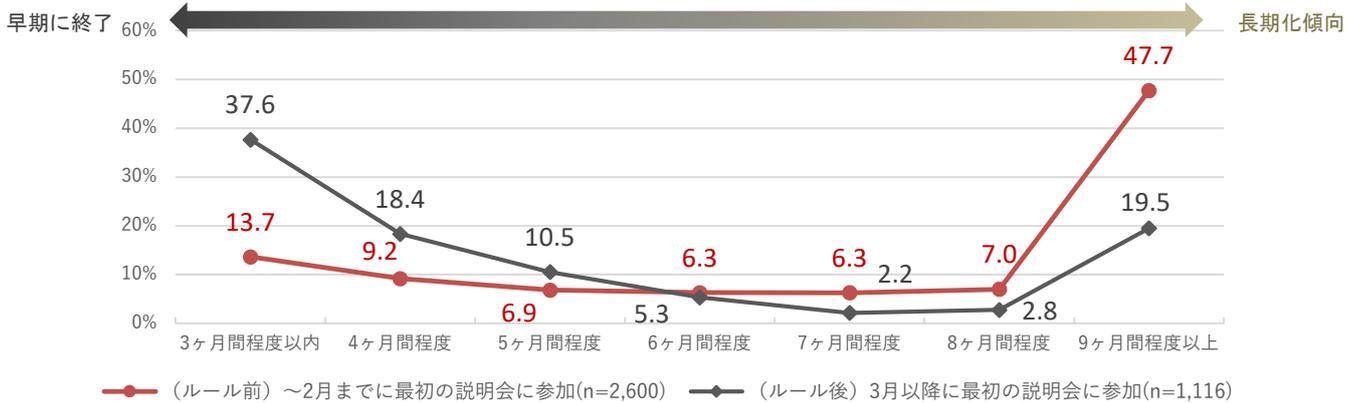
※1：説明会(採用を目的とする)参加とエントリーシート提出は卒業・修了前年度の2月以前、採用面接と内々定は卒業・修了年度の5月以前を「ルール前」として対象としている。

②採用を目的とする企業説明会やセミナーの「ルール前の参加」と就職活動期間の関係

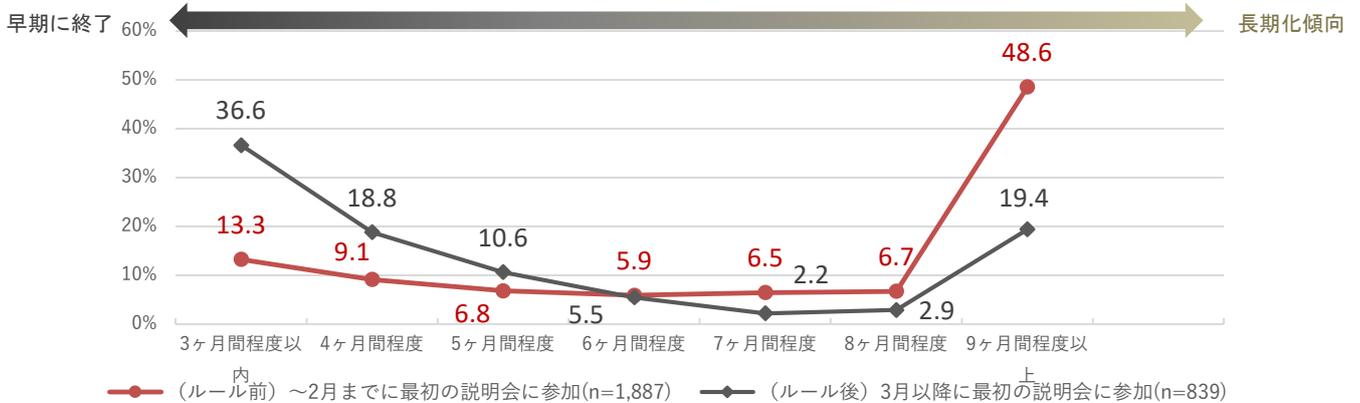
採用を目的とした企業説明会やセミナー※1について、卒業・修了前年度の2月までを「ルール前」、卒業・修了前年度の3月以降を「ルール後」として集計した。

「ルール前」に採用を目的とした説明会に参加した人の方が、「9ヶ月間程度以上」の割合が高く、就職活動が長期化する傾向にある。

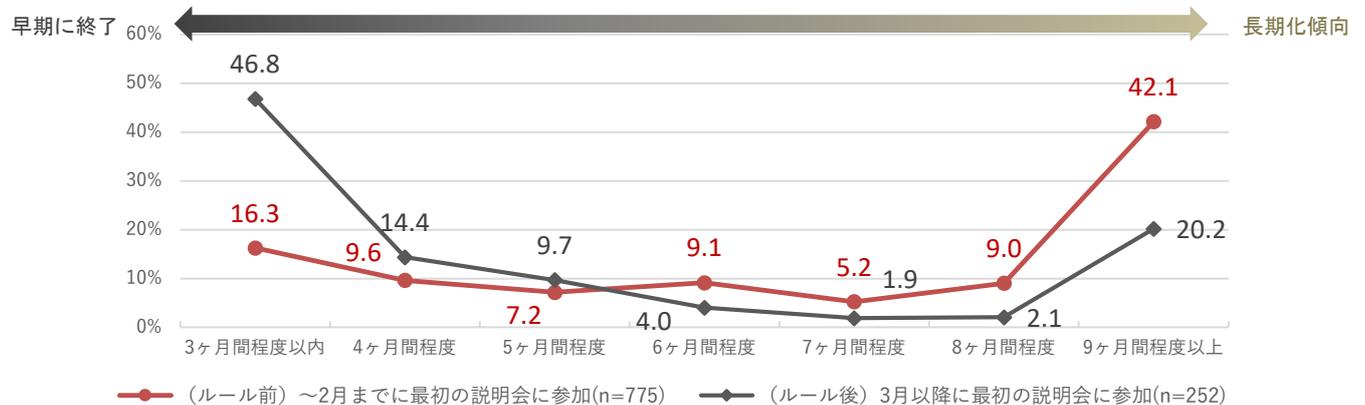
全体



大学4年生



大学院2年生



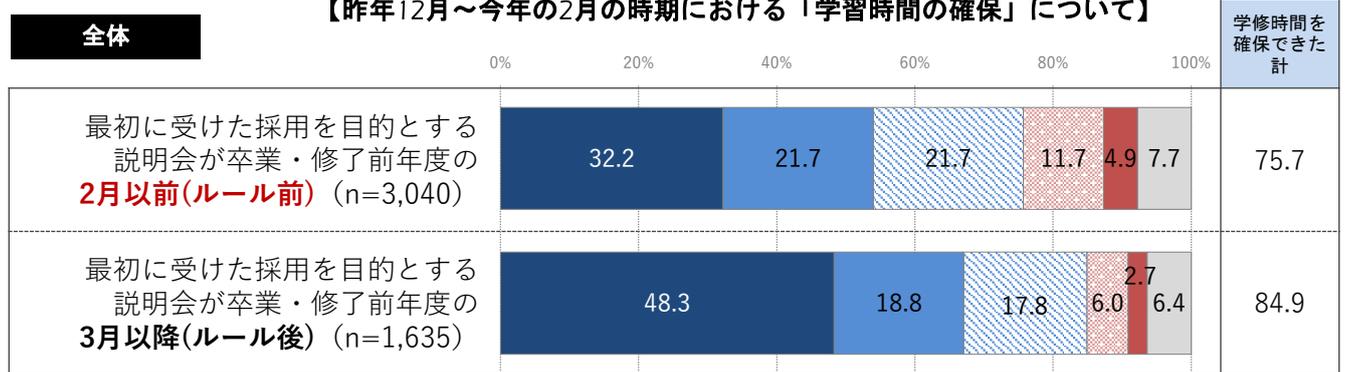
※1：採用を目的とした企業説明会・セミナー等については、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限り、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となる旨を伝えている。採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を行った。

③採用を目的とする説明会の「ルール前の参加」と学修時間の確保の関係

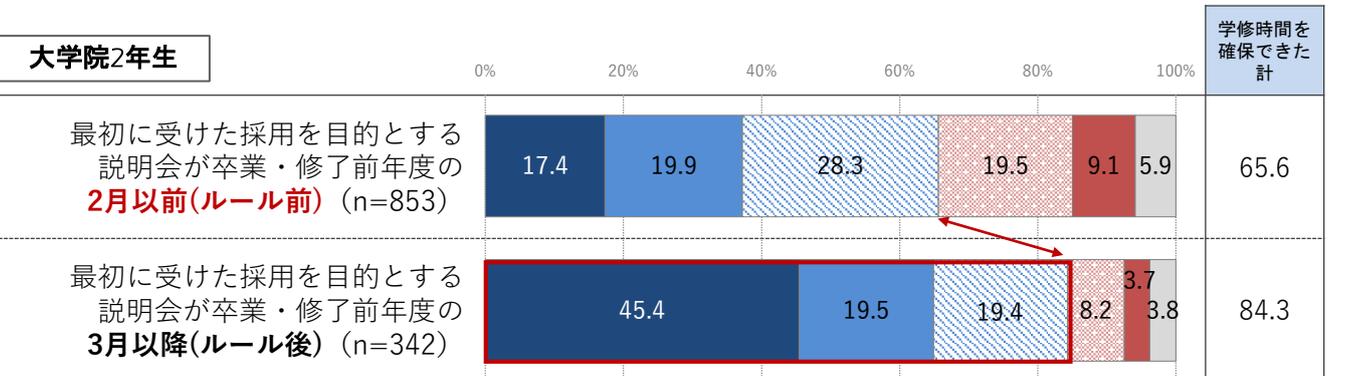
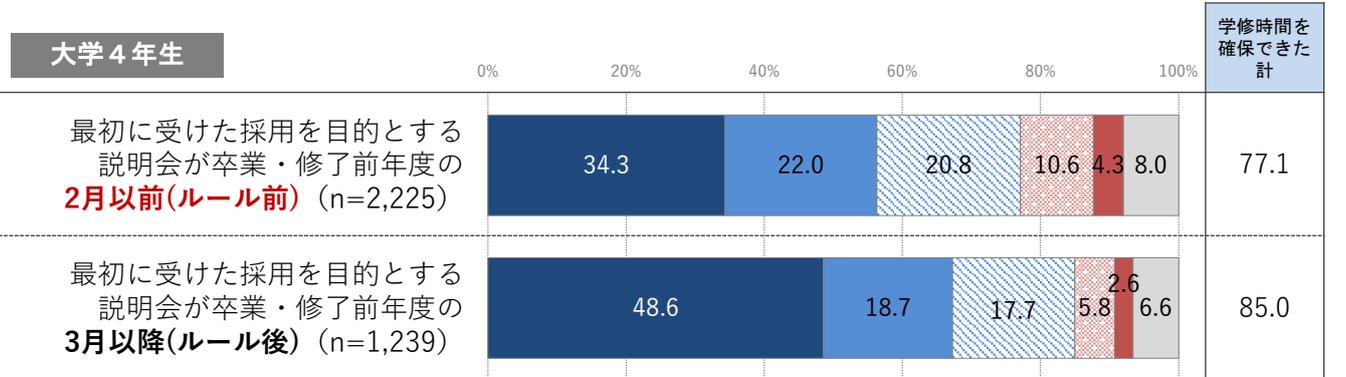
採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期と学修時間の確保(卒業前年度の12月～2月の時期※1)の関係について、卒業・修了前年度の2月までを「ルール前」、卒業・修了前年度の3月以降を「ルール後」として集計した。全体では、「ルール前」に参加した人に比べ、「ルール後」に参加した人では「学修時間を確保できた」の計は10%程度高くなっている。

学年別でも同様の傾向が見られるが、大学4年生と比べ大学院2年生では、「ルール前」に参加した人の「学修時間を確保できた」との回答は約7割と低く、「ルール後」に参加した人との差が比較的大きくなっている。

【昨年12月～今年の2月の時期における「学習時間の確保」について】



- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった



※1：広報活動が開始される卒業・修了前年度の2月までの学修時間の状況を見た。

(2) 就職活動における内々定早期化について

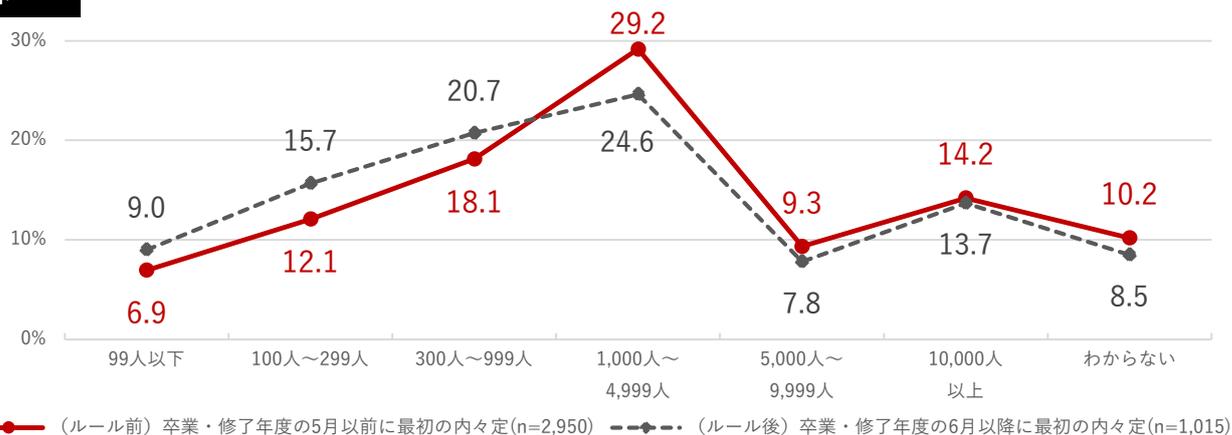
①最初に内々定をもらった時期と企業規模の関係

最初の内々定について、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)と、卒業・修了年度の5月以前(ルール前)で分類し、その企業規模について集計を行った。

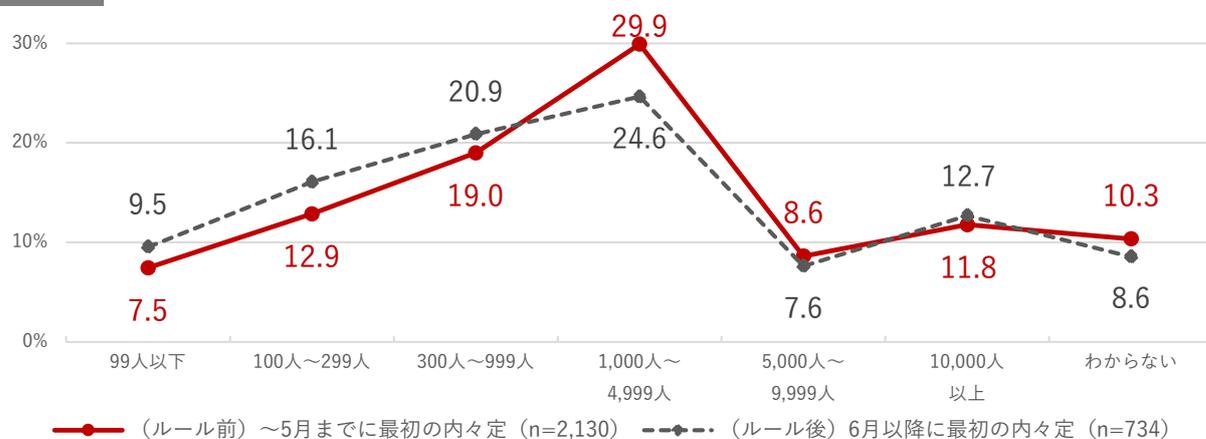
卒業・修了年度の5月以前(ルール前)では、「1,000～4,999人」で約3割と最も高く、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)の内々定の回答割合を上回る。

学年別では、大学院2年生では、「5,000～9,999人」以上でルール前の内々定の割合が高くなり、大学4年生と比べ企業規模が大きい企業ではルール前の内々定の回答割合がより高まる傾向にある。

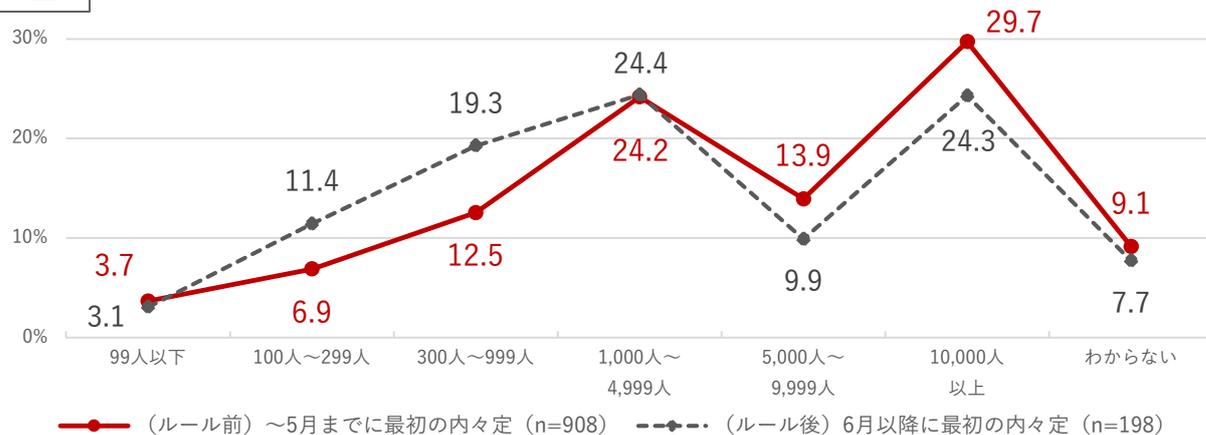
全体



大学4年生



大学院2年生



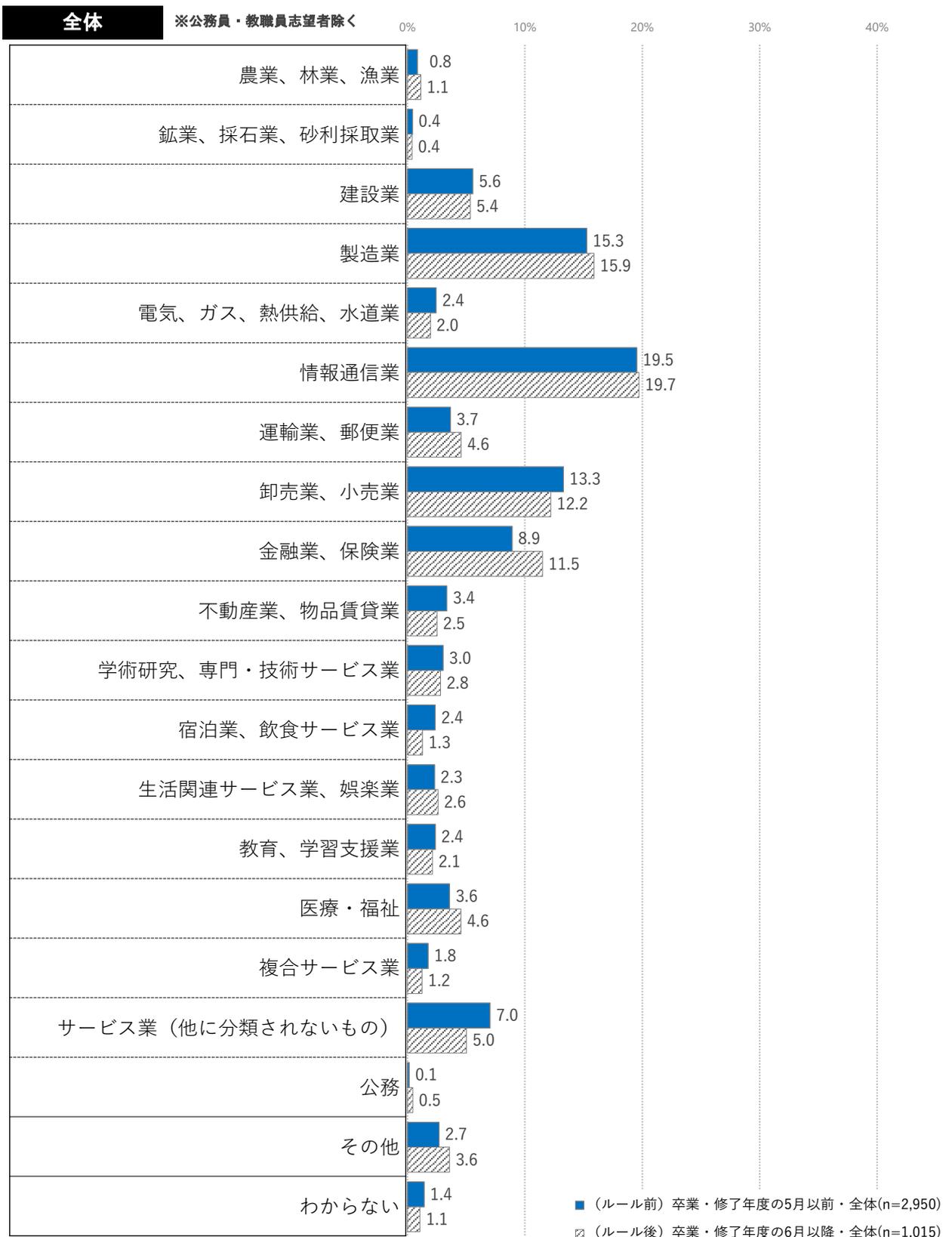
※内々定は卒業・修了年度の5月以前を「ルール前」の対象としている。

②最初に内々定をもらった企業の業界

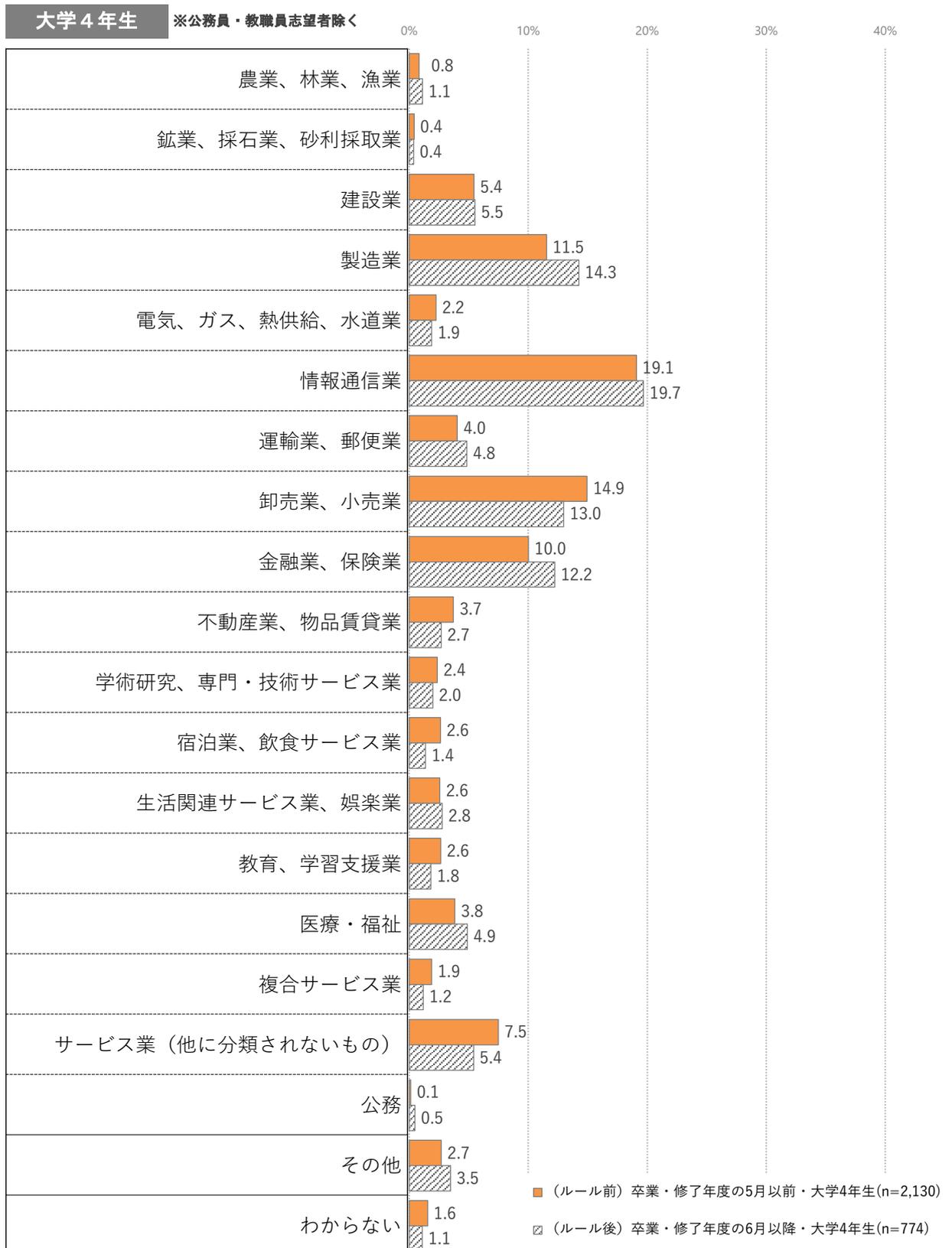
最初の内々定について、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)と、卒業・修了年度の5月以前(ルール前)で分類し、それぞれについて集計を行った。

卒業・修了年度の5月以前(ルール前)と6月以降(ルール後)で、内々定をもらった業種に大きな違いは見られないが、「金融業、保険業」ではややルール後の内々定の割合が高くなっている。

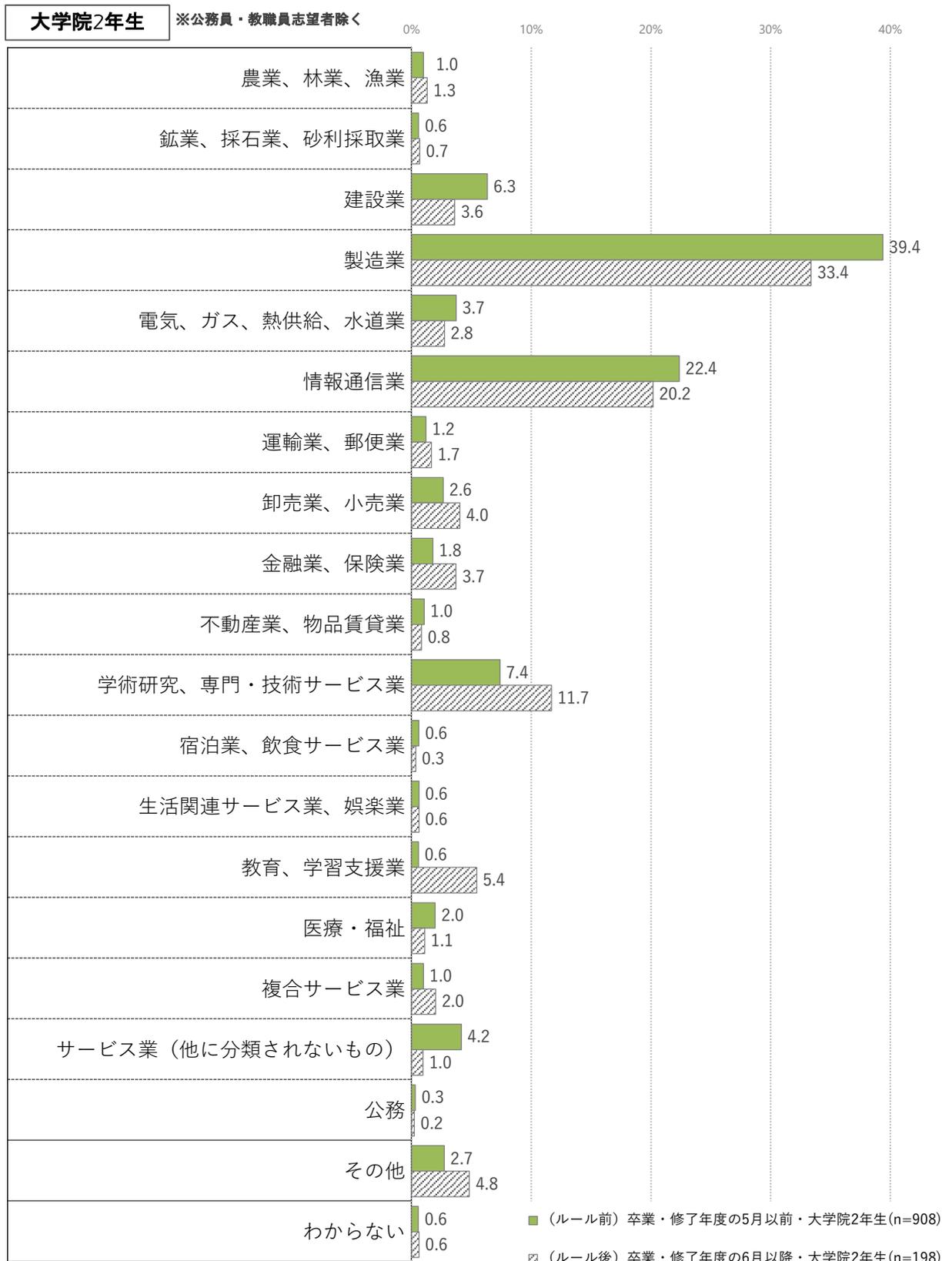
学年別では、大学4年生では全体値と大きな差は見られないものの、大学院2年生では「製造業」でルール前の内々定が、「学術研究、専門・技術サービス業」でルール後の内々定の回答割合が高くなっている。



②最初に内々定をもらった企業の業界



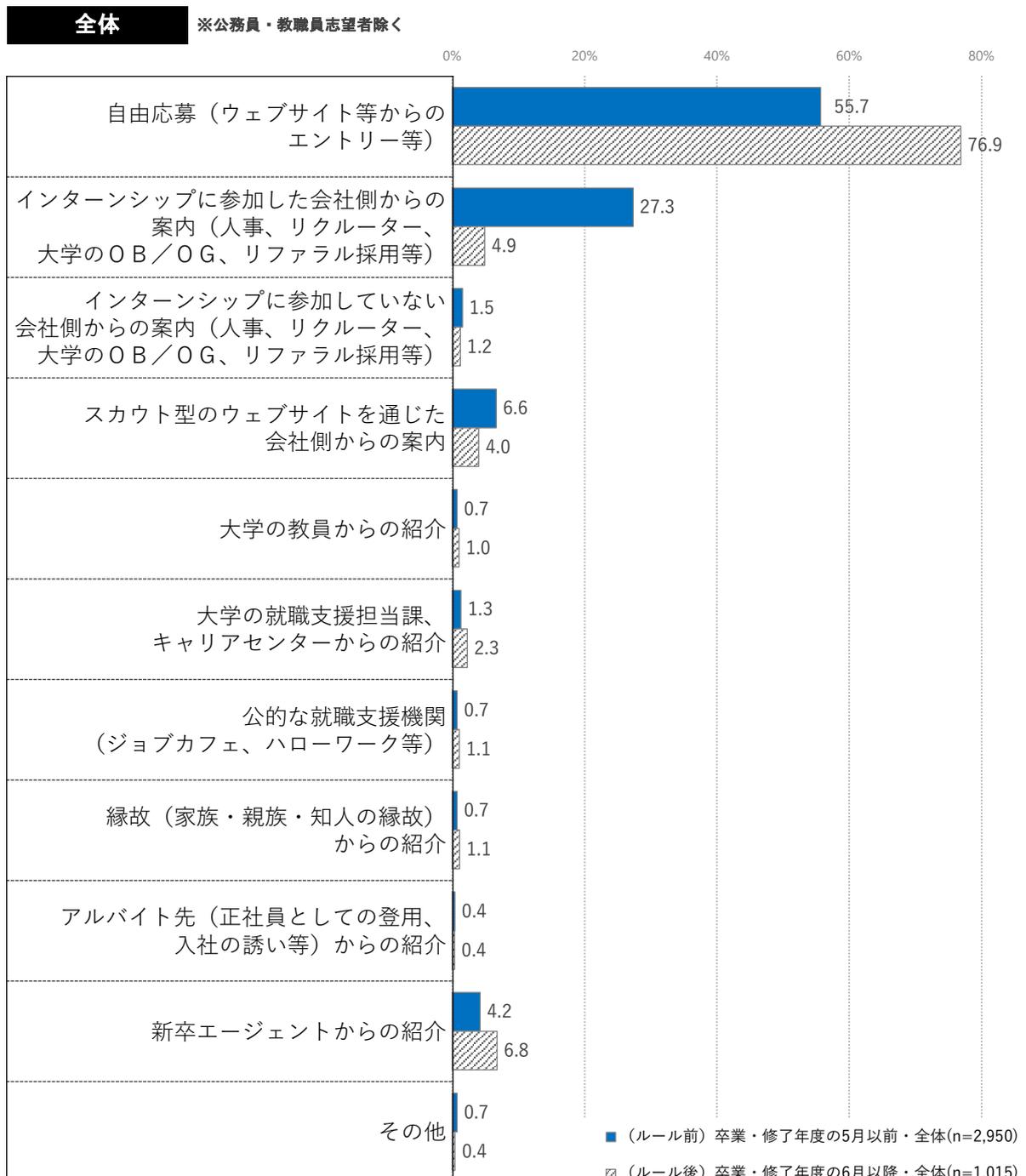
②最初に内々定をもらった企業の業界



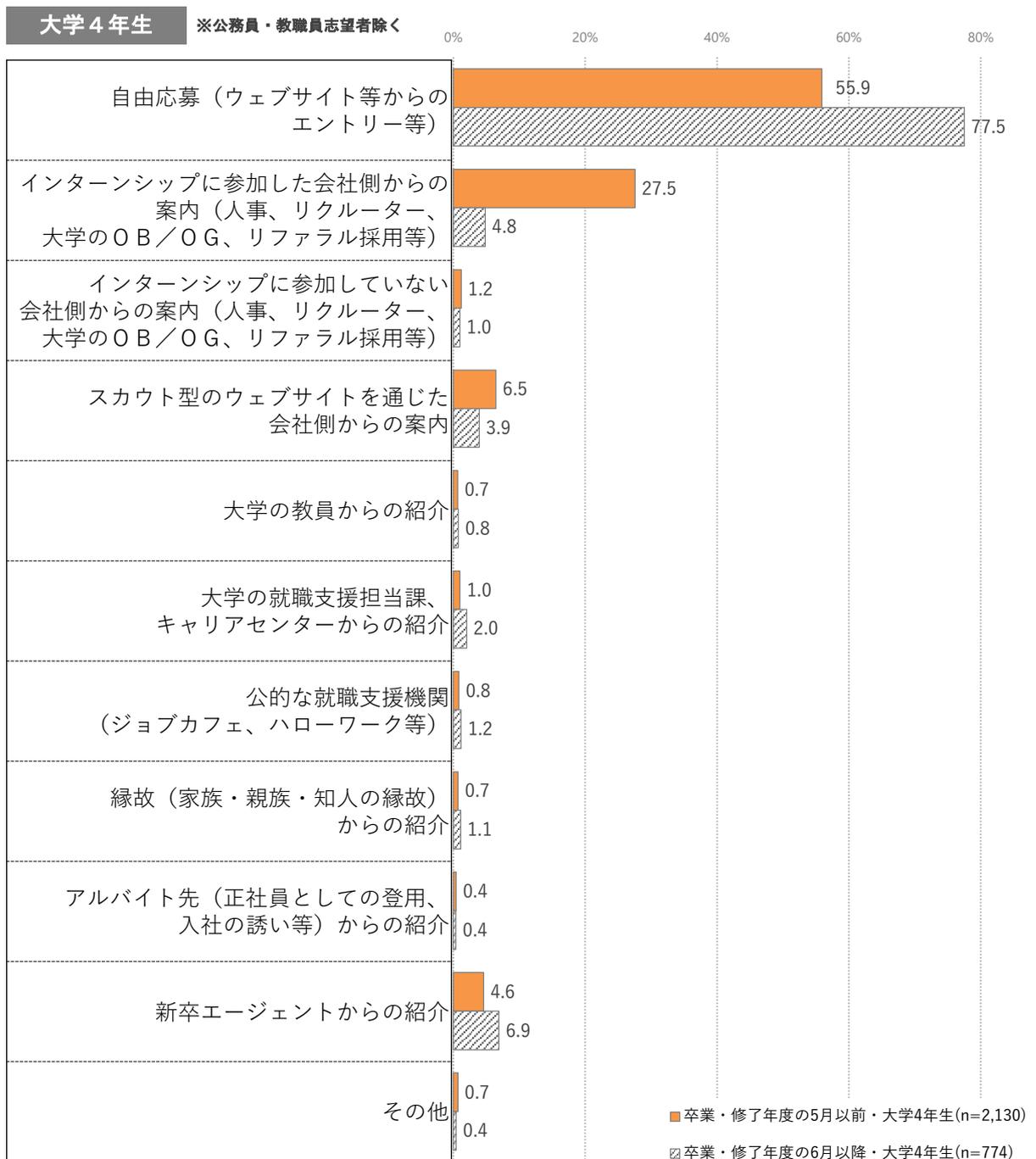
③最初に内々定をもらった企業の経路

どのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて、ルール前後ともに「自由応募(ウェブサイト等からのエントリー等)」との回答が最も高い割合であった。一方、ルール前の方が著しく高い経路は、「インターンシップに参加した会社側からの案内(人事・リクレーター・大学のOB/OG、リファラル採用等)」との回答で約3割であった。

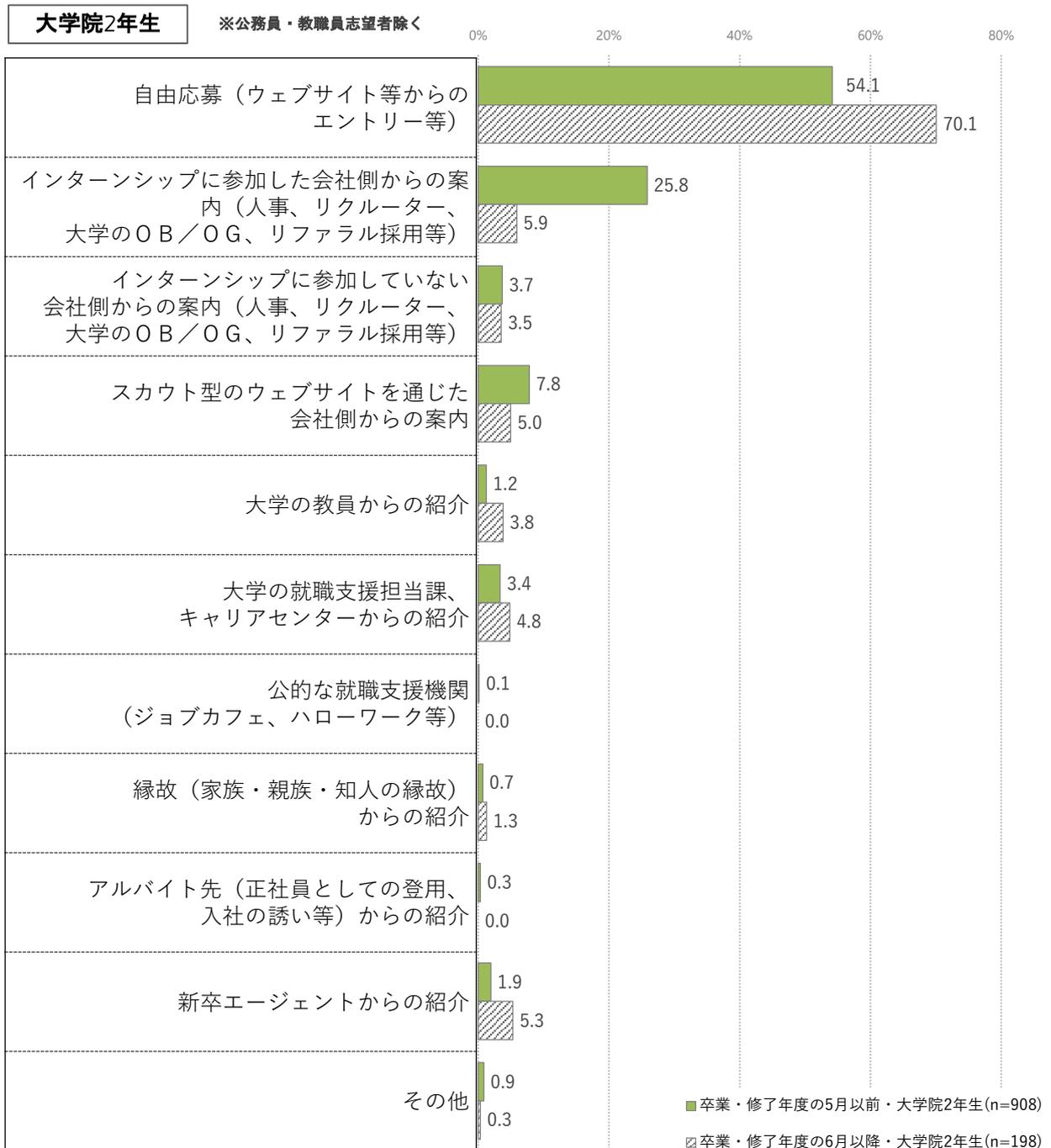
大学4年生、大学院2年生ともに同様の傾向となっている。



③最初に内々定をもらった企業の経路



③最初に内々定をもらった企業の経路

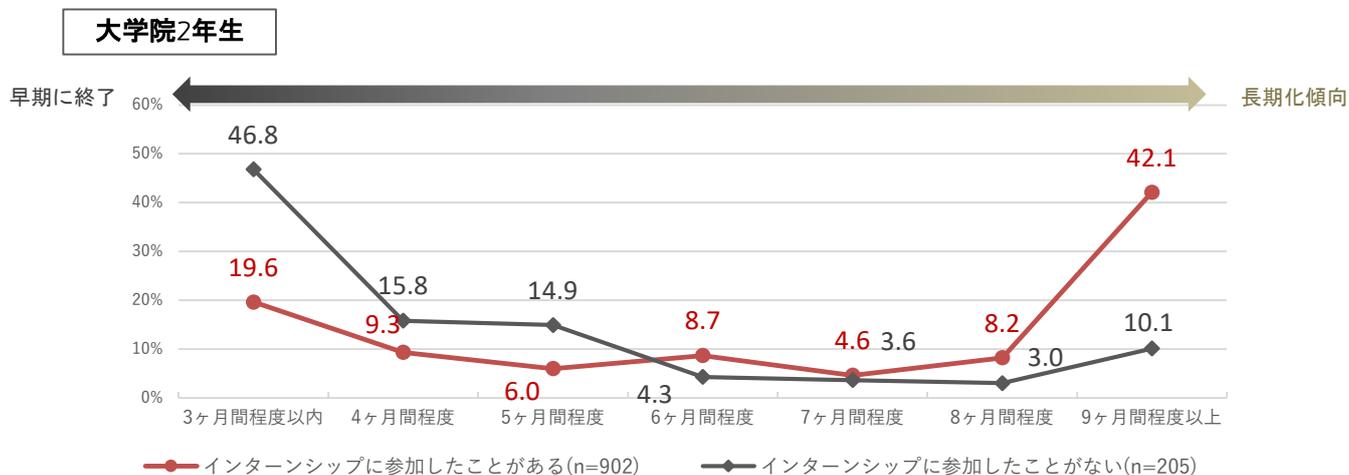
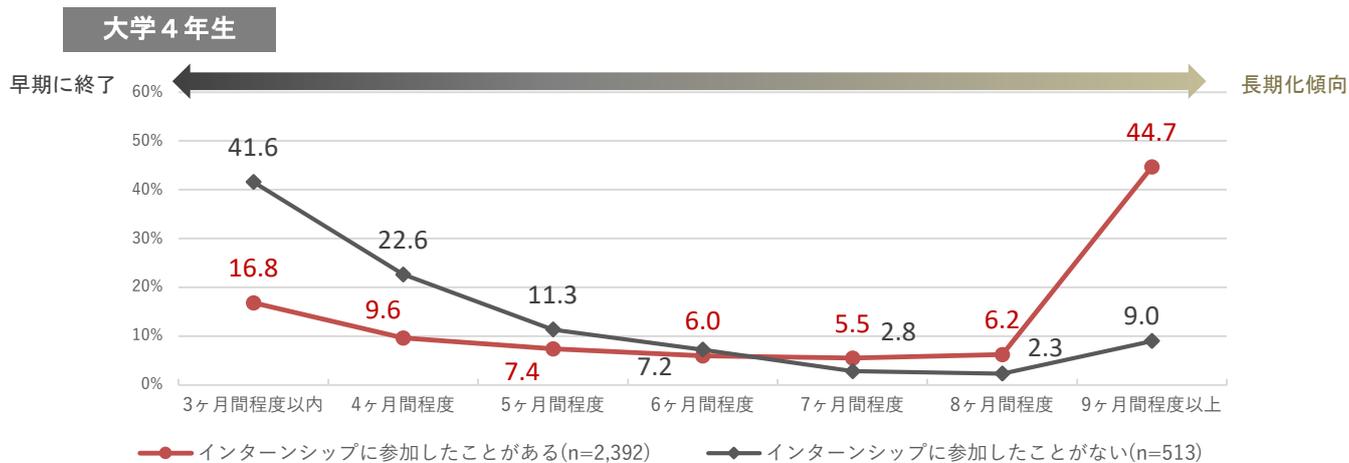
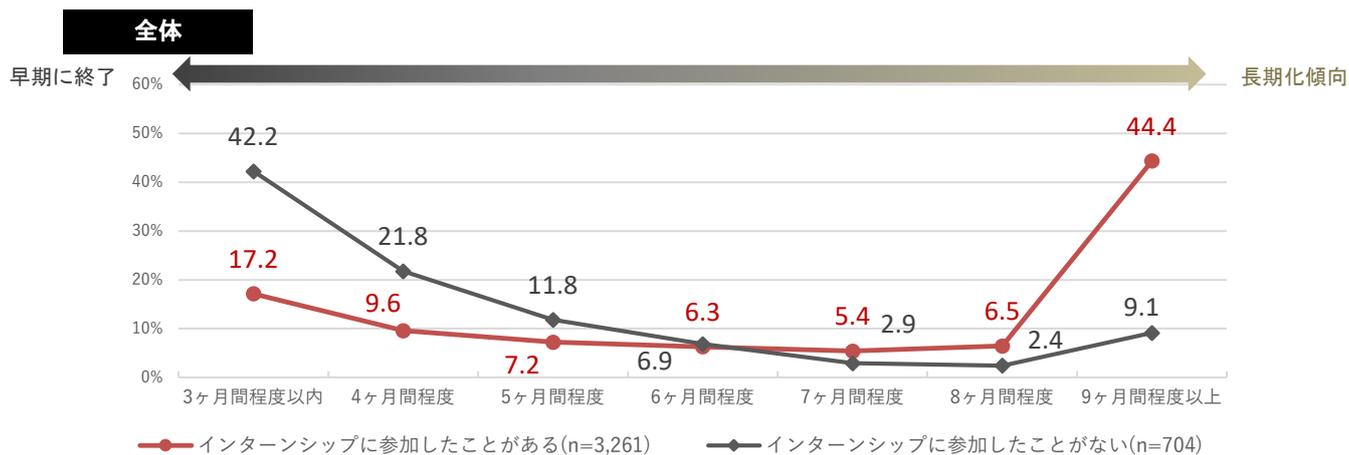


(3) 就職活動における早期化・長期化とインターンシップについて

①インターンシップ参加者と就職活動期間の関係

インターンシップに参加したことがある人(複数・1回)と、参加したことがない人とを分類し、就職活動期間※1について集計した。

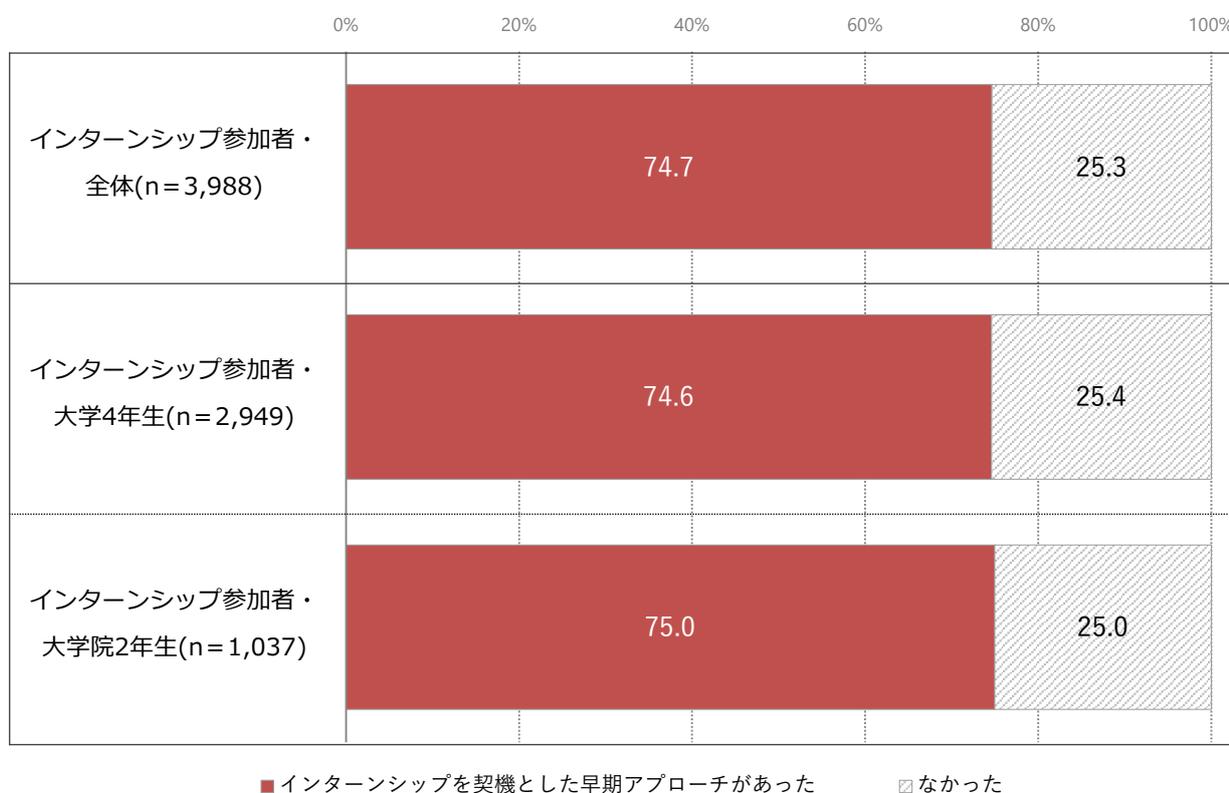
インターンシップへの参加を就職活動のスタートと捉えるか否かは、回答者の主観によるところがある点に注意が必要であるものの、インターンシップに参加したことがある人の方が、就職活動期間が「9ヶ月間程度以上」の割合が高く、長期化の傾向が見られる。大学4年生、大学院2年生でも同様の傾向である。



※1：就職活動が「まだ終わっていない」と回答した人の割合は掲載を割愛。

②インターンシップ参加者におけるインターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験有無

インターンシップに参加したことがある(複数・1回)人のうち、インターンシップを契機とした早期アプローチ※1の有無を集計したところ、インターンシップを契機とした早期アプローチがあったとした人は、全体で約8割を占める。また学年別でも同様の傾向が見られる。

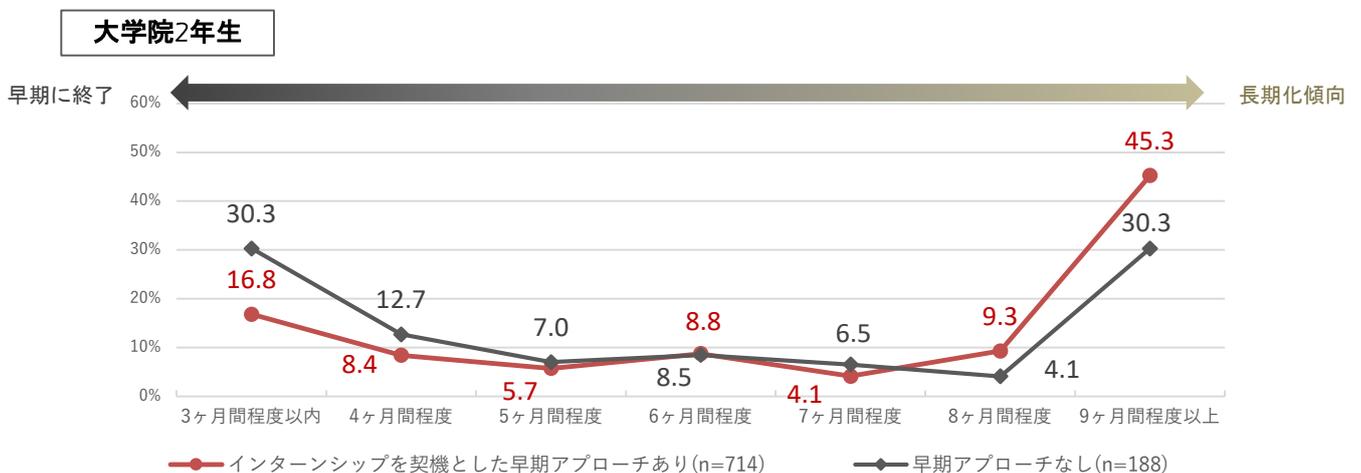
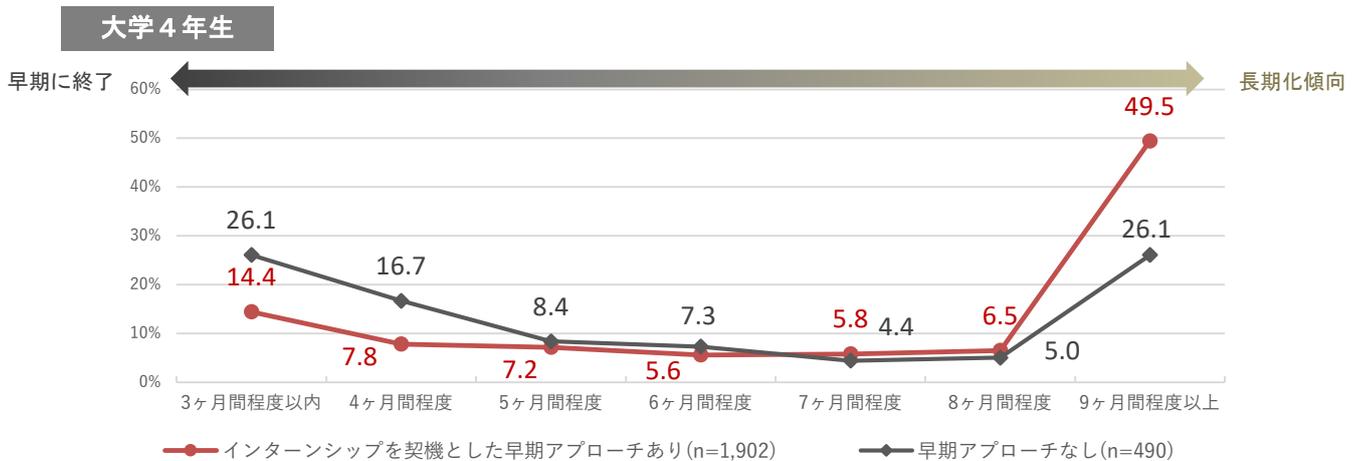
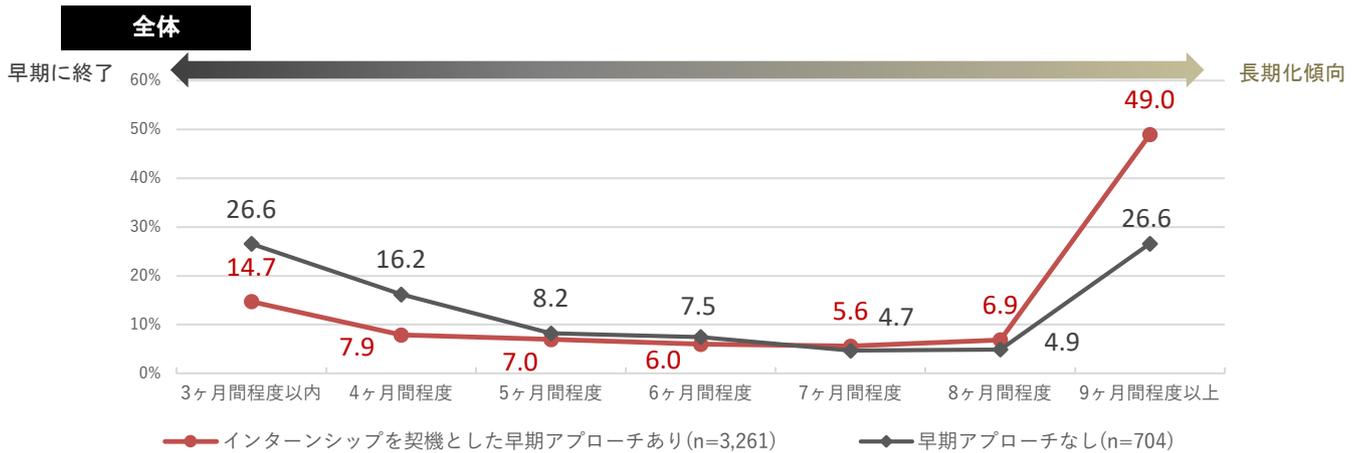


※1：「インターンシップ参加者を対象とした採用説明会、セミナーに参加した（2021年2月以前に開催されたもの）」「インターンシップ参加者を対象とした採用試験、面接等を受けた（2021年5月以前に実施されたもの）」「インターンシップ参加者を対象とした早期選考の案内」「内々定（インターンシップからの採用直結であり、2021年5月以前に受けたもの）」の、いずれかを選択した人を集計している。

③インターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験者と就職活動期間の関係

インターンシップに参加したことがある(複数・1回)人を、インターンシップを契機とした早期アプローチの有無で分類し、就職活動期間について集計した※1。

インターンシップを契機とした早期アプローチがあった人の方が、就職活動期間が「9ヶ月間程度以上」と回答する割合が高く、約5割。一方で早期アプローチがなかった人のうち「9ヶ月間程度以上」と回答した人は約3割。



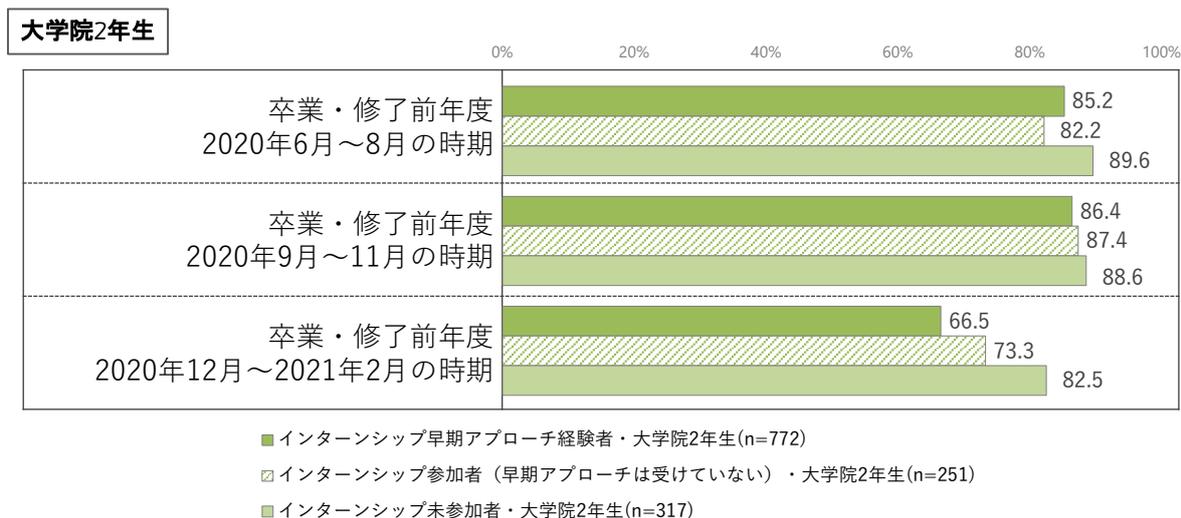
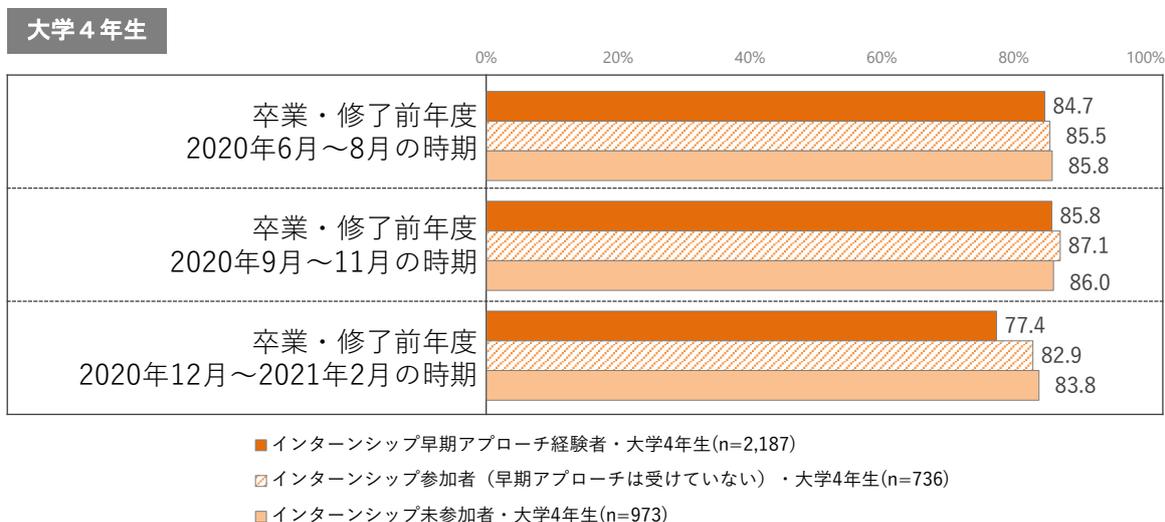
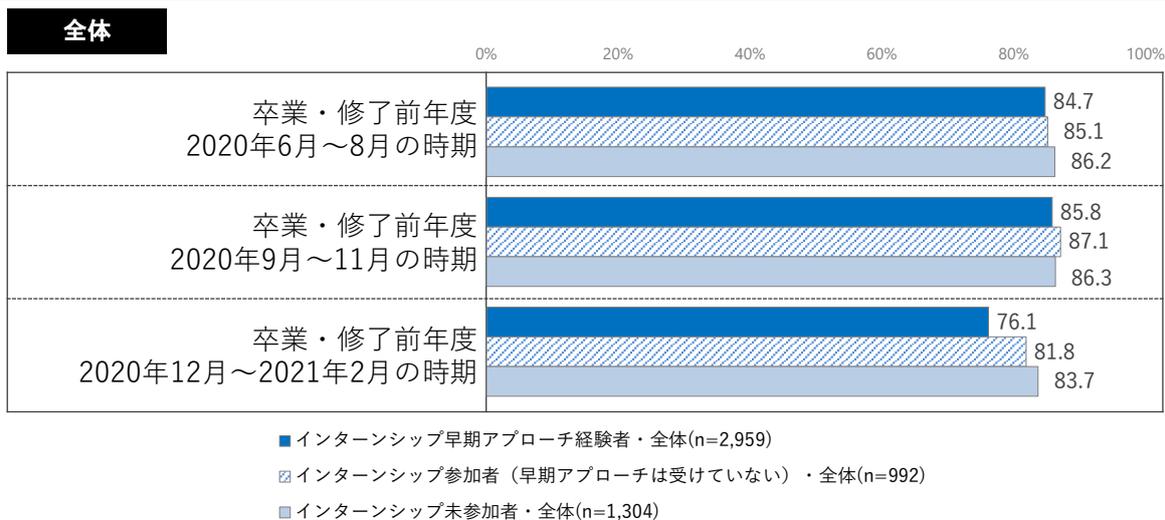
※1：就職活動が「まだ終わっていない」と回答した人の割合は、グラフ中では掲載を割愛。

④インターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験者と学修時間の確保の関係

全体では、卒業・修了前年度の6月～8月、9月～11月についてはそれほど大きな差は見られないが、12月～2月については、「インターンシップ未参加者」が最も「学修時間を確保できた」とする割合が高く、一方で「インターンシップ早期アプローチ経験者」で、最も回答割合が低くなっている。

また、大学4年生、大学院2年生も同様の傾向も、大学院2年生では、卒業・終了前年度の6月～8月、12月～2月において、「インターンシップ未参加者」が最も学修時間が確保できたとする回答割合が高く、「インターンシップ参加者」との差が大きくなっている。

※グラフの値は「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合。



參考資料

【調査票】

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査

来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に向けた検討の参考とするため、大学4年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2年生の方を対象として、就職・採用選考活動の実態を把握するためのアンケート調査を実施しております。

この調査は、株式会社マーケティング・コミュニケーションズが実施します。個別の記載内容については秘密を保持するとともに、個人が特定できるような情報は、一切公開されません。

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11
Firefox 14.0以降
Google Chrome 21.0以降

推奨OS

Windows10
Windows8

【1】あなた自身についてお聞きます。

[必須]

Q1. あなたの年齢をご記入ください。

※半角整数で記入

 歳

[必須]

Q2. あなたの性別を教えてください。（ひとつ）

- 男性
- 女性
- その他
- 答えたくない

[必須]

Q3. 現在のあなたの学年をお選びください。（ひとつ）

※留学、留年、休学、編入等をされた方で、来年（2021年）3月に卒業・修了をする年次の方については、
在学年数等に関わらず、「大学4年生」あるいは「大学院2年生」を選択してください。
※「大学院2年生」とは、修士課程（博士前期課程）2年生を指すこととします。（以下、同様）

- 大学4年生
- 大学院2年生
- その他

[必須]

Q4. あなたが通っている大学／大学院はどれにあてはまりますか。（ひとつ）

- 国立
- 公立
- 私立

[必須]

Q5. あなたが通っている大学／大学院名をお答えください。

例：〇〇大学（直接記入）

[必須]

Q6. あなたが通っている大学／大学院の所在地はどちらですか。（ひとつ）

選択して下さい▼

[必須]

Q7. あなたの出身地はどちらですか。（ひとつ）

※生まれた場所に限らず、実家がある場所など、大学に入学するまでの間、最もつながりがあると思われる地域についてお答えください。

選択して下さい▼

[必須]

Q8. あなたの専攻はどれにあてはまりますか。（ひとつ）

- 人文科学（文学、言語学、史学、地理学、哲学、コミュニケーション学、心理学等）
- 社会科学（法学・政治学、商学・経済学、経営学、社会学等）
- 理学（数学、物理学、化学、生物学、地学等）
- 工学（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、航空工学等）
- 農学（農学、農業経済学、林学、畜産学、水産学等）
- 保健（保健衛生学、スポーツ・健康医学等）
- 家政（家政学、栄養学、被服学）
- 教育（教育学、教育発達学等）
- 芸術（芸術、デザイン、音楽等）
- その他（教養学、国際関係学、総合科学、一般教養課程等）

[必須]

Q9. あなたは、来年_(2022年)3月に卒業・修了するにあたり、就職活動（民間企業・官公庁等の職業に就くための活動）を行いましたか。（ひとつ）

※8月1日時点の状況を回答ください。

- 就職活動を行った（終えた）
- 就職活動を行っている（継続している）
- これから就職活動を行う予定である
- 就職活動を行わなかった（行う予定はない）

[必須]

Q10. あなたは、現在通っている大学／大学院を卒業・修了後にどのような進路を予定（希望）していますか。既に進路が決まっている場合は、その進路先について選択してください。まだ決まっていない場合などは、希望する進路先について回答してください。（いくつでも）

※現在学部生で、大学院に進学した後に就職することを予定(希望)している場合、ここでは、「進学(国内)」や「海外留学」を選択してください。

- 民間企業に就職
- 公務員に就職
- 教職員に就職
- N P O に就職
- 自営・家業に就職
- その他の就職
- 進学（国内）
- 海外留学
- 起業する
- 社会人としての経験があり、卒業・修了後に元の職場に復職
- まだわからない

[必須]

Q11. 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の業界を教えてください。（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

農業、林業、漁業

鉱業、採石業、砂利採取業

建設業

製造業

電気、ガス、熱供給、水道業

情報通信業

運輸業、郵便業

卸売業、小売業

金融業、保険業

不動産業、物品賃貸業

学術研究、専門・技術サービス業

宿泊業、飲食サービス業

生活関連サービス業、娯楽業

教育、学習支援業

医療・福祉

複合サービス業

サービス業（他に分類されないもの）

公務

その他

[必須]

Q12. あなたが、就職先を決めるにあたって重視しているものを教えてください。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

- 企業等の安定性
- 企業の成長可能性
- 知名度が高い
- 給与や賞与が高い/手当や社会保障が充実
- 残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス
- リモートワーク・在宅勤務が選択可能
- 兼業・副業が認められている
- 正社員として働ける
- 女性が活躍できる
- 育児休業や保育所などの両立支援の充実
- 地元で働ける
- 希望する勤務地で働ける
- 職場の雰囲気が良さそう
- 自分の能力や専門性を生かせる
- 自分の能力を高めキャリアアップにつなげられる
- 自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)
- 社会貢献度が高い
- 若者の採用・育成に積極的である
- その他

[必須]

Q13. 就職活動は、主にどの地域で行いましたか。（それぞれひとつずつ）

※複数の地域で活動された場合は、主に活動した都道府県を順に3つまで回答してください。

地域1

選択して下さい▼

地域2

選択して下さい▼

地域3

選択して下さい▼

※複数地域で就職活動をしていない方は、地域2、地域3では「該当なし」を選択してください。

下記の文章を読んだ上で、その後の設問にお答えください。

<<政府が経済団体等に要請している、いわゆる「就活日程ルール」について>>
現在の大学4年生、大学院2年生等の就職・採用活動時期については、
前年度と同様に、**広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降**に開始することとされました。

[必須]

Q14. あなたは就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期（就活日程ルール）が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて、知っていましたか。（ひとつ）

- よく知っていた
- ある程度知っていた
- 聞いたことはあるがあまりよく知らなかった
- 知らなかった

[必須]

Q15. あなたはどのようなルートで就職・採用活動の時期（就活日程ルール）に関する情報を知りましたか。（いくつでも）

- テレビや新聞等の報道
- 就職情報会社（就職ナビサイトなど）
- 大学（キャリアセンターなど）
- ハローワーク
- 政府のウェブサイト
- 家族・親戚から
- 友人から
- 先輩から
- その他

[必須]

Q16. あなたはいつ頃就職・採用活動の時期（就活日程ルール）に関する情報を知りましたか。（ひとつ）

- 2020年8月以前
- 2020年9月～10月頃
- 2020年11月～12月頃
- 2021年1月～2月頃
- 2021年3月以降
- 覚えていない

[必須]

Q17. 就職・採用活動開始時期（就活日程ルール）（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）について、どう考えますか。（ひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
- ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
- ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい
- ルールは必要ない
- その他

[必須]

Q18. 就職・採用活動時期に関し、昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、あなたはどのように思いますか。（それぞれひとつずつ）

| | | そう 思う | どちらか といえば そう思う | どちら でもない | どちらか といえば そう思わない | そう 思わない |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 就職活動期間が比較的短期間で済んだ | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 大学の試験に落ち着いて取り組むことができた | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 卒業論文（研究）・修士論文（研究）に早い時期から取り組むことができた | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| ボランティア、部活動、クラブやサークル活動など課外活動に取り組む機会を充実することができた | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できなかった | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

【必須】

Q19. どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてるのが難しかったのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思いますか。（ひとつ）

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だとは思わない

【3】 インターンシップについてお聞きます。

【必須】

Q20. あなたは大学／大学院に入学以後、これまでにインターンシップに参加したことがありますか。（ひとつ）

※企業が「インターンシップ」や「ワンデー仕事体験」等と称して実施したプログラムをすべて含めてお答えください。

- 参加したことがある（1回）
- 複数回参加したことがある
- 参加したことがない

【必須】

Q21. あなたは、どのような基準でインターンシップ先を選択しましたか。当てはまるものを選択ください。（いくつでも）

- 業界・業種への理解を深められるプログラムだから
- 就職先として興味・関心を抱いている企業であったから
- 職業観、就業観を養うことができるプログラムだから
- 学業に役立つプログラムだから
- 学業に支障が出ない（学業との両立が可能である）時期・プログラムだから
- 社会人として必要なスキルや能力が身につくから
- 採用選考につながるプログラムだから
- 給料が出るから（給料が他と比べても良いから）
- その他

【必須】

Q22. インターンシップの参加日数は何日でしたか。（ひとつ）

- 半日
- 1日
- 2日
- 3日～4日
- 5日～10日
- 11日～15日
- 16日以上

[必須]

Q23. あなたは参加したインターンシップで、就業体験を行いましたか。(ひとつ)

※企業の業務内容の説明や職場見学のみは含まれません。

- 就業体験を行った
- 就業体験はなかった

[必須]

Q24. あなたが参加したインターンシップは、採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいましたか。(ひとつ)

※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。

- ・インターンシップの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
- ・インターンシップ終了後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接・試験の案内があった
- ・インターンシップの結果が内々定の獲得に影響していた

- 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた
- 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった
(又は含んでいるかわからなかった)

[必須]

Q25. あなたが参加したインターンシップは、学業(授業)への影響はありましたか(ひとつ)

※授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものを指します

- はい
- いいえ

[必須]

Q26. あなたは、何日間のインターンシップに参加しましたか。(いくつでも)

| | | 参加した | 参加して いない |
|--------|---|-----------------------|-----------------------|
| 半日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 1日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3～4日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 5～10日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 11～15日 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 16日以上 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

[必須]

Q27. あなたが参加したインターシップで、就業体験を行ったものは何件ぐらいでしたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入してください。

※企業の業務内容の説明や職場見学のみのは含まれません。

※就業体験を行ったものが無い場合は0を記入してください。

合計のインターンシップ参加日数：社参加と回答

半日 件 …[回答：hq4.c1]件参加と回答

1日 件 …[回答：hq4.c2]件参加と回答

2日 件 …[回答：hq4.c3]件参加と回答

3～4日 件 …[回答：hq4.c4]件参加と回答

5～10日 件 …[回答：hq4.c5]件参加と回答

11～15日 件 …[回答：hq4.c6]件参加と回答

16日以上 件 …[回答：hq4.c7]件参加と回答

合計：

[必須]

Q28. あなたが参加したインターシップのうち、採用のための実質的な選考を行う活動を伴うものは、何件ぐらいありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入

※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。

- ・インターンシップの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
- ・インターンシップ終了後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接・試験の案内があった
- ・インターンシップの結果が内々定の獲得に影響していた

※採用のための実質的な選考を行う活動を伴ったものが無かった場合は0を記入してください。

合計のインターンシップ参加日数：社参加と回答

半日 件 …[回答：hq4.c1]件参加と回答

1日 件 …[回答：hq4.c2]件参加と回答

2日 件 …[回答：hq4.c3]件参加と回答

3～4日 件 …[回答：hq4.c4]件参加と回答

5～10日 件 …[回答：hq4.c5]件参加と回答

11～15日 件 …[回答：hq4.c6]件参加と回答

16日以上 件 …[回答：hq4.c7]件参加と回答

合計：

【必須】

Q29. インターンシップ参加後に、インターンシップ参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けましたか。（当てはまるもの全て）

■ インターンシップ参加者を対象とした採用説明会、セミナーに参加した
(2021年2月以前に開催されたもの)

■ インターンシップ参加者を対象とした採用説明会、セミナーに参加した
(2021年3月以降に開催されたもの)

■ インターンシップ参加者を対象とした採用試験、面接等を受けた
(2021年5月以前に実施されたもの)

■ インターンシップ参加者を対象とした採用試験、面接等を受けた
(2021年6月以降に実施されたもの)

■ インターンシップ参加者を対象とした早期選考の案内

■ 人事・リクレーターからの接触

■ エントリーの案内

■ 内々定（インターンシップからの採用直結であり、
2021年5月以前に受けたもの）

■ その他

■ インターンシップ参加者を対象とした
採用に関わるものは何も受けていない

[必須]

Q30. あなたが参加したインターンシップのうち、学業（授業）への影響のあったものは、何件ぐらいありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入

※授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものをお答えください

※学業への影響がなかった場合は0を記入してください。

合計のインターンシップ参加日数：社参加と回答

半日 件 …[回答：hq4.c1]件と回答

1日 件 …[回答：hq4.c2]件と回答

2日 件 …[回答：hq4.c3]件と回答

3～4日 件 …[回答：hq4.c4]件と回答

5～10日 件 …[回答：hq4.c5]件と回答

11～15日 件 …[回答：hq4.c6]件と回答

16日以上 件 …[回答：hq4.c7]件と回答

合計：

[必須]

Q31. インターンシップに参加した時期はいつですか。時期別の参加状況について教えてください。（それぞれいくつでも）

| 回答方向→ | | 4月～ 6月 | 7月～ 9月 | 10月～ 12月 | 1月～ 3月 | 左記の 期間には 参加して いない |
|--------|---|-----------|-----------|-------------|-----------|----------------------------|
| 大学1年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 大学2年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 大学3年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 大学4年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 大学院1年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 大学院2年生 | → | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

(必須)

Q32. あなたが参加したインターンシップのうち期間が「半日」又は「1日間」であったものに関して、参加してどのような効果があったと感じますか。(ひとつ)

| | | そう思う | どちらか といえば そう思う | どちらか といえば そう思わない | そう 思わない |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------|------|----------------------|------------------------|------------|
| 良い 影響 | 業界・業種を理解することができた | → | ● | ● | ● |
| | 仕事の内容を具体的に知ることができた | → | ● | ● | ● |
| | 会社の雰囲気を理解することができた | → | ● | ● | ● |
| | 自分の将来設計（キャリアプラン） を考えるのに役だった | → | ● | ● | ● |
| | 日頃の学修への意欲が上がった | → | ● | ● | ● |
| | 新たな学修に取り組むきっかけとなった | → | ● | ● | ● |
| | 自分自身のスキルや能力について よく考えるきっかけとなった | → | ● | ● | ● |
| | 専門分野における知識、 スキルや能力が身についた | → | ● | ● | ● |
| 悪い 影響 | 課題発見・解決能力、主体性や 自己管理能力等、社会人として必要なスキルや 能力が身についた | → | ● | ● | ● |
| | 学業に支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| | アルバイトに支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| その他 | 部活動・サークル活動に支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| | 参加した企業から、その企業の 採用選考に関する 詳細な情報を聞くことができた | → | ● | ● | ● |
| | インターンシップ参加者に 対しての企業説明会等 （広報活動）の案内があった | → | ● | ● | ● |
| | インターンシップ参加者に 対しての採用試験・面接等 （採用選考活動）の 案内があった | → | ● | ● | ● |
| | 採用選考の際のプロセスが 一部省略されるなど、 採用選考上の優遇が受けられた | → | ● | ● | ● |
| 参加した企業から内々定を 受けることにつながった | → | ● | ● | ● | |

Q33. 上記の他、良い影響・悪い影響等、インターンシップに参加して感じた効果があれば回答してください (100字まで)

[必須]

Q34. あなたが参加したインターンシップのうち期間が「2日間以上」であったものに関して、参加してどのような効果があったと感じますか。(ひとつ)

| | | そう思う | どちらか といえば そう思う | どちらか といえば そう思わない | そう 思わない |
|----------|-----------------------------------------------------|------|----------------------|------------------------|------------|
| 良い 影響 | 業界・業種を理解することができた | → | ● | ● | ● |
| | 仕事の内容を具体的に知ることができた | → | ● | ● | ● |
| | 会社の雰囲気を理解することができた | → | ● | ● | ● |
| | 自分の将来設計（キャリアプラン） を考えるのに役立った | → | ● | ● | ● |
| | 日頃の学修への意欲が上がった | → | ● | ● | ● |
| | 新たな学修に取り組むきっかけとなった | → | ● | ● | ● |
| | 自分自身のスキルや能力について よく考えるきっかけとなった | → | ● | ● | ● |
| | 専門分野における知識、 スキルや能力が身についた | → | ● | ● | ● |
| | 課題発見・解決能力、主体性や 自己管理能力等、社会人として必要なスキルや 能力が身についた | → | ● | ● | ● |
| 悪い 影響 | 学業に支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| | アルバイトに支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| | 部活動・サークル活動に支障が生じた | → | ● | ● | ● |
| その 他 | 参加した企業から、その企業の 採用選考に関する 詳細な情報を聞くことができた | → | ● | ● | ● |
| | インターンシップ参加者に 対しての企業説明会等 （広報活動）の案内があった | → | ● | ● | ● |
| | インターンシップ参加者に 対しての採用試験 ・面接等（採用選考活動）の 案内があった | → | ● | ● | ● |
| | 採用選考の際のプロセスが 一部省略されるなど、 採用選考上の優遇が受けられた | → | ● | ● | ● |
| | 参加した企業から内々定を 受けることにつながった | → | ● | ● | ● |

Q35. 上記の他、良い影響・悪い影響等、インターンシップに参加して感じた効果があれば回答してください（100字まで）

【4】新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響についてお聞きます。

[必須]

Q36. あなたの就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思いますか。
(ひとつ)

そう思う

どちらかといえばそう思う

どちらでもない

どちらかといえばそう思わない

そう思わない

[必須]

Q37. あなたの就職活動に関し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととしてどのようなことがありましたか。（いくつでも）

<情報収集についての課題>

- 予定していたインターンシップに参加できなかった
- 予定していたOB・OG訪問ができなかった
- 大学のキャリアセンターを十分に活用することができなかった
- 企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった

<応募や採用面接についての課題>

- 企業の採用が突然とりやめられる等、当初志望していた会社への応募ができないことがあった
- 感染リスクを避けるため、当初志望していた会社への応募をやめたことがあった
- アルバイトによる収入が減少する等就職活動の費用を捻出できず、応募する企業数を減らした
- 応募している企業の採用活動が再開するのかわからず、不安が大きかった
- 進行していた採用試験・面接等が中止になってしまったことがあった
- 得ていた内々定を取り消されてしまったことがあった

<応募や採用面接についての課題>

- 当初志望していた会社がオンラインでの企業説明会や面接を実施しなかったので応募しなかった
- オンラインでの企業説明会や面接で、アプリケーション等の操作がわからないことがあった
- オンラインでの面接に必要な機器（ウェブカメラやマイクなど）を用意することが難しかった
- オンラインでの面接を行う場所を用意することが難しかった
- 用意していた機器（ウェブカメラやマイクなど）がオンラインでの面接中に正常に動作しないことがあった
- 通信回線が不安定で、企業説明会や面接の途中で音声・映像が途切れるなどしたことがあった
- オンラインでの面接でうまくコミュニケーションをとることが難しかった

<スケジュールについての課題>

- 予定の変更・中止等が頻繁にあり、スケジュール管理が難しかった
- 大学の予定と重なることが多く、スケジュールの調整が難しかった
- 志望していた業界・企業の採用が中止になるなどして、就職活動が長期化した

<新型コロナウイルス感染症についての課題>

- 移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった
- 企業説明会や面接等で、対面で会話等することに關し不安が大きかった

<その他>

- その他
- 特に課題となったことはなかった

[必須]

Q38. あなたの就職活動に関し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり社会的な変容が進む中で、想定していたよりもプラスになった・メリットになったこととしてどのようなことがありましたか。（いくつでも）

- オンラインの活用が増えたので、交通費など費用面の負担が軽減した
- オンラインの活用が増えたので、現在の居住地から遠い企業の説明会に参加しやすくなったり、採用面接が受けやすくなったりした
- オンラインの活用が増えたので、スケジュール調整（東京と大阪を一日で受けるなど）がしやすくなった
- オンラインの活用が増えたので、受けられる企業の数が増えた
- オンラインの活用が増えたので、緊張しない・リラックスした状態で面接などを受けられるようになった
- 大学の勉強と両立がしやすくなった
- 資格取得など自己研鑽の時間が作りやすくなった
- 時間をかけて就職活動に取り組めるようになった
- 希望する勤務地・企業の選択肢の幅が広がった
- 新型コロナウイルス感染症に対してリモートワークなど企業がどう取り組んでいるかを知る事が、判断基準の一つになった
- 社会的な変容が進む中、自分のキャリアプランを意識し考える時間が出来た
- 社会的な変容が進む中で視野が広がり、幅広い業種を検討するようになった
- 社会的な変容が進む中将来への考えが変わり、志望する業種に変化があった
- その他
- プラスになったことはない

【5】就職活動における各活動の参加時期についてお聞きします。

【必須】

Q39. 就職活動を行うにあたり、企業の広報活動が開始になる本年3月1日より前の時期に、あなたはどのような活動をしましたか。（いくつでも）

- 業界や企業等に関する情報を収集した
- 最近の社会情勢に関する情報を収集した
- 一般常識やマナー等に関する情報を収集した
- 自己分析を行った
- インターンシップに参加した
- 履歴書・エントリーシートの書き方や面接の仕方等の練習をした
- 試験に備えた勉強・模擬試験等を行った
- OB・OG訪問をした
- 就職に関する個別相談・カウンセリングを受けた
- 大学のキャリアセンター等での情報収集等を行った
- 大学でのキャリア教育・キャリア支援に関するプログラム等に参加した
- 上記のことは特に行わなかった

【必須】

Q40. いつ頃から業界や企業の分析を開始しましたか。（ひとつ）

| | 2020年 | | | | | | | | 2021年 | | | | | | | | 特段行わなかった |
|----------|-------|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|----|----|----|----|----|---|----------|
| | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | | |
| 分析開始時期 → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

【必須】

Q41. 企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピーク、最後に参加した時期は、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

①企業説明会・セミナー等

| | 2020年 | | | | | | | | 2021年 | | | | | | | | まだ参加していない・参加する予定もない |
|----------------|-------|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----------|---------------------|
| | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月以降（予定） | |
| 最初に参加した企業の時期 → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 参加のピーク → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 最後に参加した時期 → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

【必須】

Q42. 「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピークは、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※先ほど答えたものから、改めて、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限り、お答えください。

※当該問の趣旨は、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となります。
（採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等）
※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

【①企業説明会・セミナー等】

| | | 2020年 | | | | | | | 2021年 | | | | | | | まだ参加していない・参加する予定もない | | |
|--------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | | 8月 | 9月以降（予定） |
| 最初に参加した企業の時期 | → | <input type="radio"/> |
| 参加のピーク | → | <input type="radio"/> |

【必須】

Q43. 最初に受けた採用を目的とした企業説明会やセミナー等について、その企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- 99人以下
- 100人～299人
- 300人～999人
- 1,000人～4,999人
- 5,000人～9,999人
- 10,000人以上
- わからない・覚えていない

[必須]

Q44. 最初に受けた採用を目的とした企業説明会やセミナー等について、その企業の業界を教えてください。(ひとつ)

- 農業、林業、漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない・覚えていない

[必須]

Q45. 最初に参加した「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等について、どのような経路で参加しましたか。（ひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

| | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| ※リクレーター | … 学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。 |
| ※リファラル採用 | … 企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。 |
| ※スカウト型のウェブサイト | … 学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。 |
| ※新卒エージェント | … 登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。 |

- 自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）
- インターンシップに参加した会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- インターンシップに参加していない会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の教員からの紹介
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）
- 縁故（家族・親族・知人の縁故）からの紹介
- アルバイト先（正社員としての登用、入社の誘い等）からの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

【必須】

Q46. エントリーシート提出について、最初に提出した時期、提出のピーク、最後に提出した時期は、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

【②エントリーシート提出】

| | | 2020年 | | | | | | 2021年 | | | | | | | | まだ参加していない・参加する予定もない | | |
|--------------|---|-------|----|----|----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|---------------------|----|----------|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | | 8月 | 9月以降（予定） |
| 最初に提出した企業の時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● |
| 提出のピーク | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 最後に提出した時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

【必須】

Q47. 採用面接について、最初に受けた時期、採用面接のピーク、最後に受けた時期は、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

【③採用面接】

| | | 2020年 | | | | | | 2021年 | | | | | | | | まだ参加していない・参加する予定もない | | |
|----------|---|-------|----|----|----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|---------------------|----|----------|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | | 8月 | 9月以降（予定） |
| 最初に受けた時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | - | ● |
| ピーク | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 最後に受けた時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

【必須】

Q48. 最初に受けた採用面接について、その企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- 99人以下
- 100人～299人
- 300人～999人
- 1,000人～4,999人
- 5,000人～9,999人
- 10,000人以上
- わからない・覚えていない

【必須】

Q49. 最初に受けた採用面接について、その企業の業界を教えてください。（ひとつ）

- 農業、林業、漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない・覚えていない

[必須]

Q50. 最初に受けた「採用面接」について、どのような経路で案内・紹介を受けましたか。（ひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ※リクルーター … 学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※リファラル採用 … 企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※スカウト型のウェブサイト … 学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※新卒エージェント … 登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

- 自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）
- インターンシップに参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- インターンシップに参加していない会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の教員からの紹介
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）
- 縁故（家族・親族・知人の縁故）からの紹介
- アルバイト先（正社員としての登用、入社の誘い等）からの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q51. 最初に内々定を受けたのはいつ頃ですか。また、就職予定の企業の内々定を受けたのはいつ頃ですか。実質的に内々定を受けたと感じた時期についてお答えください。（ひとつずつ）

【④内々定】

| | | 2020年 | | | | | | | 2021年 | | | | | | | | まだ受けてない |
|-------------|---|-------|----|----|----|-----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | |
| 最初の内々定 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 就職予定の企業の内々定 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |

◆就職活動における「企業説明会・セミナー等」についてお聞きます。

[必須]

Q52. 合計で何社の企業説明会やセミナーに参加しましたか。（半角整数で記入）

※合同企業説明会など一日に複数社の説明を受けた場合、それぞれ1社とカウントしてください。

社程度

[必須]

Q53. 企業説明会やセミナー等について、対面での参加、ウェブ等での参加は、それぞれの程度ありましたか。

企業説明会やセミナーへの参加日数の合計：社程度参加と回答

対面のみでの参加 → 社程度

ウェブ等のみでの参加 → 社程度

対面とウェブ等の両方での参加 → 社程度

合計： 0

[必須]

Q54. 参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものはどの程度ありましたか。（半角整数で記入）

※自ら参加を取りやめたものが無い場合は0と記入してください。

社程度

[必須]

Q55. 企業説明会やセミナー等の開催時期の変更や中止等に関する企業からの連絡は、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮したものだと思いませんか。（ひとつ）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 開催時期の変更や中止等は無かった

[必須]

Q56. 対面での企業説明会やセミナー等について、参加できなかったことをもってその後の採用選考に影響を与えることはない旨の説明は、企業等からされていたと思いますか。（ひとつ）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

◆就職活動における「エントリーシート提出」についてお聞きします。

[必須]

Q57. あなたはエントリーシートを何社に提出しましたか。（半角整数で記入）

社程度

合計：

[必須]

Q58. エントリーシートを提出した企業のうち、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、当初の予定よりエントリーの受付開始時期が後ろ倒しに変更されたものや、提出期限が延長されたものはどの程度ありましたか。また、エントリーシートの提出を予定していた企業で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、エントリーの受付が中止になったものはどの程度ありましたか。

※時期の延期等の場合は「中止」には含みません

※ただし、「延期」と案内されたまま、その後の受付開始・再開時期等について連絡がなかった場合は「中止」として考えてください。

※後ろ倒しに変更されたもの、エントリー受付が中止になったものが無い場合は0を記入してください

エントリーシートの提出合計：社提出と回答

エントリーシート受付開始時期が後ろ倒しに変更された企業 社程度

エントリーシート提出を予定していたがエントリーの受付が中止になった企業 社程度

合計：

[必須]

Q59. 合計で何社の企業の採用面接を受けましたか。（半角整数で記入）

社程度

合計：

[必須]

Q60. 採用面接について、対面での実施、ウェブ等での実施は、それぞれどの程度ありましたか。（半角整数で記入）

採用面接を受けた合計数：社程度と回答

対面のみでの実施 → 社程度

ウェブ等のみでの実施 → 社程度

対面とウェブ等の両方での実施 → 社程度

合計：

[必須]

Q61. あなたが受けた採用面接について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、当初の予定より実施時期が後ろ倒しに変更されたものはどの程度ありましたか。また、採用面接を受けることが予定されていた企業で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、面接の実施が中止になったものはどの程度ありましたか。（半角整数で記入）

※後ろ倒しになった・中止になった採用面接がない場合は、0を記入ください。

採用面接を受けた合計数：社程度と回答

実施時期が後ろ倒しに変更された採用面接 → 社程度

受けることが予定されていたが中止になった採用面接 → 社程度

合計：

[必須]

Q62. 採用面接の時期を後ろ倒しに変更することや中止の連絡は、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮したものだったと思いますか。（ひとつ）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

[必須]

Q63. 秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信は、企業からされていたと思いますか。（ひとつ）

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

[必須]

Q64. 秋採用や通年採用などの実施により、今後採用面接を受ける予定の企業はどの程度ありますか。(半角整数で記入)

※今後採用面接を受ける予定の企業は無い場合については、0をご記入ください

社程度

◆就職活動における「内々定」についてお聞きします。

[必須]

Q65. 2021年8月1日までに、あなたは何社から内々定を受けましたか。(ひとつ)

- 1社から内々定を受けた
- 複数社から内々定を受けた → 社

[必須]

Q66. 最初に内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）を教えてください。(ひとつ)

- 99人以下
- 100人～299人
- 300人～999人
- 1,000人～4,999人
- 5,000人～9,999人
- 10,000人以上
- わからない

[必須]

Q67. **最初**に内々定を受けた企業の業界を教えてください。(ひとつ)

- 農業、林業、漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない

[必須]

Q68. 最初に内々定を受けた企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。（ひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

| | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| ※リクルーター | … 学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。 |
| ※リファラル採用 | … 企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。 |
| ※スカウト型のウェブサイト | … 学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。 |
| ※新卒エージェント | … 登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。 |

- 自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）
- インターンシップに参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- インターンシップに参加していない会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の教員からの紹介
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）
- 縁故（家族・親族・知人の縁故）からの紹介
- アルバイト先（正社員としての登用、入社の誘い等）からの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q69. 就職予定の企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- 99人以下
- 100人～299人
- 300人～999人
- 1,000人～4,999人
- 5,000人～9,999人
- 10,000人以上
- わからない

[必須]

Q70. 就職予定の企業の業界を教えてください。(ひとつ)

- 農業、林業、漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない

[必須]

Q71. 就職予定の企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。(ひとつ)

※その他の場合はその内容について記載してください。

| | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| ※リクレーター | … 学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。 |
| ※リファラル採用 | … 企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。 |
| ※スカウト型のウェブサイト | … 学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。 |
| ※新卒エージェント | … 登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。 |

- 自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）
- インターンシップに参加した会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- インターンシップに参加していない会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の教員からの紹介
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）
- 縁故（家族・親族・知人の縁故）からの紹介
- アルバイト先（正社員としての登用、入社の誘い等）からの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q72. 就職予定の企業の採用選考に応募した時点であなたが志望していた企業のすべてを思い返してください。あなたの就職予定の企業は、第一志望の企業でしたか。または、志望度が高い企業の一つでしたか。(ひとつ)

- 第一志望の企業だった
- 志望度が高い企業の一つだった
- その時点では強く志望していなかった
- 覚えていない

[必須]

Q73. 内々定（内定）を受けた企業に内々定（内定）を辞退したことはありますか。(ひとつ)

- はい
- いいえ

[必須]

Q74. どのような方法で内々定（内定）辞退をしましたか。（いくつでも）

- 自分で企業に直接訪問し、辞退した
- 自分で電話し、辞退した
- 自分でメールし、辞退した
- 内々定（内定）辞退専門の会社に代行を依頼し、辞退した（自分では連絡していない）
- 弁護士に依頼し、辞退した（自分では連絡していない）
- その他

◆就職活動全体についてお聞きます。

[必須]

Q75. 現状と比べて、これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものは何ですか。（いくつでも）

※その他の場合はその内容について記載してください。

- 対面での企業説明会（直接の対面式での開催）
- オンラインでの企業説明会
- OB・OG訪問
- 対面での面接
- オンラインでの面接
- 1日間のインターンシップ
- 数日間の就業体験を伴うインターンシップ
- 1か月以上の就業体験を伴うインターンシップ
- 採用に直接結びつくようなインターンシップ
- 秋採用・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施
- 通年での採用活動の実施
- 企業が主な採用スケジュールを公開すること
- その他
- 特になし

[必須]

Q76. あなたにとって、就職活動が「始まった」と考えるのはいつですか。(ひとつ)

| | | 2020年 | | | | | | 2021年 | | | | | | | | |
|-------------------|---|-------|----|----|----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| 就職活動が「始まった」と考える時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

[必須]

Q77. あなたにとって、就職活動が終わったと考えるのはいつですか。(ひとつ)

| | | 2020年 | | | | | | 2021年 | | | | | | | | |
|-------------------|---|-------|----|----|----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 6月以前 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| 就職活動が「終わった」と考える時期 | → | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

[必須]

Q78. 就職活動との関係で、学修時間の確保ができたかどうか時期別に教えてください。(ひとつ)

| | 昨年6月~8月の時期 | 昨年9月~11月の時期 | 昨年12月~今年2月の時期 | 今年3月~5月の時期 | 今年6月の時期 | 今年7月の時期 |
|-----------------------------------|------------|-------------|---------------|------------|---------|---------|
| | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

[必須]

Q79. 就職活動の採用試験・面接等を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度ありましたか。(ひとつ)

- 多くの企業で提出した
- ある程度の企業で提出した
- 提出した企業もあったが、少なかった
- 提出した企業はなかった

【必須】

Q80. 就職予定の企業から、履修履歴（成績証明書など）の提出はいつ頃求められましたか。（ひとつ）

- 応募時
- 1次面接時
- 2次面接時以降
- 内々定時
- 内々定後
- 就職予定の企業からは提出を求められていない

【必須】

Q81. 採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じましたか。（ひとつ）

- 評価に深く関係していると感じた
- 評価にある程度関係していると感じた
- 評価にあまり関係していないと感じた
- 評価に全く関係していないと感じた
- 学業への取組や成績等について質問されなかった

就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

【必須】

Q82. 説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか。（ひとつ）

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- 就職活動最優先で活動していたため、よくわからない

就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

【必須】

Q83. 個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか。（ひとつ）

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- 就職活動最優先で活動していたため、よくわからない

就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

[必須]

Q84. 地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか。（ひとつ）

(例) 1次面接等を地方支社等で行う、参加しやすい土日などに面接を行う、オンラインなど遠隔地で面接ができるように対応する、など

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- 自身が該当しないため、よくわからない

[必須]

Q85. 就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

採用面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか。（ひとつ）

※クールビズとは、ジャケットやネクタイを着用しない、節度あるビジネス用の服装を指します。

- 多くの企業で認められていた
- ある程度の企業で認められていた
- 認められている企業もあったが、少なかった
- 認められている企業はなかった
- 寒い時期に就職活動を行っていない
- わからない

[必須]

Q86. 就職・採用活動と留学との関係について伺います。就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか。あなたの状況に最も近いものを教えてください。（ひとつ）

- もともと留学する予定はなく、留学はしていない
- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響はなかった
- 留学する考えがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、留学を取りやめた
- 留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた
- 留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした
- 就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した

[必須]

Q87. あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか。（ひとつ）

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- 留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない

[必須]

Q88. あなたは、留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して、採用面接日程についての配慮を求めたことはありましたか。（いくつでも）

- 自分から面接日程の配慮を求めた企業があった
- 相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった
- 企業に特段配慮を求めたことはない

[必須]

Q89. あなたが就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業はどれくらいありましたか。（ひとつ）

- ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた
- 多くの企業で配慮を求めなくても面接を受けられた
- 希望していた企業のうち半数程度で配慮を求めなくても面接を受けられた
- 配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった

[必須]

Q90. あなたが就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業はどのくらいありましたか。（ひとつ）

- ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた
- 多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた
- 希望していた企業のうち半数程度は企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた
- 面接を諦めた企業はあまりなかった

【必須】

Q91. 留学と面接の時期が重なることに関して、自分から面接日程の配慮を求めた企業のうち、対応してくれた企業はどのくらいありましたか。（ひとつ）

- 配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた
- 対応してくれた企業のほうが多い
- 半々程度
- 対応しなかった企業のほうが多い
- 配慮を求めた企業のほぼ全てが対応しなかった

【必須】

Q92. 留学と面接の時期が重なることに関して、相談した大学のキャリアセンター等から面接日程の配慮を求めた企業のうち、対応してくれた企業はどのくらいありましたか。（ひとつ）

- 対応してくれた企業のほうが多い
- 半々程度
- 配慮を求めた企業のほぼ全てが対応しなかった

【必須】

Q93. 企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（以下「オワハラ」）を受けたことはありますか。（ひとつ）

- ある
- ない

【必須】

Q94. どのようなオワハラを受けましたか。（いくつでも）

- 内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された
(早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど)
- 内々定後長時間(長期間)の研修があり、他社の選考を受けられなくなった
- 内々定後懇親会等が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた
- 自由応募であったのに、内々定の段階になって、まだ他社の選考を受けたいにも関わらず、急速大学の推薦状の提出を求められた
- 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた(内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど)
- 内々定辞退を申し出たところ、引き留めるために何度も説明を受けたり、拘束を受けた
- その他

[必須]

Q95. オフハラについて相談したことはありますか。(いくつでも)

- 大学のキャリアセンターに相談した
- 大学の指導教授等に相談した
- 大学のOB・OGに相談した
- 家族・親戚に相談した
- まわりの友達に相談した
- ハローワークに相談した
- その他
- 相談するところがわからなかったので相談しなかった
- 相談するところはわかっていたが相談しなかった

[必須]

Q96. 就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことはありますか。(ひとつ)

- ある
- ない

[必須]

Q97. セクシュアルハラスメント行為を受けたのはどのようなときでしたか。(いくつでも)

- 答えたくない
- インターンシップに参加したとき
- 企業説明会やセミナーに参加したとき
- 就職採用面接を受けたとき
- 内々定を受けたとき
- 内々定を受けた後
- リクルーターと会ったとき
- 大学のOB/OG訪問のとき
- その他

[必須]

Q98. どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けましたか。(いくつでも)

- 答えたくない
- 身体に触れられた
- 執拗に2人きりで食事等に誘われたり、交際をもとめられたりした
- 性的関係を求められた、迫られた
- 性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)
- 容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた
- セクシュアルハラスメントに対し、拒否や抗議の姿勢を示した結果、不利益を受けた
- その他

[必須]

Q99. セクシュアルハラスメント行為について相談したことはありますか。(いくつでも)

- 大学のキャリアセンターに相談した
- 大学のキャリアセンター以外の部署(学生相談窓口など)に相談した
- 大学の指導教授等に相談した
- 大学のOB・OGに相談した
- 家族・親戚に相談した
- まわりの友達に相談した
- ハローワークに相談した
- 労働局や労働基準監督署内の総合労働相談コーナーに相談した
- 企業の採用担当の者に相談した
- 警察に相談した
- 弁護士に相談した
- その他
- 相談するところがわからなかったので相談しなかった
- 相談するところはわかっていたが相談しなかった

[必須]

Q100. セクシュアルハラスメント行為を相談したときについて、どのような対応でしたか。(いくつでも)

- 事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした
- 解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた
- 相談に乗ってくれなかった
- その他